事務局からのお願い

★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください！

「澱江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受け付けております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話 06-6990-3664（直通）、FAX 06-6328-4564（直通）
電話 06-6328-2431（大学代表）
メール okusu@osaka-ue-denko.com

また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス　→　https://www.osaka-ue-denko.com/　大阪経済大学大樟会　検索

●編集後記●

私が広報部長になって３号目の「澱江」をお届けします。

今回も、たくさんの方に協力いただきました。感謝申し上げます。

「つながる力。」を紡いでゆくと「澱江」が出来上がると言っても過言では無いと思います。仕事帰りに仲間と愚痴を言い合うパブのトップも、休日に家族で出かけるファミレスを牽引するリーダーも、年始に行った初笑いの舞台で大活躍の劇団員さんも……。10万本の仲間の糸は、皆さんの回りにも無数にありますが見えにくいです。それと簡単に出会える場が支部総会です。今すぐ、支部長さんに連絡してください。

ところで私は、年末に２本の糸とつながりました。頑張る２人の町に「ふるさと納税」をしました。熊取町と里庄町からの便りが待ち遠しいです。　（広報部部長　田中伸治）

表紙の言葉　「母なる港」である母校には、今日もたくさんの仲間が立ち寄ります。手を振り出迎えるのは、在学生と愛用のステッキを持ったあの方です。

イラスト　亭島和洋（65回）

「澱江」の由来　初代校長・黒正巌博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ　我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば「【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。『淀』は『澱（でん）』に通ずる」と記載されています。

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

澱江（でんこう）2023

■発行日　2023年2月25日
■編　集　大阪経済大学大樟会 広報部
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話 06-6990-3664（直通）、06-6328-2431（大学代表）
メール okusu@osaka-ue-denko.com　URL https://www.osaka-ue-denko.com/
■印　刷　株式会社 広済堂ネクスト
〒541-0043　大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2F　電話06-7178-0530

澱江

大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌 DENKO
2023年 58号

特別対談

山本学長×角脇会長

100周年に向け　一歩を踏み出した母校・大阪　経済大学の現在と未来

2022（令和4）年に創立90周年を迎えた母校・大阪経済大学。2期目の山本俊一郎学長と大樟会・角脇忠行会長に、100周年に向けての計画・展望と大樟会に期待される役割について語っていただきました。

（2022年11月29日取材。以下、敬称略）

大阪経済大学
学長　山本　俊一郎氏　×　大阪経済大学大樟会
会長　角脇　忠行（34回）

司会：大樟会事務局長　角庵　勝巳（43回）

学長就任後、3つの重要課題に取り組む

司会　母校創立90周年を記念してこの対談の場を設けました。お二人には忌憚のないご意見をお伺いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

角脇　11月3日開催の90周年記念式典が盛会裏に開催されましたこと、誠におめでとうございます。本日はよろしくお願いします。

司会　山本学長は、2022年4月から学長として2期目にはいられました。1期目の取り組みと成果についてお聞かせください。

山本　新型コロナウイルスの影響がなかった1期目初年度、まず学部間の共創環境づくりを行い、続いて3つの重要課題に取り組みました。

最も重要な課題は「財政基盤の安定化」です。文科省からの定員管理厳格化の方針にもとづき入学定員を抑制していたのですが、学費収入が財政基盤である本学にとって入学者減少の影響は大きく、いち早く定員増を実施する必要がありました。各学部のカリキュラム改革とあわせて準備にとりかかり、2022年6月に無事文科省から収容定員増加の認可を受けることができました。2023年度より全学部であわせて1学年215名の増員となります。

さらに、本学が大きく飛躍していくためには「新学部設置」が必要と考え、初年度から検討を行いました。グローバル人材を育む「国際共創学部（仮称）」（入学定員120名）の2024年度開設をめざし、その準備が大詰めを迎えています。女子学生をはじめ、従来とは異なる志願者層の増加が期待できると同時に、本学の国際化教育を社会に印象づけることができると考えています。

そして、2023年は、公益財団法人大学基準協会による認証評価の受審年になります。大学は、教育成果の可視化と教育研究活動の質の保証などを目的に、定期的な（通常7年ごと）外部機関による審査が義務付けられており、本学は3月に申請を行います。そのベースとなる「教学マネジメント体制の確立」に向け取り組んできました。

司会　学長は「創発」というテーマを掲げられ、教学運営に取り組まれていますが、あらためて創発とはどういう主旨でしょうか。

山本　学長就任前の2018年に、本学の新しいミッションとビジョンが理事会で策定されました。そのたたき台を作成した諮問機関のワーキンググループが、創発という言葉の発信源です。私はそこで、教員のリーダー役を務めていたので、創発というテーマは今の学長としての施策とダイレクトにつながっています。

創発は元々、生物学や物理学で用いられてきた用語でしたが、近年では社会科学でも援用されるようになりました。本学では「多様な人々が協働するなかで、新しい価値が生み出される」という意味で用いています。環境問題など、これまでの取り組みでは解決できない社会課題に挑むための新しい考え方を生み出す場所こそ大学だと考え、本学を創発の場とするためには何が必要かを模索した結果、全学部にスパイスのような刺激をもたらす「国際共創学部」を設置することになったのです。

創発という言葉はたしかに耳慣れない言葉でしょうが「どういう意味だろう？」と興味・関心を引き寄せることで、自ら調べたり考えたりするアクションにつながると思います。

角脇　私が調べたところ「アリ塚」が創発の具体例として挙げられていました。アリは個体としては単純で微々たる存在だが、集まれば個の集合体を超越し、単なる「個の集合体」を超えたまま次元のちがう特性を持ち始める。その現象を「創発」と呼び、自然界や科学分野の多様な場面で見られる、と。

山本　そうした新たな特性が大阪経済大学にも生み出されてくれるとうれしいです。

CONTENTS

2　特別対談　山本学長・角脇会長
4　特集　黒正巖先生の足跡を訪ねる旅
10　対談　髙橋後援会長・角脇会長
12　入学式・卒業式での大樟会の取り組み
13　コロナ対策・学生支援／奨学金制度
14　スケッチ&エッセイ　母校周辺・思い出散歩
15　経大を陰で支える人々
16　大樟会総会・3年ぶりに開催!
18　母校創立90周年記念式典開催
20　活躍するクラブ活動紹介
24　新・北から南から
28　支部だより
34　OB・OGネットワーク
36　ゼミ短信
42　お世話になった先生からのお元気なお便り
44　ズームアップ経大人
52　本部だより
54　大樟会支部長・各種部会会長一覧
55　卒回理事一覧
56　支部会員数

角脇会長

「創発」の場としての教育と情報発信

司会　学生の教育活動においては、地域社会でのフィールドワークや自治体との連携など、座学だけでなく、積極的な実践活動を推進されています。どんな背景・ねらいがあり、「創発」とどう関わっているのか、具体例とともにお話しください。

山本　フィールドワークを重視し、座学から現場へと教育スタイルが変わってきているのはどの大学にも見られる傾向ですが、われわれは早くから現場とのつながりを重視し、それを本学の教育の強みとしてきました。今後も引き続き学生にはいろいろな場所へ行き、多様な人々と協働する経験を積んでほしいと考えています。本学の学生の約8割は関西圏の出身であり、4年間を同じ環境で過ごすのはもったいない。就職前にベンチャー企業、大企業など、さまざまなインターンシップを経験し、地方、海外も訪問しておけば、将来いろいろな選択肢を持つことができます。

社会人3年目までの約3割は最初に就職した企業を退職しているという調査結果もあります。もし働き方に迷った時は「大学時代に農村の地区調査をしたことがある。農村で働くのもアリだな」「大手企業に限定せずベンチャーもいいかも」というように、新たな選択肢として役立つのではないでしょうか。これは、「創発」の下位ビジョン「生き続ける学び」にもつながります。卒業後も学びをブラッシュアップし続け、自分自身の芯を形作ってほしいですね。

司会　独自のウェブサイト「Talk with」で継続的に情報を発信されていますが、そのねらいなどについてお聞かせください。

山本　企業では、社是やパーパス経営(※注)を通じて、トップが思い描く理念、方向性を社員に伝えています。また、「共感社会」と呼ばれる現代社会においては、人の意見に共感して物を買い、ボランティア活動を行うなど、共感が行動のモチベーションとなっています。われわれは、教育理念を核としてミッション、ビジョンを策定し、2019年からの5年間に何をするかという第1次中期計画に落とし込んできました。その理念が教職員の皆さんに伝わっていなければ、計画の意味がありません。

100周年ビジョンに向け、教職員が何をすればいいか一緒に考えるため、インナーブランディング(社内向けブランドづくり)の手法を使ってウェブサイト「Talk with」を運営しています。サイトを通して、教職員の座談会やワークショップなどの活動を学内に発信するほか、広く一般にも公開し、われわれが考えていることを飾らずに伝えています。

学長室にて

地域や大樟会との関係を強化し100周年へ

司会　今後の計画・展望と、その計画につながる大樟会の役割について、期待するところをお話しください。

山本　「財政基盤の安定化」「新学部設置」「教学マネジメント体制の確立」が一段落し、第2次中期計画の策定に向け取り組むことになります。ミッションやビジョンをひも解き、第1次中期計画において達成したこと、できなかったことを整理して、本学のいっそうの発展をめざします。

第1次中期計画ではオンライン教育の推進をうたっていましたが、コロナ禍の影響で一気に実現しました。教育面におけるICT能力の育成については、定員増に合わせて各学部でカリキュラムを検討しました。全学的にも共通科目としてデータサイエンスの科目群を設置し、1年生はデータサイエンス概論を必修としています。そのほか、社会実践ビジョン「商都大阪の原動力となる」ための教育を強化していきます。学生に対し、学費以上のサービスをどのように提供していくかが課題です。

前述のように、オンライン、ICT環境は整っていますが、キャンパスを創発の場とするためには、多くの人々に足を運んでいただかなければいけません。また、本学はアットホームな魅力を持つ中規模大学として、リアルな交流が強みだと思います。学生には外部の方々、卒業生の皆さんともいっそう交流を深める機会があればいいですね。卒業式、入学式の際、大樟会の方々がコーヒーを配布してくださったり、コロナ禍のもと無料弁当を配っていただくのは大変ありがたく、学生が大樟会の存在を再認識する機会になると思います。90周年総会のときのビンゴ大会のようなイベントや大学祭での屋台ブースの出展などがあると、親しみが増すのではないかと思います。クラブ活動による縦のつながりや、就職に関連したセミナーの開催などにおけるOB・OG訪問だけでなく、もっと幅広い結び付きができればと期待しています。

角脇　大樟会の会員は全国に広がっており、各支部・部会でお役に立てることがあると思います。個人情報の扱いで難しい面はありますが、同窓生の名簿に出身校や勤務先を入れるなど、会員数を増やすためにも新しい取り組みを検討していきたいですね。

山本　地域や同窓生の皆さんが入りやすく、コーヒーでも飲みながら学生とともに話せるような場所があればいいと思います。同窓生と学生を対象とした本学の客員教授によるセミナーを開くなど、新たな協力体制を築いていきたいですね。

司会　最後に、大樟会会員へのメッセージをお願いします。

山本　90周年記念式典は、コロナ禍による不安をまだ完全に払拭できない中での開催でした。10年後に「100周年だから、大学へ行こう」と思っていただけるよう、さまざまな計画を実行していきますので、足を運んでいただければ嬉しく思います。

司会　長時間にわたり、どうもありがとうございました。

(※注)　企業経営において「自社は何のために存在するのか？」という存在意義を考察し、社会に対して「どのように貢献するのか」を掲げて経営すること。

山本学長

角庵事務局長

特集

黒正巖先生の足跡を訪ねる旅 岡山編 上

今号では、黒正巖先生の幼少期(絵1)、青年期(絵2)、壮年期(絵3、4)の事、特に絵4にまつわるエピソードと、なぜ岡山大学に本学と同じ胸像(写真1)が建ち、優秀な卒業生が同じ「黒正賞」を授与されて巣立つのかについて詳しく述べる予定でした。

ところが、前号にて井形浩治教授より母校の校地が第15代応神天皇の大隅宮跡である可能性をご指摘いただいた事で、物語は新たな展開を始めてしまいました。

その後、井形先生から「校地が大隅宮だった確たる証拠となる資料を見つけることができない」との連絡がありました。

絵1

絵2

絵3

絵4

漫画=風狸けん（本名=濱田芳郎・47回）

そこで私は、昭和62年に同窓会(現大樟会)が発行した「道理貫天地　黒正巖先生の思い出」の中にヒントがあるのではと思い、読み直してみました。すると、139ページに黒正先生の作詞された「昭和高等商業學校々歌」が掲載されており、その2番の歌詞に「一千餘年のその昔　大隅の宮の有りませし　聖き跡の学園は」とありました。今まで何度も目にしてきましたが、井形先生のご指摘で初めてその深い意味に気付きました。

この校歌は昭和11年11月3日に開かれた学園成立1周年の式典で発表されたとあります。当時、母校が宮跡に建っていることは黒正先生をはじめ、衆目の一致するところだったようです。ここで何故か、黒正先生が岡山の神社のお生まれであることが気になり出しました。同じ本に黒正先生は「明治28年1月2日、岡山県上道郡可知村字大多羅の代々続く布勢神社神主、中山丈五郎の三男としてうまれた」とあります。そこで岡山県神社庁のホームページから布勢神社を調べますと、御祭神に「足仲彦命」、「譽田別命」、「息長足姫命」がおられました。「足仲彦命」は応神天皇のお父様の仲哀天皇、「譽田別命」は応神天皇、「息長足姫命」はお母様の神功皇后です。何と、黒正先生は応神天皇とそのご両親を御祭神とする神社のお生まれだったのです。

写真1＝黒正巖先生胸像（岡山大学中央図書館前）

今回の岡山への旅は、急遽前倒しで決定しました。黒正先生のお孫さんで本学の部長である黒正洋史さんから「布勢神社は現在神主不在なので、祭事の時だけ開けられます。7月3日は『夏の大祓の茅の輪くぐり』があるので本殿、社務所に入れます」との知らせがありました。社務所には何か重要な書類等が残されている可能性があるとのことでした。もう一点、黒正先生のお母様のご実家が同じ岡山の「和氣神社」であることも教えていただきました。

応神天皇の事を色々調べておりましたので「和氣神社」の名前が出たことに、正直なところ大変驚きました。今回は、この二つの神社を黒正先生のご子息黒正明さん、お孫さんの黒正洋史さんとの三人で旅することとなりました。

まずは生家の「布勢神社」を目指し、岡山駅からレンタカーで出発しました。黒正先生が「旧制岡山中学校」、「旧制第六高等学校」へ徒歩で通学されていた同じ道を走ること20分ほど、小

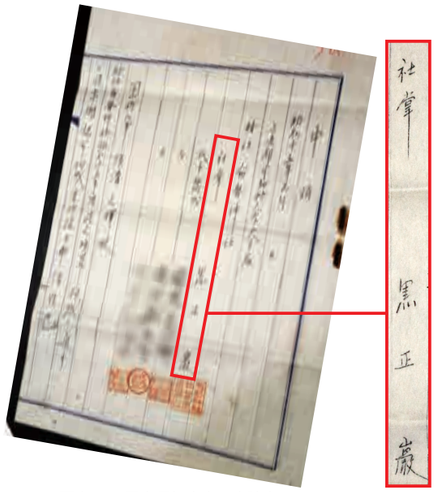


写真2＝岡山県知事宛の申請書

「布勢神社」本殿

高い山の上にある神社に到着しました。お参りの後、氏子総代の方の案内で社務所内の資料を拝見しました。

母校大阪経済大学は、偉大な人物である黒正先生のご尽力により二度の存亡の危機を乗り超えました。最初の「浪華高等商業学校経営危機」は、黒正先生が京都帝国大学の新進気鋭の教授として将来を約束されていた時期でした。順風満帆の時に、学校の再建をなぜ引き受けられたのでしょうか。（それも、巨額の私財を投げ打って）

戦後の「大学昇格許認可問題」では先生の帰阪が文部省の出した条件の一つでした。第六高等学校々長だった先生には新設される「岡山大学」に残る道もありました。二つの分岐点で先生が何故我が校を選ばれたのかは、私にとって大きな謎でした。

招かれた社務所で、私たちは一枚の書類（P7・写真2）を発見しました。昭和15年6月付の岡山県知事宛の申請書でした。そこには「社掌黒正巖」とありました。当

生誕地に立つ和気清麻呂公の銅像

時は村社であった「布勢神社」の神主は、社掌と呼ばれていました。お兄様が亡くなられた後、先生が神主を務められていた事実が判明しました。先生は学生の時に、若くして黒正家の養子に入られていますので「布勢神社」の御祭神の事をご存知でなかった可能性があるのではと危惧しておりましたが、知っておられた事の証拠になると思います。

私たちはすぐ近くにある黒正先生と光夫人のお墓参りの後に、お母様のご実家である「和氣神社」に向かいました。

宮司の小森国彦さんから和気氏について詳しくお聞かせいただきました。和気氏の祖先は、11代垂仁天皇の皇子である鐸石別命の曾孫、弟彦王です。弟彦王は応神天皇の母である神功皇后に反逆した忍熊王（応神天皇の異母兄）を和気関で平定し、その功により藤原県（現岡山県和気郡）を与えられ土着したそうです。和気氏はその後、備前・美作両国に栄えました。このことは、新撰姓氏録（注1）にも詳しく書かれています。黒正先生のお母様のご実家である和気氏の功績がなければ、幼かった応神天皇は母神功皇后と共に亡くなっておられたかもしれません。

先生の行動がこれら諸々の史実に起因しているのなら、私たちの母校を命懸けで守ろうとされた理由がここにあるのだと思います。

井形先生の「大隅宮」に対する深い思いが繋いでくれた今回の旅は、幾つもの疑問を解き明かしてくれました。

但し、この文章の中で語られる物語は、今となっては実証のしようのない遠い昔の出来事です。あくまで取材で得た内容を書かせていただいたものであることを申し添えておきます。

左から、黒正洋史教育・研究支援・社会連携部部長、黒正明本学評議員
（「和氣神社」本殿前にて）

来号では、冒頭で述べました黒正巖先生の幼少期、青年期、壮年期の興味深い物語をお届けしたいと思いますので、ご期待ください。

（旅人＝黒正明氏・黒正洋史氏、
同行取材＝広報部部長・田中伸治）

「和氣神社」参道

注1　平安時代初期の815年（弘仁6年）に、嵯峨天皇の命で編纂された古代氏族名鑑

参考文献　「道理天地貫　黒正巖先生の思い出」大阪経済大学同窓会（昭和62年）
岡山県神社庁ホームページ　https://www.okayama-jinjacho.or.jp/

企画検討中！

漫画「黒正巖先生物語」（仮）

大樟会広報部では、現在、漫画「黒正巖先生物語」の出版を企画検討中です。

母校・大阪経済大学の初代学長・黒正巖博士の生い立ち、本学の初代学長に就任した経緯など、あらたな取材で判明した新事実を盛り込みながら、漫画化する予定です。

原作は、林日出夫（49回）、漫画は、風狸けん（本名=濱田芳郎・47回）。本学出身のプロ作家コンビによる意欲作です。

卒業生だけでなく、現役の学生会員にも読んでいただけるような面白く、わかりやすい作品にまとめる計画です。

※現在、企画中のため、計画詳細は変更する可能性があります。詳細が決定しましたら、大樟会ホームページや澱江で発表します。　（広報部）

対談

後援会会長×大樟会会長

後援会と大樟会が連携し、母校の発展を支援！

在学生の保護者で組織されている大阪経済大学後援会(以下「後援会」)は、大樟会と同じく母校・在学生の支援を大きな目的としています。母校の創立100周年に向けて、総務部・棟近さんの司会で両会長が語り合いました。

（2022年9月29日取材。以下、敬称略）

後援会会長
　髙橋　正美氏
　（和歌山大学・学務課副課長／システム工学部分室長）
大樟会会長
　角脇　忠行（34回）
司会：本学総務部（後援会事務局）
　棟近　有美子氏（69回）

保護者の声・意見を収集し、大経大の評価として発信したい

司会　後援会の歴史・目的・活動内容についてお聞かせください。

髙橋　後援会は1958(昭和33)年4月に発足し、2018年度に60周年を迎えました。発足以来、「大学の教育及び研究の発展に寄与し、併せて会員相互の親睦を図ること」を目的とし、誰よりもまず保護者の方々に大学の実情をよく理解していただき、さらに教育研究とキャンパスの充実など、在学生の実りある学生生活のために活動しています。

具体的には、保護者の方々に納めていただいた会費をもとに、課外活動への支援や学費負担者が急逝した場合など様々な援助を行っています。保護者の代表として会長・副会長・常任理事・理事(現在、計55人)が選任され、年1回の総会のほか、教育懇談会を開催しています。なお、全国の大学へのアンケート調査によると、全体の約75%、600弱の大学が保護者を主体とした後援会を組織しています(ある国立大学の教員が文科省の科学研究費補助金で実施した調査より)。

司会　大樟会の活動、コロナ対策支援などについて、あらためてお願いします。

角脇　大樟会の目的は「会員相互の融和親睦並びに社会的地位の向上を図ると共に、母校の発展に寄与すること」です。2020年に会員数が10万人を超え、全国56支部と9つの部会で構成しています。コロナ禍においては、経済的に影響を受けた在学生支援のため総額1,500万円を寄付、また無料弁当配布など今までに1万7,000食あまりの食事支援を行い、2022年10月から12月の間にも100円ランチを提供しました。

司会　大学創立100周年に向け、今後の後援会はどうあるべきか、具体的な思いがあればお話しください。

髙橋　これまで、後援会は大学の評価に関与してきませんでしたが、在学生を通じて大学を最もよく知っているのがステークホルダーである保護者だと思います。大学のホームページを拝見しても、教職員の方々が多方面で真剣に取り組まれているのがよくわかります。就職やコロナ対策など、保護者にとって関心の強い取り組みを中心に、保護者の目からみた大学の評価を発信し、100周年に向けて大学の発展に活かしたいと考えています。

今回の対談をきっかけに後援会と大樟会の連携を促進

司会　大樟会では、創立100周年に向け、どのような活動をお考えですか。

角脇　在学生と卒業生の「つながる力。」をさらに強化していくのが大樟会の大きな役目です。そして、大学および後援会とも連携しながら、さらなる発展をめざしたいと考えます。今まで後援会と大樟会は、あまり交流を持つ機会がありませんでしたが、この対談を契機に連携を深めていきたいと考えます。

髙橋　私も角脇会長に賛成ですね。後援会・大樟会どちらも、在学生への就職支援や課外活動支援などに取り組んできました。組織は違っても、目的として重なっている部分が非常に多く、手を携えれば活動内容が広がるのではないでしょうか。

今は、DX（デジタルトランスフォーメーション）やSDGs（持続可能な開発目標）が叫ばれるなか、さまざまな社会的問題を解決しなければいけない時代です。学生には、異文化理解、異業種の交わり、他を巻き込んで自ら学び解決する力が求められています。社会変革のスピードも大幅に上がっており、多様な仕組みを知らなければ社会的問題を解決することができなくなっています。たとえば、大樟会と協力して、様々な分野でご活躍されているOB・OGの方々のご協力も得ながら、学生の就職支援に実際に役立つイベント等を立ち上げられないか、と思います。

司会　100周年に向けて、後援会と大樟会が協力して学生の支援ができるといいですね。後援会事務局としてもバックアップできるように努力していきたいと思います。

髙橋　後援会事務局のバックアップがなければ、何事も難しいので、ぜひよろしくお願いします。コロナ禍においては、メール発信で後援会会員の意見を募るなど、実際に集まらなくてもできることはあると思います。後援会、大樟会がそうした情報を共有し、タッグを組んで学生支援に取り組んでいきたいですね。

角脇　大樟会としても、保護者の声を通して在学生の要望をお聞かせいただき、ニーズに応えられるような支援活動ができるようにしていきたいですね。

「子の母校は保護者の母校」という気持ちで取り組みたい

司会　髙橋会長は和歌山大学にお勤めになっています。そのご経験から、本学に何かアドバイスをいただけるとありがたいです。

髙橋　大阪経済大学は時代の流れに応じた取り組みを積極的に展開されており、国立大と私学ではずいぶん事情が違うので、アドバイスというのはおこがましいのですが……。

私自身、こうして仕事ができているのは部下や周囲の方々のおかげだと、常に周囲への感謝を持ち続けるよう心掛けています。また、大学職員も自分を磨き続けることが大切だと思っています。山本学長も述べておられるように「学び続けること、自ら解決する力をつけること」が重要なので、自分の専門以外の分野を吸収する「リスキリング」(Reskilling)、そして、自分の専門分野をブラッシュアップする「アップスキリング」(Upskilling)をいつも念頭においています。こうした私のモットーが、何かのご参考になれば嬉しく思います。

最後になりましたが、大経大は自分の子どもが通う大学ですが、保護者の私にとっても「母校」だという気持ちで、後援会活動に取り組んでいきたいと思います。

角脇　母校支援のため、これからは後援会と連携しながら、共同で学生支援のための事業を企画していきましょう!

司会　本日はどうもありがとうございました。

卒業式、入学式での大樟会の取り組み

2021年度卒業式が春の訪れを感じさせる、2022年3月19日(土)に執り行われました。午前、午後の二部制で行われ、午前は経済学部、人間科学部、大学院経済学研究科、人間科学研究科、午後は経営学部1部2部、情報社会学部、大学院経営学研究科、経営情報学研究科の総勢1,701名(学部1,646名、大学院55名)が学び舎を巣立ちました。式典では吹奏楽総部の門出を祝う演奏で始まり、グリークラブによる合唱がこれに続き、山本学長、藤本理事長、角脇大樟会会長から式辞があり、その後、本学卒業生の髙田明氏からのビデオメッセージが放映されました。大樟会としてもこのおめでたい式を少しでも盛り上げようと、祝卒業の気持ちを込めて「エアアーチ」と「顔出しパネル」を設置し、卒業式会場のフォトスポットとして大好評でした。また、付き添いで来られたご父兄の為に「コーヒーサービス」を行い738杯提供し、これも大変喜ばれました。

13日後の4月1日(金)には桜咲き誇る中、2022年度入学式が挙行され、入学者数は1,783名(男子1,276名、女子507名)でした。これにより全学生数は6,867名(男子5,122名、女子1,745名)となりました。大樟会としては卒業式と同じく、祝入学の「エアアーチ」を設置し、保護者の為に「コーヒーサービス」を行い918杯提供しました。

社会人としての自覚を胸に希望一杯で巣立った卒業生、新しい大学生活に胸を膨らませ夢一杯の新入学生に大いなるエールを送ります。

(事務局次長・大山寿久)

卒業式

卒業式で「顔出しパネル」を設置

入学式で「エアアーチ」を設置

大樟会・コロナ対策学生支援

2022年度も、食事支援を継続!

大樟会では、コロナ禍で苦労する学生を支援するため、2020年度に無料の弁当を配布し、大樟うどんを50円で提供。

続く2021年度もオリジナル丼弁当を無料配布し、大樟和風ラーメンやからあげうどんを、どちらも50円で提供しました。

また、2022年6～7月、人気のHUBCAFEベーグルが入ったランチボックスを100円で。さらに、10月から「学生支援100円日替わりランチ」として、通常400円～500円の商品を大樟会の支援で100円にて、本学D館1階で販売しました。

大樟会の奨学金制度について

同窓会設立80周年記念事業の一つとして、2016年度の大樟会理事会で承認された大学の奨学金制度の支援が、2017年度から実施に移されました。大学の奨学金制度のうち、「遠隔地学生奨学金制度」について、大学枠とは別に同窓会枠を設け、援助しています。 (2023年1月現在)

○同窓会遠隔地学生奨学金

遠隔地（近畿圏以外、または近畿圏で通学に2時間以上を要する地域）からの入学者を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
遠隔地からの入学者	新入生　20名	一部生　20万円 二部生　10万円	6月	家計基準 成績基準 (修得単位数)

★大樟会の奨学金制度を末永く続けるため、同窓生からのご寄付をお願いします。
(同封の振込票をご覧ください)

シリーズ
スケッチ＆エッセイ
母校周辺
思い出散歩
①

大隅神社を訪ねて
～卒業後半世紀の風景～

大学生活４年間に通いなれた阪急京都線の上新庄駅へ久しぶりに下り立った。駅前風景はすっかり変貌している。何しろ卒業後、半世紀近い歳月が過ぎているのだから無理もない。立ち食いそば屋も今はない。午後からの講義に出る日、50円のきつねそばを食べてから大学への道を急いだものだ。母校の周辺風景も大きく変わっており、かつて学友たちと連れ立って入った喫茶店やお好み焼き屋はその形跡もない。

卒業直後には、ゼミの指導教官だった西洋経済史の松村幸一先生を研究室に訪ね、就職した職場での愚痴をよく聞いてもらった。また社会主義経済論の上島武先生にはご自宅での『資本論』輪読会に参加したのを機に、２部の講義を２年間聴講させてもらい、講義終了後、阪急電車での帰路をご一緒した。そんな思い出は遠い昔日のこと、二人の恩師もすでに亡くなられて久しい。

数年前、不思議なご縁からご交誼を得た德永光俊前学長のお招きで母校を訪れたが、学舎が随分立派になっていることとキャンパスに女子学生が多いことに驚かされた。

また昨秋には大樟会広報部のお仕事の手伝いで、初代学長・黒正巖先生所縁の京都大学農学部構内の旧日本経済史研究所の外観をスケッチさせていただいた。大樟会としては黒正先生の業績を跡づけることで大阪経済大学の建学精神を後進に伝えようとされているようだ。その折に母校近くに建つ大隅神社が、実は黒正先生との因縁浅からぬ注目すべき古跡であることを知った。とりわけ黒正先生が何故に大隅宮跡地で本学再建に尽力されたのかの経緯については、本学経営学部・井形浩治教授のご寄稿や大樟会広報部・田中伸治部長のまとめられた「黒正巖先生の足跡を訪ねる旅」に詳しく書かれているが、何やら神がかり的な縁を感じてしまうほどだ。

とは言いながら、黒正巖先生のことをキャンパスに建つ胸像でしか知らず、ましてや本学から徒歩わずか10分の距離にある大隅神社のことなど、全く知らぬまま４年間を過ごしたことを恥ずかしく思うばかりだ。

せめてもの罪滅ぼしになればと、久しぶりに母校を訪ねたのを機に大隅神社まで足を延ばし、神社の片隅からスケッチさせてもらった。水彩の絵筆を走らせているうちに、少しずつ形をあらわす大隅神社の佇まい、これが黒正先生の胸に情熱の火をつけ、今日の大阪経済大学の礎をつくったことにあらためて思いを馳せた。とにもかくにも描き上げたものの、そんな歴史的重みを表現するにはあまりにも未熟なわが筆力。黒正先生に誠に申し訳ない気持でいっぱいだ。

卒業後半世紀を経て、黒正先生にまつわる不思議なご縁話を知るとともにその建学精神に触れることで、本学で過ごした学生時代の幾多の思い出が誇りと輝きをもって蘇ってくるのを感じつつ、上新庄駅に向かって帰路についた。

スケッチエッセイスト　大森俊次(40回)

経大を陰で支える人々 1

総合的な「人間力」が問われる仕事です

株式会社日経サービス
大阪経済大学事業所　隊長
和田　建二 氏

大阪経済大学で勉学に励み、クラブに打ち込み、共に語り合う学生たち。そんなキャンパスライフの裏方として、学生・大学を支える存在があります。シリーズ第1回は、警備隊のリーダーを務める和田隊長にお話をうかがいました。

（2022年7月20日取材）

学生の生命と大学の財産を守る

「車が来ますよ。すみやかに横断してください」

正門前で、キャンパスを東西に分離する道路の横断歩道に立ち、在学生を誘導する警備員。

大隅キャンパスのほか、Ａ館（70周年記念館）、摂津グラウンドの３カ所を24時間365日、交代で守っています。そんな警備スタッフ23人と、受付担当の女性スタッフ３人を率いるのが和田隊長。気さくな人柄と、細やかな目配り・心配りで、大学教職員や大樟会メンバーにもよく知られた存在です。

和田隊長は、以前は機械メーカーに勤務。約15年前に定年退職後、「長く続けられる仕事を」と日経サービスへ。同社はビルメンテナンスや警備保障など顧客のアウトソーシング業務を請け負っており、売上の約６割を大学関係が占めています。警備スタッフは初めに32時間以上の新任研修を受け、配属後も年に２回の現任者教育を受講します。母校は、10年前から電話交換業務、９年前から警備業務を同社に委託し、和田隊長は当初から警備を務めてきました。

交通警備のほか、定時の巡回、モニター警備を行い、不審者の侵入防止、消灯確認や施錠・解錠などを行います。「学生・教職員の生命、財産を守る仕事」として、法定訓練以外に独自の消防訓練も毎年実施し、常に不測の事態に備えています。

大学の警備を経験するなかで、警察への通報は過去３回のみ。侵入した不審者がトイレに立てこもったり、パソコン教室への不審者侵入もありましたが、幸い大事には至りませんでした。

また、近隣住民の方から「学生が騒音を立てている」などのクレームが入り現場へ出向くと、経大生でなく中高生がスケートボードで大きな音を立てて遊んでいました。「若者が騒いでいると、すべて近くの経大生だと思われる」とのご苦労もあるそうです。

警備はまず挨拶から
人間性が仕事に表れる

コロナ禍で、大樟会が学生支援のために実施した「弁当無料配布」のとき、「学生ではない人物が列に並んでいるようだ」と聞いて駆けつけました。機転をきかせて「失礼ですが、学生証のご提示をお願いします」と声をかけ、配布終了まで見守りを続けたそうです。制服での巡回が不審者侵入の抑止力になり、また、「恐れ入りますが」「すみません」といった『クッション言葉』が場を静かに治めます。

「警備はサービス業だから、人間力が問われるんですよ。単なる『戸締り役』『案山子（かかし）』ではダメなんです」

そんな思いで、隊員の育成に注力し、その基本として挨拶・言葉遣いを重視しています。一方で、隊員に対しても普段からよく話を聞き、働きやすい環境づくりを心掛けています。シフト調整も含めて、すべて公平に行うのが、長続きしてもらうためのポイントです。

在学生へのお願いは？　「横断歩道での『歩きスマホ』だけはやめてほしい。こちらの誘導に注意を傾けて」とのことですが、たいていの経大生は「礼儀正しく、素直な印象」。挨拶すると「ありがとうございます！」と返ってくることが一番の励みです。

「若い人と接することで元気をもらえます」と柔らかい笑みを浮かべて話してくださいました。　（聞き手＝広報部・天野康弘）

３年ぶりに総会を開催！

母校90周年の佳日に集う

2022年11月3日、母校・大阪経済大学Ａ館（70周年記念館）フレアホールで大樟会総会が開かれました。新型コロナウイルス感染症の影響で３年ぶりの開催となり、母校90周年記念式典と同日開催で参加者約850名の盛況でした。会員らは、この佳き日をともに祝い、久しぶりの友人との再会に旧交を温めました。

総会のあと、クラブ表彰・全国大会出場壮行会を開催

午後1時、石橋隆夫副会長（32回）の開会の辞で総会の幕が開きました。司会は、毎朝「す・またん!」（読売テレビ）の天気予報コーナーに出演中の気象予報士で俳優の達（だて）淳一さん（71回）。物故者黙祷のあと、大樟会を代表して角脇忠行会長（34回）が式辞（別掲）を述べました。

続いて、藤本二郎理事長、山本俊一郎学長が祝辞を述べ、新学部の創設など大学の構想やクラブ活動の成果が報告されました。

来賓紹介に続いて、長年にわたり大樟会の発展に尽力した支部長や本部役員の表彰が行われ、松永清彦岡山支部長（41回）、竹中亨常務理事・伊丹支部長（32回）に感謝状が贈呈されました。

総会終了後、課外活動表彰式・全国大会出場壮行会（大学との共催）がCBS文化放送局の向山侑汰局長（4回生）の司会で始まりました。弓道部（男子・女子）、準硬式野球部、バドミントン部（男子）、ハンドボール部、陸上競技部および個人14名が表彰されました。また、山本学長、体育会本部・チアリーダー部と客席の激励を受けながら、陸上競技部（長距離）、弓道部（女子）、ドラフト指名を受けた硬式野球部・才木海翔さん（4回生）が登壇、全国大会出場壮行会・報告会が繰り広げられました（ハンドボール部とFC岐阜に入団決定のサッカー部・上野輝人さんは、大会出場等により欠席）。

その後、ジョン・道阪さん（76回）による華麗なマジックショーが行われ、アシスタントを務めたチアリーダー部員の笑顔と道阪さんの技に大きな拍手が起こりました。

最後に、約200本もの賞品が当たるビンゴゲーム大会を開催。阪急グループ・ペアディナー付宿泊券とペアディナー券、商品券、各支部協賛による特産品の当選者がでるたびに歓声が沸き上がりました。

コロナ感染対策のため、参加者が一堂に会する懇親会は開かず、各教室にわかれて弁当を提供しました。大学90周年を祝うとともに100周年を見据え、母校・在学生と卒業生の「つながり」を深める好機となりました。午後4時、石橋副会長が閉会を告げると、友人との再会を約束して参加者は会場を後にしました。

式辞（要旨）

母校・学生支援活動を強化し、100周年に向けて連携

大樟会会長　角脇　忠行

コロナ禍で、２年以上も大樟会の活動が制約され、総会は３年ぶりの開催です。母校で、久しぶりに皆さまとお会いでき嬉しい限りです。

まだコロナ禍の完全な収束は見通せませんが、さまざまな制約が徐々に緩和され、大樟会の本部事業や支部活動も再開されつつあります。来年こそは、活発な活動が完全に再開されるよう期待しています。

コロナ禍をきっかけに経済的に苦労する学生やクラブを支援するために、一昨年、母校へ1500万円の寄付を行いました。また、無料の弁当を提供するなど、学生支援の活動も展開しており、今後も新たな支援の形を模索していきます。

今後は、大学100周年に向けての事業計画がいよいよ本格化します。在学生と卒業生、大学と大樟会の連携を一層強化し、事業を推進・支援していきたいと思います。

大樟会は「つながる力。」をキーワードに、母校・在学生と卒業生との絆をつなぐ活動を続けていきます。

会員の皆さまのさらなるご支援をお願いいたします。

各教室で、弁当の昼食

開会の辞・石橋副会長

物故者黙祷

表彰者　※敬称略

松永岡山支部長

竹中常務理事

＜支 部 長＞	富山支部	老月　邦夫（37回）
	北摂支部	本郷　公夫（33回）
	北播磨支部	伊藤　俊博（32回）
	但馬支部	田渕　善人（36回）
	淡路島支部	赤松　慶久（37回）
	岡山支部	松永　清彦（41回）
＜本部役員＞	常務理事	田村　正晴（30回）
	常務理事	小林　眞人（32回）
	常務理事	竹中　亨（32回）
	常務理事	内田　敏雄（39回）
	常務理事	上田敬二郎（52回）
	常務理事	石橋佳世子（68回）
	監　事	廣野　義直（34回）
	監　事	川口　正義（41回）

式辞・角脇会長

祝辞・藤本理事長

祝辞・山本学長

課外活動学生表彰

マジックショー（ジョン・道阪さん）

ビンゴ大会（大樟会役員と大学職員）

クラブ全国大会出場壮行会

ビンゴ大会で盛り上がる会場

創立90周年記念式典、華やかに挙行

開会宣言・崎田常務

司会・達さん

式辞・藤本理事長

90 周年記念展示
（A 館入口横）

記念植樹（小出私大協会事務局長と藤本理事長）

祝辞・小出私大協会事務局長

祝辞・西山東淀川区長

祝辞・角脇大樟会会長

チアリーダー部の演技

「90 周年のあゆみ」スライドショー

謝辞・山本学長

学歌斉唱

11月3日、大樟会総会の開催に先立つ午前10時からA館・フレアホールで大阪経済大学・創立90周年記念式典が挙行されました。式のあと、阪急阪神ホールディングス会長・角和夫氏の記念講演が行われました(P.19参照)。

100 周年に向けて 新たな一歩を踏み出す

式典に先立つ午前9時から、E館北側で記念植樹が行われ、来賓と大学代表により、ソメイヨシノの幼木に土が盛られました。

会場をA館・フレアホールに移し、崎田洋一常務理事の開会宣言とともに吹奏楽部のファンファーレ、チアリーダー部のはつらつとした演技で式典が開幕しました。司会は大樟会総会と同様、達淳一（71回）さんが務めました。

初めに、藤本理事長が式辞において母校の歴史、先達への感謝等を述べたのち、定員の増加が認可され2022年度6,620人から2026年度には7,440人になる見込みと報告。さらに新学部「国際共創学部」の設置構想について説明し、「学生が自分を見つめ、創る場としての環境、知識と教養、豊かな感性や人間性を備えるための教育を提供する」と大学の使命を語りました。また来賓の日本私立大学協会・小出秀文常務理事・事務局長、東淀川区・西山忠邦区長、大樟会・角脇忠行会長から祝辞が述べられました。

祝電披露に続いて、ジャパネットたかたの創業者・髙田明さん（37回）他、卒業生10組11名のビデオ・メッセージ（別掲）、そして「90周年のあゆみ」スライドショーが上映されました。

引き続き、山本俊一郎学長が謝辞を述べ、「多様性の重要さが叫ばれるなか、本学の建学の精神『自由と融和』という言葉の意味が重みを増しています。これまで培ってきた学風に誇りをもち、教職員一丸となって100周年、150周年に向け邁進してまいります」と表明しました。

最後に、グリークラブ（現役・OB）と参加者により学歌斉唱が行われ、会場全体が一体感に包まれるなか式典が閉幕しました。

ビデオ・メッセージ　※敬称略

1.税理士法人いちはら会計　市原孝志　（40回）
　税理士法人いちはら会計　市原幸惠　（42回）
2.大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科准教授
　林日出夫（49回）
3.大阪経済大学硬式野球部監督　山本和作（75回）
4.株式会社トウマトータルビジネス代表取締役
　當眞嗣成（71回・院73、75回）
5.煎茶道二條流家元　二條雅瑛（藤本昌英）（58回）
6.漫画家　風狸けん（濱田芳郎）（47回）
7.Office IJM　プロマジシャン　ジョン・道阪（道阪友裕）（76回）
8.株式会社エーアイテイー代表取締役社長　矢倉英一（39回）
9.大阪府泉南郡熊取町長　藤原敏司　（41回）
10.株式会社A and Live代表取締役　髙田明（37回）

創立 90 周年記念講演

テーマ
「サステナブルな社会の実現に向けて」

講師　角（すみ）　和夫（かずお）氏　阪急阪神ホールディングス株式会社代表取締役会長兼グループCEO

創立90周年記念式典の終盤、阪急阪神ホールディングス会長の角和夫氏による記念講演が行われました。阪急阪神グループの歴史やまちづくりの紹介に続き、持続可能な社会実現に向けた提言に聴衆は熱心に耳を傾けました。（以下、講演要旨）

阪急阪神ホールディングスの成り立ち

阪急阪神東宝グループは、鉄道、不動産等が主軸の阪急阪神ホールディングス（当社グループ）、百貨店等のエイチ・ツー・オーリテイリング、東宝という3つのグループがゆるやかに連携してそれぞれ事業を行っています。鉄道、百貨店、東宝の各事業の文化は全く違うため、阪急電鉄の創業者・小林一三は、株で支配するのではなく、遠心力のグループ経営を行いました。現在は、当社グループが、エイチ・ツー・オーと東宝の20%強の株式を保有し、持分法適用会社としています。

当社グループの営業収益（売上高）は、大手民鉄の中で第3位ですが、営業利益、EBITDA（償却前営業利益）はともに1位です。関西全体の人口が減少する中、当社沿線は、阪神・淡路大震災で一度、大きく落ち込んだ後は、増加し続けています*1。「住んでみたい街」の調査*2では、西宮スタジアム跡地開発を中心に駅周辺のまちづくりが進んだ結果、西宮北口の人気が上昇し、2016年から6年連続1位となりました。また、サービス産業における顧客満足度調査*3の業種別ランキングでは、宝塚歌劇団が全27業種、241企業・ブランドでトップの評価となり、業種別では、阪急電鉄が近郊鉄道の1位、阪急百貨店がデパートの1位となっています。なぜこうした結果を出すことができたのか、これまで当社が手掛けてきたまちづくりをご紹介します。

小林一三のビジネスモデルと現在のまちづくり

1872年、新橋ー横浜間で日本初の鉄道が開業した後、関西では、関東に先駆けて私鉄ブームが起こります。大阪・堺間の阪堺鉄道（現・南海電鉄。1885年開通）、阪神電鉄（1905年開通）など、大都市を結ぶ路線が相次いで営業を開始。一方の阪急電鉄は、1910年の開業ですが、田園地帯（池田・宝塚、箕面）を走る路線であったため、新たな需要創出の必要に迫られました。そこで、鉄道敷設と同時に沿線の住宅開発を行い、企業の中間管理職クラスでも一戸建てを買えるように、日本初の割賦販売（住宅ローン）を導入、通勤客を確保しました。また、逆方向への輸送を増やすべく、終点の宝塚に温泉レジャー施設を開発、後に宝塚唱歌隊（現・宝塚歌劇団）が誕生。さらに梅田にターミナルデパートを開業し、昼間の利用者増も図りました。

当時から、我々のまちづくりの柱としているのが「安心」「教育」「文化」で、その考えは今も変わりません。安心への取り組みでは、伊丹市と協働し、防犯カメラとITを活用して子どもや高齢者を見守る「まちなかミマモルメ」を開発・運営。その結果、伊丹市では街頭犯罪の認知件数が大幅に減少しました。また、教育では、当社グループ全体の社会貢献活動として、2009年から「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」を展開、小学生の職業体験学習やSDGsトレインの運行などを実施しています。文化では、例えば、西宮北口周辺開発で誘致した兵庫県立芸術文化センターは、年間で600公演、約50万人の来場を誇り、住民にも親しまれる施設となっています。

サステナブルな社会づくりのために

2005年以前は、阪急電鉄は事業持株会社として多様な子会社を有しており、例えば阪急電鉄で不動産事業やホテル事業を行う一方、阪急不動産、新阪急ホテルが上場し、親子間で利益相反が起こっていました。そこで、2005年に純粋持株会社体制に移行し、阪急ホールディングスが誕生しました。その後、村上ファンドの阪神株買い占めが起き、阪神電鉄と阪急ホールディングスが経営統合して、2006年に阪急阪神ホールディングスとなりました。グループ体制を整えていたので、阪急電鉄と阪神電鉄をホールディングス傘下の兄弟会社とすることができ、阪神のブランドを残すことができたのは幸運だったと思います。

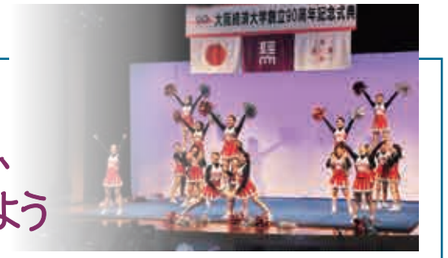
私は、企業経営においては従業員満足度（ES）の向上が特に大事だと考えています。ESが高まれば、おのずと良いサービスが提供され、顧客満足度（CS）が高まる、そして業績が向上し、株主に還元できる。つまり企業価値とは、売上高や時価総額ではなく、従業員のパワーの総和だと思います。「企業が学生に求める資質」（経団連のアンケート）*4の1位は「主体性」、2位は「協調性」で、「倫理観」に対する期待値の低いことが気になります。昨今の様々な企業の不祥事などを見ても、やはり倫理観の醸成は非常に大切なことだと思っています。

最後に、日本の財政状況に目を転じますと、日本の高齢化率は群を抜いており、人口減は国力を減退させます。赤字国債の削減と、保育・教育環境の充実をはじめ、戦略的な投資が必要であり、国民に対し税への理解を広げることが必要だと思います。

*1 東洋経済新報社「地域経済総覧」より
*2 大手不動産会社7社の提携サイト「MAJOR7」より
*3 （公財）日本生産性本部「2021年度JCSI調査」より
*4 （一社）日本経済団体連合「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」より

体育会◆チアリーダー部

「make you smile」を部目標のもと、関わる全ての方々を笑顔にできるよう



主将・中口明音さん（経営学部３回生）、主務・芳倉風羽さん（情報社会学部３回生）にお聞きしました。

「チアスピリット」をモットーに他部応援、学校行事、地域行事の参加などみんなが温かい心になれるように願いを持ち笑顔で活動しています。私たちが入学した2020年４月は、コロナ禍の真っ只中で入学式も行われず、構内は立ち入り禁止、講義はリモートが中心、もちろん各クラブの勧誘活動もありませんでした。大学４年間、何かのクラブをしたいと思っていた時、インスタグラムでチアリーダー部があると知って、少し経験があり、野球部や他のクラブの応援がしたくて入部しました。入部しても活動には制限があり、また各クラブもコロナ禍の影響で試合そのものが中止、また開催されても無観客という環境が続き２年間は殆ど活動、応援ができませんでした。ようやく2022年になって、コロナ禍の収まりが見え始め積極的に活動できるようになりました。

部員は現在19名（取材時）練習場所はＡ館のフレアホールや体育館を使わせて頂いて、日曜日、平日は17時より外部のコーチの指導の下練習に励んでいます。

左：芳倉さん、右：中口さん

練習では各個人のスキルアップがチーム全体のレベルアップになると思うので全員真剣に取り組んでいます。また、練習場所には、高さ、広さが必要です。各自ケガをしないよう細心の注意をはらっています。

今年度の活動実績としては、硬式野球部や伊勢駅伝の応援等各クラブの応援はもちろんのこと、大樟会総会でのジョン道阪さんのマジックショーのアシスタント、11月19日には、キッズカレッジ「チアリーディング教室」を体育館３階において開催し、チアリーディングの魅力を伝えるため、子どもたちの指導、教室の運営にあたりました。また12月１日には東淀川区豊新小学校において東淀川警察署の発隊式にも、吹奏楽部とともに参加させていただきました。

12月18日には、Ａ館フレアホールにて３年ぶりに第４回単独公演を行いました。この公演には本学の学生、卒業生の他、地域の方々にも見ていただき、また、「チアリーディング教室」で指導した子どもたちも参加し、大変盛り上がりました。この公演を最後に３回生は引退しますが、後輩達もこれからもがんばってほしいです。

これからも、ますます個人にチームに磨きをかけて、もっともっと、活動の場を広げていきたいと思っていますので、ぜひよろしくお願いいたします。

（聞き手＝事務局長・角庵勝巳、広報部・田島裕司）

体育会◆陸上競技部

出雲・伊勢路で健闘！

2022年10月10日、第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走に本学陸上競技部が出場しました。出雲大社から出雲ドームまでの45.1kmを６人で挑戦し、結果は、出場20校中14位と昨年より順位を落としたものの2021年度の本学過去最高記録を更新しました。

さらに、11月６日、第53回全日本大学駅伝対校選手権大会に、昨年に続き２年連続24回目の出場を果たしました。名古屋・熱田神宮から三重・伊勢神宮までの８区106.8kmを駆け抜け、結果は、出場25校中17位と昨年の成績を上回りました。

体育会◆硬式野球部
才木 海翔さん

2022年プロ野球ドラフト
オリックス・バファローズ育成２位指名

自分が野球を始めたきっかけは、幼稚園時の２つ上のお兄ちゃんとの出会いでした。よく遊んでもらいましたが、小学生になった時、そのお兄ちゃんは少年野球を始めていて、３年の時に誘われました。ピッチャーは５年生から始めました。

中学校に進学して、部活で野球部に入部しましたが、部員は10人しかいなくて、ピッチャーをしながら外野も守りました。３年生の時に豊中市の大会で優勝しました。中学１年から３年の毎週火曜日は、自主練習で尼崎の球場に通いました。そこで大経大OBの北海道栄高校の監督の目にとまり、声をかけて頂きその高校に進学しました。高校野球部の部員は約100名いて、自分は２年の秋からレギュラーになることができ、秋季全道大会にも出場できました。３年生の夏の南北海道大会では、ベスト４に終わり甲子園には行けませんでした。

大学に入学後の練習は、個々の能力を伸ばす練習、自分で考えながらする練習が多くなりました。高校時代の練習内容とは大きく違うことに当初は驚きましたが、自分の個性を伸ばす、また、長所を伸ばせる様４年間頑張りました。

プロ野球ドラフトにて育成で指名さましたが、育成にはタイムリミットがあると思います。山本監督のように育成から支配下登録されて、活躍されている方も多くいるので、一番の目標は一日でも早く支配下登録されて、自分の仕事ができるよう精一杯がんばります。

山本前監督（左）と才木選手

山本和作（前監督）からのアドバイス

僕も育成からのスタートだったので、コンプレックスがあったが入団すれば思い切り頑張って野球をして力を発揮してほしい。

それだけの選手だと思っています。オリックスは環境も整っていて一軍と二軍の距離も近いし、監督もよく現場に見に来てくれると思うので精一杯アピールしてほしい。また、レベルの高い選手の練習も見て、いろいろなアドバイスも自分からどんどん聞きにいってほしい。成功者についていくのが、成功への近道かも。能力を認められて、プロにはいったわけだから。本人の強みのストレートをもっと磨いてほしい。

（聞き手＝広報部部長・田中伸治、広報部・田島裕司）

プロフィール
- 本学情報社会学部　４年
- 庄内小３年に庄内ゼッツ野球クラブで野球をはじめる
- 豊中第６中では部活で野球部に所属
- 北海道栄高では２年秋から全道大会ベスト４
- ３年夏は南北海道大会ベスト４
- 大経大では１年春から登板し、
- 六大学通算18試合５勝３敗　防御率0.79

体育会◆弓道部（女子）

弓道を通じて人間性も成長

主将・甲斐玲実さん（人間科学部4回生）、副将・北岡七海さん（経済学部4回生）にお聞きしました。

「弓道を始めたきっかけは、小・中学生時代はバレーボール部に所属していましたが、中学校の体育館のすぐそばに町の弓道場があり、弓道をしている人を見て、非常にかっこよく思い、高校入学後はじめました。高校3年のインターハイではベスト4まで進出しましたが、当初商業高校でもあり、大学進学はあまり考えていませんでした。宮崎県内の他の高校の先生が大経大の監督と知り合いであり、その方の紹介で、また都会への憧れもあり大経大に入学しました」（甲斐さん）

「中学生の時に、二つ上の姉が弓道部に所属していて、とてもかっこよく思い私もしてみたいと思い、高校入学後弓道部に入部しました。高校時代は地区大会では勝ったけれども、大きな試合では実績はありませんでした。大経大には、高校時代の一学年上の先輩がいて、その人から大学の話を聞いているうちに、この大学に入りたいと思い入学しました」（北岡さん）

弓道部（女子）の部員は全員で20名。練習時間は毎日16時から20時半まで。週に1回休みです。

私たちは、弓道を通じて勝ち負けは大事だけれども、人として人間性も大事。目標に対して、どんな努力をしたか、結果はどうだったか。「社会に役立つ人間を弓道を通じて育てる」という監督の教えの下、弓道を通じて人間性の成長も鍛錬しています。

弓道は「性格の競技」と言われています。本当にその人の性格がでます。弓を引くのにあせってはダメ。自分の弱い部分がでる競技です。弓道を通じて人間的にも成長できたと思います。

今年度の目標はすべてのタイトルの獲得でしたが、達成できなかったので、来年度は後輩たちにぜひ達成してほしいと思います。

本学に入学して、スポーツをする上でたくさんの応援もして頂き、就職率も高く、就職に対するフォローもして頂き、大学と学生の距離も近く、人を大切にする大学と思い感謝しています。もちろん、100円ランチも利用させていただいてます。

（聞き手＝事務局長・角庵勝巳、広報部・田島裕司）

令和4年度主な大会の戦績（団体戦のみ）

新人戦（令和3年春実施）	準決勝敗退
第66回関西学生弓道選手権大会	準優勝
第34回全国大学弓道選抜大会	第3位
第70回全日本学生弓道選手権大会	準優勝
関西学生弓道リーグ戦（1部）	第1位
第46回全日本学生弓道女子王座決定戦	出場
第46回女子東西対抗弓道選抜対抗試合	準優勝

奥：甲斐さん、手前：北岡さん

芸術会◆写真部

写真の魅力は「一瞬の思い出を形としてのこせること」

部長・鳥崎結斗さん（経済学部3回生）、副部長・原野紗花さん（経済学部3回生）にお聞きしました。

私たちが写真部に入部したきっかけは、「高校時代は吹奏楽部に所属していましたが、この大学に写真部があるのは知っていて、写真が好きな父の影響で入部しました」。（鳥崎さん）「両親の影響で高校時代に買った大切なカメラを大学に入学後も役にたてたかった」。（原野さん）コロナ禍の影響で入部はしたけれども、活動自体も制限され、ラインでの情報等のやりとりはあったけれども、11月までお互い顔も知りませんでした。

部員は現在男子34名、女子が10名の合計44名（取材時）部室は大樟ホールの3階です。全体的な部会は2週間に1回、連絡事項、確認事項を行っています。

写真部の特徴としては、アットホームなクラブで撮影に日本全国に行っています。また、モノクロの現像ができるのは関西では本学を含め3校のみとのこと。そして、他大学との交流も盛んで関西交流会を10月に開催し、次回は来年3月に行う予定です。発表会としては、毎年6月の夏部展、12月の冬部展を大阪市北区中崎町の「イロリムラ」で開催しています。この部展は展示点数が決まっている為、各自が持ち寄った作品を全員が匿名で投票して出展するのでかなり完成度の高い作品となっています。写真部は3年生の12月で引退するので、ぜひ皆さんにも見て頂きたいです。また、4月の新入生入学時期、学園祭の時などに全員が好きな作品を出品しています。学外への撮影会は直近では京都や、神戸の元町などを訪れましたが、12月には奈良に行く予定です。学外撮影会は参加自由ですが、非常に参加率が高いです。

左：鳥崎さん、右：原野さん

私たちが第74代の部長、副部長ですが、今まで卒業生の方々との交流、ふれあいというのが全然ありませんでした。卒業生の方で、現在も写真に関わっている方もいると聞いているので、ぜひ写真部OB・OG会という組織を立ち上げて頂いて、現役学生との交流、色々なアドバイスが頂ければ、ありがたいと思います。

写真の魅力とは「一瞬を思い出にできること。一枚の写真を見て、その時のことが思い出される」。（鳥崎さん）「人の記憶は曖昧なもので、写真は記憶を残せるものだと思う」。（原野さん）

ぜひ皆さんも写真という奥深い世界を見てもらって、有意義な4年間を過ごして頂きたいと思います。

（聞き手＝広報部部長・田中伸治〔写真部OB〕、広報部・田島裕司）

第80回冬部展会場にて

全クラブ一覧（2023年1月現在）

●体育会
- 合氣道部
- アイススケート部（スピード・フィギュア）
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部（男子・女子）
- 競技スキー部（休部中）
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自転車部（レース・サイクルサッカー）
- 自動車部
- 柔道部
- 重量挙部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 卓球部
- チアリーダー部
- 日本拳法部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部（休部中）
- ラクロス部（男子・女子）
- ラグビー部
- 陸上競技部

●芸術会
- 映画研究部
- 演劇研究部
- ギタークラブ
- グリークラブ
- 軽音楽部
- 茶道部
- 写真部
- 邦楽部（休部中）
- マンドリンクラブ
- 落語研究部

●学術会
- E.S.S部
- 将棋部
- 証券研究部
- パソコン部
- 文芸部
- 簿記会計研究部
- ボランティアクラブ
- ユースホステルクラブ

●独立総部
- アルバム委員会
- CBS文化放送局
- 吹奏楽総部
- ワンダーフォーゲル部

●総部会
- Ⅱ部軽音楽部
- Ⅱ部バスケットボール部
- フットサル部

新 北から南から

from the south, from the north.

このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字以内にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。（原稿のメール送信を歓迎します）

・締め切り　2023年8月末日必着
・送 付 先　〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8
大阪経済大学大樟会「北から南から」係　宛
・eメール　okusu@osaka-ue-denko.com

※以下の原稿は 2022 年に寄稿いただいたものです。

無　題

山田　彰吾（50回）

コロナ禍が急速に広まり東京オリンピックが延期された2020年の夏、父が体調を崩した。猛暑による夏バテかと思い、病院に行くと即入院となった。胆管がん末期。

御年八十八、高齢の為、手術も抗がん治療にも耐える体力は残っていなかった。唯々、その日が来るまでを穏やかに過ごす努力をするしかないのだがコロナ禍で面会もままならない。待合室でモニター越しに父と会話する。あっという間に制限時間が過ぎていく。このままでいいのか?

悩んだ末に父を自宅に連れて帰った。

介護、看病が自分に出来るのか甚だ不安であったが、最期は自宅で、好きなお酒もタバコも、孫達との会話も楽しんで貰いたいとの想いで何とか頑張れた。激痛による悶絶と麻薬による妄想が、昼夜関係なく襲って来て辛かったが、家族に見守られながらの最期となった。

コロナが無かったら入院したままだったと思う。介護の壮絶さを感じつつも父を看取る事が出来たのは、コロナのお陰である。

（大阪府泉南市）

教師人生に問う

土居　隆博（51回）

大学を卒業し、38年早くも定年を迎える年となる。卒業後、住み慣れた大阪から地元の岡山に戻り、商業高校の教壇に立った。20年後に何の因果か分からないが、特別支援学校に勤務することになり、自分の人生が大きく変わってしまった。高校では、教科書もあり年間の指導計画もある。それに比べ、支援学校では教科書もなく、年間指導計画もない。その場にいる生徒の実態を把握し、年間の指導計画を立てる。一人一人の生徒に合った指導内容を計画し、指導・支援の方法を考えていく。その現状を目の当たりにして、教育の原点を見つめ直すことができた。教育の主役が、一人一人の生徒であること、教育で生徒に何ができるようになったかが問われる。現在、コロナ感染やGIGAスクール構想により、学校現場は大きく変容している。しかし、教育において環境は変わっても、主役は生徒であることを忘れてはいけない。教師を目指す学生の皆さんには、そのことを強く訴えたい。

（岡山県津山市）

私のセカンドキャリア

植田　成浩（52回）

母校を卒業してから早いもので36年という月日が流れました。この間、何度か母校に足を運び新しく立派になっていくキャンパスに目を見張りながらも、同時に一抹の寂しさを感じたりもしておりました。私は大学卒業と同時に大阪の新規開業ホテルに就職し、その後33年間、複数のホテルでいわゆるホテルマンとして充実した社会人生活を送ってきましたが、55歳を迎え定年という文字が頭をちらつきだした3年前、思い切って会社を早期に退職しセカンドキャリアを歩むことを決断しました。人生100年時代、細々とでもよいので長く続けることができる仕事をしたいと考えたからです。1年間の受験勉強を経て行政書士試験に合格し、2020年4月に地元兵庫県伊丹市にて、遺言・相続に関する相談と必要書類の作成を専門業務とする行政書士の個人事務所を開業しました。まだまだ駆け出しの新人行政書士ですが、業務を通じて地域社会に貢献したいという思いを胸に日々奮闘している今日この頃です。

（兵庫県伊丹市）

もうすぐ還暦だ!!

上田　敬二郎（52回）

経大を卒業時はバブルの真っ只中。Bゴルフ用品販売会社に入った私は営業の洗礼を浴びた。朝早くから夜遅くまで車で走り回り月末は営業成績達成に苦心した。沢山失敗もし、成功もした。この経験は宝物だ。会社には経大の先輩が何人もいて有難さを知った。15年勤務した後、心機一転介護業界へと方向転換する。学生時代から関わる歌うボランティア活動も心を後押ししてくれた。

自立できる知的障害者の社会活動の生活支援に関わり、グループホームを中心に地域生活になじむようにサポートした。その後、デイサービスのヘルパーを経て、老人介護施設の介護福祉士となり現在に至る。私は全ての介護の中心にあるのが、利用者の満足と安心の得られる介護だと思う。

豊中支部活動にも参加したり、本部常務理事も経験して、日本中の多くの支部へ行き同窓会の奥の深さを知る。当時の大樟会会長にも、各支部長にも大変お世話になりました。支援頂いた皆様に感謝致します。

これからも大学への恩返しと、大樟会への出来る限りの協力をしていこうと思っています。

（大阪府豊中市）

入学・卒業から現在迄

長谷川　洋久（52回）

経済学部に入学し、現在はクラブ登録がない鉄道研究会に所属。故倉辻平治ゼミの都市経済に興味を持ち、倉辻先生とゼミ仲間と一緒に丹波篠山へ泊まり、ぼたん鍋を囲んだ事。4年間のいい思い出となりました。卒業後、電機メーカーへ就職。プラザ合意による円高不況、デジタル化の波、ユーザー嗜好の変化から会社が傾き、現在のソフトバンクとなる会社へ転職。全国転々と転勤し、昨年定年を迎え、福岡市が最後の勤務地となり、嘱託社員として、OS関係の業務に就いています。

会社ではデジタルの最先端を歩み、まさにイノベーション進化の目撃者となりました。卒業時、携帯電話にネット通信とカメラが合体し、アメリカよりiPhone（黒船）が上陸。国民の多くが利用し、インフラ機能を担う社会になり、今後も進化するでしょう。

コロナ蔓延から、私も基礎疾患があり、4回目のワクチン接種を終えて、大病もなく、65歳迄、元気に勤め上げたいと思います。

（福岡県福岡市）

コロナ禍での楽しみ

奥山　義則（53回）

大学卒業までの22年間を兵庫・大阪で過ごし、岡山にあるトンボ（鉛筆でなく学生服です。）に就職して、はや35年となりました。会社には経大卒が14名在籍、今や一大派閥?となっており、上から2番目の長老です。入社1年後から名古屋、岡山、東京、横浜、東京、名古屋、東京と異動を命じられ、最初の東京異動時は生まれたばかりの子供を連れての転勤でした。子供が就学するようになってからは単身赴任もして関東での生活が早や24年となりました。定年後、子供達はさておき、妻にも見放され、一人Uターンとなることを恐れている今日この頃です（笑）。東京に赴任してから齢を重ねる毎に自然が恋しくなり、コロナ禍の今は、関東近郊の山々から足を延ばして信州北アルプスの登山を楽しんでいます。学生時代は4年間グリークラブ（当時は100名を超す大所帯）に所属し青春を謳歌しました。コロナ禍でリモート中心になり、岡山本社への出張、帰省の機会も減り、新幹線越しに母校を観る楽しみが少なくなり、寂しく残念に思っている今日この頃、母校の益々の発展を関東の地より祈念しています。

（岡山県岡山市）

第二の人生突入を目の前にして

木下　茂喜（53回）

澱江の「北から南から」をいつも拝見させて頂いていますが、皆様の大学時代の充実した生活が眩しく感じます。私といえばアルバイトに明け暮れる毎日でしたが、登校した時は図書館の落着いた雰囲気が好きでよく通っていました。（久野晋良先生の「宗教哲学」のゼミ生で、とにかく山ほど本を読みました）

一生懸命勉学、もといアルバイトに精を出したおかげで皆より1年多く勉強する機会を与えていただき（笑）、卒業後は、衛材メーカーの川本産業に数年営業として勤めた後、地元のJAきしわだ（現在JAいずみの）に転職し現在に至っております。JAでは、いい意味での文系人間の柔軟さで厳しい営業も何とか乗り切り、ありがたい事に何の取柄もない私を当時の上司が新設の住宅ローンセンターや金融店舗、営業本部等を任せてくれました。波あり谷ありのサラリーマン人生も令和5年3月末でピリオドです。定年後は得意のアルバイトでもしながら、趣味のオートバイや登山を楽しみたいと思っています。最後になりましたが、このような投稿の機会を頂き感謝申し上げるとともに、大阪経済大学の今後益々のご発展を祈念いたします。

（大阪府貝塚市）

近況報告

森本　嘉則（54回）

昭和63年に卒業して、34年が経ちました。大阪のビル管理会社へ入社し、平成13年より某警備会社の子会社に勤務しております。早いもので再来年で定年を迎える事となりました。子供2人も社会人となり、ホッとしているところです。40半ばを過ぎたあたりから、月日の経つのが早く感じられる様になり「光陰矢の如し」と言う言葉の意味を実感しております。最近「人生百年時代」と言うフレーズを耳にしますが、私個人としては、そんなにも生きられそうにはありません。今のところ体調は問題ないのですが、睡眠時無呼吸症候群の治療を受けております。睡眠が浅いと言うわけでも無かったのですが、昼間に眠気を感じる事が多くなり、受診しましたら無呼吸症候群と診断されました。この様な症状を感じておられるなら、一度受診されてみられたら如何でしょうか。

最後になりましたが経大の益々の御発展を祈念しております。

（兵庫県神戸市）

大学の効能

自身、齢56にして、ようやく長男が大学受験に臨む。昨今では当たり前になった、オープンキャンパス巡りをして進学先を選ぶ。私も帯同して色々な大学にお邪魔させて頂いた。長男は理系志望。順路に従い講堂や研究室、食堂など施設を見て回る。難しい研究を分かりやすく伝えようと説明する学生諸君に、私はただ頷くばかり。だが、行く先々で必ず感じるのは、若い人の発する自由な空気、かなり青い表現だが「夢」や「希望」である。私自身まだ老け込む歳ではないが、それなりに責任を負う立場になると、いつしか保守的な考えに安住していることに気づく。デジタルとか聞くと気乗りはしないが、にわかに進む世の流れを、もっとしなやかな気持ちでやってみたらと、素直に思えた。オープンキャンパスは、半日足らずの僅かな時間である。しかし、変化に対して前向きな気持ちを私に起こさせた意味において、大学特有の自由な空気は、確かな効能があったと言えるのではないだろうか。長男がそれを感じ取ってくれたなら、父親として喜ばしいことである。

（岡山県岡山市）

私の資格試験

矢野　博宣（55回）

私は平成元年3月に卒業しました。1年休学して卒業しました。その後、色々転職しました。資格試験を勉強して、家の農業もしました。資格試験は社会労務士の試験を20年もしたが不合格でした。税理士や公認会計士や宅建やファイナンシャルプランナーの試験を受けました。1年前ファイナンシャルプランナーの3級と2級に合格しました。私は卒業後も働きながら勉強したいと思っていました。

今はファイナンシャルプランナーの自営業をしています。

（高知県高岡郡佐川町）

夢や希望を追い求めていますか？輝いていますか？

岡本　裕之（56回）

令和２年１月に日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認され、パンデミックによる世界的な流行により「東京オリンピック・パラリンピック2020」の開催が延期になりました。その後も国内では飲食店の時短営業、旅行や帰省を控えるなど、様々な行動制限が要請され、多くの活動に影響を与えました。

そして令和４年の夏。日本は新規感染者世界最多となりました。

国民体育大会は、私がトライアスロン競技の兵庫県監督となった令和２年、３年と２年連続で開催されていません。このような厳しい状況でも選手たちと共に入賞を目指し、コツコツと前進してきました。しかし、目標を見失い、切り替えが難しい選手、また人生を左右された選手など影響は計り知れません。今年こそ国民体育大会が無事に開催されることを願います。

和歌山県で開催される「南紀白浜トライアスロン大会」をテーマにされ、トライアスロンの可能性と地元の活性化について研究した、大阪経済大学のゼミの発表内容をインターネットで拝見しました。非常に興味深く、良く調べているなぁと感心しました。

トライアスロン選手の年齢層は高くなっています。私が在学中に全国で開催された大会は、第１回大会や第２回大会などで、国内でトライアスロン大会が始まったばかりでした。そのころ共に戦った選手のなかには、まだ現役で活躍しており、大会では上位でフィニッシュする選手もいます。私はというと、トライアスロンコーチとして上位資格取得に向けて、分厚いリファレンスブックと格闘しています。

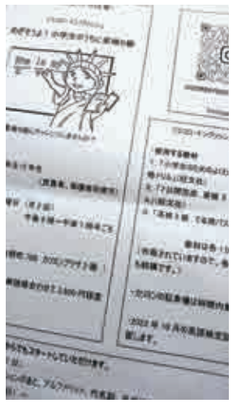
経大生のみなさん、経大トライアスロン部を立ち上げて、夢と希望、目標に向かって一緒に頑張りませんか?

青春真っただ中!　頭を高く上げ、希望の波をとらえよう!

（兵庫県宝塚市）

英語の成績オール「可」の私

藤田　一郎（57回）



拝啓　時節柄皆様お変わりございませんか。

先日、DVDを借りて「難波金融伝ミナミの帝王　土俵際の伝説」を観ました。そこには我が母校が「難波大学」として映し出され、たくさんの女子大生が歩いていました。観ていた倅に、「ほとんど女の子はいなかったよ…」と笑いながら一緒に楽しみました。

今は勤め人として忙しい毎日を過ごしています。その合間を縫って、ボランティアで英検向けの英語教室を開催しています。大学時代の英語の成績が全て「可」だった私が、30年を経て英語の指導をしています…、英語は勉強して損はしません。学生時代に私が気づかなかったこのことを、今の子供たちに早くわかってほしいと思いながら指導しています。

皆様におかれましては、どうかくれぐれもご自愛ください。同窓会でお会いできることを楽しみにしています。

感謝を込めて　　敬具

（三重県松阪市）

卒業して30年

南野　知弘（58回）

平成４年に卒業して銀行に勤めて30年が経ちました。その間に金融機関を取り巻く環境は厳しさもあり、私は３回の行名変更を経験しました。今までに出会った、学生時代の友人、社会人になっての上司、同僚、取引先の全ての人々が、自分自身を成長させてくれた財産となって、今の私が存在していると思います。サークルの仲間からは経理を担当していたこともあり、「支店長」と呼ばれていましたが、まさかそのまま、銀行に就職して結果的に支店長になるとは･･･。現在は地元大阪の地を離れ、滋賀県高島市の支店で勤務しています。昨年には人生で初めて除雪機での雪かきを経験し慣れない作業で両腕が腱鞘炎になり、何度も痛み止めの注射のお世話になりました。今は部下職員を企業にとって必要とされる人材として育てることに微力ながら、仕事を通して精一杯努めています。「仕事は厳しく楽しく!!」

（大阪府堺市）

近況報告

深谷　和彦（60回）

私は1994（平成６）年に大阪経済大学を卒業しましたが、私が就職活動をしていた時期は、ちょうどバブル経済崩壊後、就職氷河期に入った時で、大変苦戦いたしました。しかし不思議な導きで、三重県の南勢地区にある特別養護老人ホームの職員として就職し、生まれ育った大阪を離れ、今年で27年目となりました。仕事も忙しく、また新型コロナもあり、なかなか大阪へ帰れませんが、毎回送られてくる「澱江」を拝見し、大学の発展や先生方、後輩たちの活躍を楽しみにしております。

現在、私は社会福祉法人の法人事務局で働いております。高齢者介護は制度や法律の変更、３年に一度の報酬改定や介護人材の確保、時代の変化も相まって、対応に試行錯誤することが多くあります。加えて近年は新型コロナウイルスへの対応に大変苦心しながらも取り組んでおります。一日も早くコロナウイルスが収束し、安心して暮らせるようになることを願っております。

私も50歳を超え、少しずつ先が見えてきたかと思うこともありますが、「人生は50から、そこから努力した人が伸びる」と言われ、97歳まで絵を描き続けた画家、中川一政さんの言葉に励まされて、今後も努力を続けていきたいと思っております。

最後に創立100周年に向かってご尽力されている大阪経済大学の益々の発展を心からお祈りいたします。

（三重県多気郡多気町）

経大白馬ヒュッテ、その先へ

長尾　崇礼（62回）

経大白馬ヒュッテは、昨年、創立60年を迎えました。経大山岳部OBが続けてきた修繕管理により、年の半分は雪に埋まる厳しい自然環境の中で木造の山小屋が創設時と変わらない姿で建っています。ヒュッテを多くの人に利用してもらいたい、栂池の自然を楽しんでもらいたいとの思いから、「山小屋カミングウィーク」を10年前から始めました。これは、８月のお盆休み中に山岳部OBが経大ヒュッテに在駐し、ヒュッテを気軽に利用してもらう企画です。現在ヒュッテは利便性が向上し、電気が通年利用でき、水洗トイレが設定されています。近年、コロナや地球温暖化によりヒュッテを取り巻く環境は大きく変わりました。今まで誰も予見できなかったことばかりです。これは発想を変えれば、近年まで思いつかなかったことや、全く新しいことが可能になるのでは?と第２の人生に向けて妄想を膨らましています。

経大白馬ヒュッテは、まだまだ先に進みます。

（香川県坂出市）

人生100年時代。定年後をどう過ごすか。

橋詰　雄三（74回・大学院修了）

2003年（55歳）、サラリーマン人生（第１幕）を職位定年で閉幕。人は動けるうちは働けると、20歳の頃に目指していた税理士になる事を人生第２幕の目標と定め、2006年（58歳）、本大学院経営学研究科を受験し幸運にも籍を置くことが出来ました。同世代の教授陣から熱心なご指導を受け、また、息子世代の若き院生から刺激を貰い、充実した院生生活を過ごせました。2008年（60歳）、本大学院経営学研究科修了。その秋、税理士資格を取得、開業しました。第２幕の開幕でした。嬉しかったです。有職者に戻れたことにも安堵しました。幸運にも大学発のベンチャー企業にも関与出来ました。2023年（75歳）、第２幕を継続中。これからも、健康に留意して税理士の使命を全うしたい。この仕事が我をいかす道かなとも思い、今も働けることに感謝の日々です。本大学院経営学研究科時代が我が人生第２幕の礎となりました。このご縁に大感謝です。大阪経済大学法人の益々のご発展と同窓生・学友の皆さんの益々のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げます。

（滋賀県大津市）

“リハビリが生活の中心”の日々。

鈴木　章彦（82回）

私は、４年前に澱江への寄稿をさせて頂きました。４年前との大きな違いの一つ目は、非常勤勤務が終了し、“ほぼ毎日が日曜日”の生活になったこと、二つ目は、昨年５月に脳梗塞を発症し、その後これの“リハビリが生活の中心”にあることです。

リハビリ関係他の通院が月数回あります。その他に自主トレーニングとして週数回、音読、軽運動及び1.5hr位の個人ウォーキングを実施しています。また週１回、地区ウォーキングクラブでの約3.0hrのウォーキングに参加しています。大樟会「箕面・豊能支部」「箕面の滝散策会」等に数回参加させて頂きましたが、この３年間は新型コロナウイルス関係で企画が中止となっており、再開の日を待ち遠しく思っております。

散策会でご一緒したご近所の中西勝機、淳子様お二人が大経大卒であることを知り、それ以降は以前に増しました近所付き合いをさせて頂いています。

その他若干の自己研鑽を行っています。現時点では、リハビリを兼ねた行動かなと思っています。数年前より実施の英会話受講［70数歳からの手習い］。日本内部監査協会有志による内部監査の研究会［フォーラム］への参加。旧友等が設立運営のNPOに参画し、システム監査の研究を実施しています。システム監査の研究成果を今秋出版予定で、現在ゲラ校正を実施しているところです。

といった、それなりに忙しい、ただし動きの鈍い日々を送っています。

数年後に再度の寄稿が依頼されることを楽しみにしています。

（大阪府豊能郡豊能町）

麻央が大阪経済大学に、大学入試に合格して、卒業の頃、就職試験に受かった。

増田　麻央（84回）

麻央が北条高校の高三の頃、一年間、菅野包装につとめていました。一年遅れての大学入試でしたが、合格しましたので、喜んで大阪経済にお父さんにたのんで行ったと思います。兄の成克くんは、大阪学院大学に行っていて、三年間の終わり頃中退して帰って来ました。本人は、ぼく三年目の中退が好きだったと言っていましたので、泣きません。と本人がそう言っていましたので、二人して、４年制大学の大学を味わって、楽しかった様な、幸せだった様な、そう思います。麻央が就職試験に受かった時うれしかったです。ほんとうに９年間お世話になりました。麻央と成克くんの子供の頃の写真を二枚送ります。二人兄弟ですので。私って、関西外大の短大に２年間行ったのです。その終わりに就職試験受けて、全日空（株）の就職試験に落ちたと私今も覚えていました。麻央が就職試験にうかった時、ほんとうにうれしかったです。ありがとうございました。

※お母様の芳子さんから、お手紙をいただきました。

（兵庫県加西市）

4つの大学を卒業して得たものは

石田　文雄（85回・大学院修了）

私は、大経大を含めて４つの大学を卒業しました。

兵庫県の高校を卒業後、家庭の事情もあり国立大学を第一志望にしていましたが受験に失敗、結局受験期間の最終日にあった和歌山大学経済短期大学に入学し、卒業しました。

その後、40代にもう一度大学にと、通信教育で慶應義塾大学を卒業、そこで出会った卒論指導教授が、日本中小企業学会会長であり、その後の私を研究者へと導いてくれた恩師でした。

次の和歌山大学大学院では梅産業研究の第一人者である恩師に指導を受け、修士論文を仕上げました。その修士論文を慶應義塾大学の恩師に送り、日本中小企業学会への加入の推薦を受け、研究者の端くれにさせて頂きました。その時私は55歳でした。

最後の４つ目の大学が、還暦から入学した本学でした。指導教授は、退官まじかだった遠州尋美教授、その後博士論文の完成を指導して頂いたのが、本学学長の山本俊一郎教授でした。2019年３月の卒業式での大学院総代としてのメッセージは感無量でした。

私の人生における４つの大学の卒業は、正に、人生を豊かにしてくれた恩師との出会いがあったからこそでした。

（和歌山県海南市）

大樟会ホームページをリニューアル！

本部、支部、OB・OG会などの情報の他、新たなコンテンツも充実。見やすく、使い勝手も改善しました。ぜひ、ご覧ください。

大阪経済大学大樟会　検索

「澱江」購読料のお願い

自らの購読料で「澱江」を育てよう!

皆さまのあたたかいご理解とご協力に感謝いたしております。引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。

富山支部

総会報告

富山県支部は、コロナ禍を乗り越えて、本年7月2日(土)15時より、富山市の高志会館にて総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることが出来ました。

本年度総会開催に先立ち、この2年間で物故された小泉敏夫元支部長・辰巳昭元幹事など諸先輩方への黙祷を行いました。

総会では、コロナ禍以後の会の運営を活性化するため、新役員体制の提案と承認がなされました。新支部長として、浦辺則一さん(47回)が承認されました。

今回は、初めての参加の方や久しぶりの参加の方もおられ、大変盛会になり喜んでおります。忘年会も企画しておりますので、それまでにこの未曽有の事態が収束することを祈っております。

これからも多数の会員の皆様にご出席をお願いし、活発な総会になるようお願いします。

事務取扱　野田　満(48回)

岐阜支部

令和4年度支部総会を開催

令和4年11月13日(日)名鉄岐阜駅に程近い岐阜キャッスルインホテルにて、令和4年度支部総会を開催いたしました。コロナ禍のため過去2年間中止を余儀なくされてきましたが、まん延状況も改善されてきたことから、感染対策を十二分に取りながら開催の運びとなりました。

当日は、大学より藤本二郎理事長、大樟会より大山寿久事務局長、愛知支部より五十棲保彦前支部長、鴨下順二副支部長にご来賓としてご臨席いただき開催いたしました。

支部総会は、来賓のあいさつに始まり、会計報告、写真撮影、近況報告など、豊田項吉副支部長の司会進行により、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。来季、サッカーJ3のFC岐阜に本学4年のFW上野輝人選手の加入が内定したという嬉しいニュースも飛び込み、今後の岐阜支部の活性化についても新たな希望が湧いてきました。

岐阜県内には、確認されているだけで181名の卒業生がいますが、県域が広く集まりあうのは容易ではありませんが、今後は地域を限定した小集会や総会以外のイベントなど、一人でも多くの卒業生が集い会えるよう工夫をしていきたいと思います。　支部長　山根一男(46回)

滋賀支部

4年ぶりの開催は盛会でした

コロナ禍で開催を心配していましたが、令和4年11月27日(日)クサツエストピアホテルにて、滋賀支部総会を実施致しました。本学より山本学長、大樟会本部より角脇会長・大河内常務理事・西村広報副部長、近隣支部より三津愛知支部長・山根岐阜支部長・田安福井支部長・田中京都支部相談役のご臨席を賜り、総勢41名で和やかな楽しい会となりました。

祝辞としてお言葉をいただきました山本学長の「テーマ～生き続ける学びが創発する場となるために～」は、大経大の理念やこれからの大学の方向性がわかりやすく明確でした。私たち同窓会は、今まで以上に大学を支援する決意を強く抱きました。

その後の懇親会では、コロナ対策に配慮しながら和気あいあいの中、名刺交換や情報交流で話の花を咲かせることができました。とりわけ、若い方の参加が多く見られ、活気ある総会・懇親会でありましたことを報告させていただきます。

支部長　殿城幸雄(41回)

京都支部

大学の将来展望と90周年の報告

令和4年12月4日(日曜日)12時より京阪ホテル京都グランデにて大樟会京都支部総会を開催致しました。

大学側より江島経営学部長、黒正部長、大樟会本部より角脇会長、角庵事務局長、足立常務理事、近隣支部より殿城滋賀支部長、川端福井副支部長、豊田岐阜副支部長、三津愛知支部長にご臨席賜りました。有り難うございました。

角脇会長より大学90周年のご報告並びに大樟会活動報告等のお話を頂きました。江島学部長からは大学の近況並びに将来的な展望を丁寧にご説明頂き、会員も聞き入っておりました。

黒正部長の乾杯を皮切りに二年ぶりの懇親の時間を過ごしました。メインイベントとしてお願いしたジョン道阪さんのマジックショーは大盛況で時間の経つのを忘れるほどでした。

コロナ禍の影響もあり総勢27名での総会でしたが久しぶりの再会で楽しい会となりました。来年以降もたくさんの皆様においで頂けるよう、考える力、つながる力をモットーに開催したいと思います。

支部長　柴田俊彦(50回)

静岡支部

3年ぶり&ニューフェイス

2022年12月17日(土)、静岡駅北口のホテルアソシア静岡に於いて、3年振りに静岡支部総会を開催致しました。役員会に於いて2022年4月開催、10月開催がコロナの影響で中止せざるを得ませんでした。しかし、大樟会のうしろ押しもあり、コロナ禍でありましたが、開催に踏み切りました。

今回は、原点に返り、静岡支部管轄の卒業生ほぼ全員に案内状を郵送しました。結果、鈴木さん(40回)、松宮さん(40回)、森脇さん(49回)の3名が初参加頂きました。例年固定メンバーの出席が多く、1桁(学校関係含む)の参加人数でしたが、今年は、久し振りに2桁を期待出来ましたが、直前に2名コロナの関係で欠席となり、残念ながら1桁にとどまりました。

大学より藤本理事長、大樟会から角脇会長をお迎えし、静岡支部から7名(40回～83回)計9名の参加で支部総会を開催しました。

第一部では、支部長挨拶、来賓の紹介と2021年度事業・決算報告及び2022年度計画案の審議を満場一致で可決しました。第二部では、懇親会に移り、乾杯後、全員の自己紹介・近況報告や情報交換を和気藹々の中行いました。藤本理事長からは、理事長就任や大学の現状報告・秘話をお話頂きました。続いて角脇会長より、大樟会の現状・問題点をお話頂きました。

2024年には、新しい学部として国際共創学部が開設されるという事で、100周年に向けての足掛かりとして、益々発展していくのではと大いに期待しております。

2023年度開催は6月の方向で調整しています。追ってご連絡致します。コンパクトな支部ですが、お気軽にご参加下さい。お待ちしております。事務局長　河本陽介(51回)

愛知支部

令和4年度総会開催のご報告

2022年10月30日(日)、名鉄グランドホテル桂の間にて、約3年ぶりの支部総会を開催させていただきました。ご来賓として、大学から横山財務部長、大樟会より石橋副会長、田島常務理事、滋賀・殿城支部長のご臨席いただき、総勢16名の参加となりました。

総会では横山財務部長よりご祝辞と共に本学90周年事業の詳細、新学部開設、入学定員増についてお話をいただき、石橋大樟会副会長からはコロナ禍における大樟会の在校生支援や地方支部の現状をご説明いただきました。

議事では令和2年度と3年度の会計収支報告を行い、第3号議案では支部長交代が承認され、私は五十棲前支部長よりバトンを引き継がせていただきました。まだまだ若輩者ではございますが、先輩の皆様が培ってくださった大樟会の輪を大切に守りながら、愛知支部の発展に寄与して参りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

支部長　三津辰雄(65回)

大阪市淀川支部

支部総会報告レポート

2022年7月31日、午前11時から新たなるメンバーも迎えて久々に開催。新事務局長に76回卒の杉山幹人氏を選任した。依然として新型コロナウィルスの影響があるため、オンライン会議を利用した支部総会参加も企画していたが、トラブル発生により当日断念した。残念ではあったが、次回より改善策を講じてオンラインからでも参加できる支部総会を実現したい。

支部総会終了後は大樟会ラウンジで懇親を行いつつ、今後の同窓会について議論した。新事務局長から、もっと卒業生に大樟会ラウンジの存在を知ってもらって同窓会組織の活性化につなげたいという声があがり、実際に9月に10数名規模の同窓生を集める企画を実行するとの話があった。このような動きを後押ししていくことで、より同窓会組織の認知度向上、参加数の増加をはかり、「つながる力。」を実現していきたい。

支部長　青木正道(36回)

大阪市住吉支部

2022年度総会を開催しました

2022年度支部総会・懇親会を10月2日(日)に開催しました。コロナ禍で開店休業状態が続き、3年ぶりの活動となりました。例年通り、本学E館7階の会議室・ラウンジを会場として、秋晴れの透き通る青空をのぞみながらの議事進行となりました。今年度は、大阪市住吉支部として独立後の4回目の総会となり、「みなさん、お久しぶりです。お帰りなさい」を念頭に、総勢18名の参加を得ての集まりとなりました。

総会には、大樟会本部より、角脇会長、檜垣財務部長、角庵事務局長のご臨席をいただきました。角脇会長には、祝辞とともに、大学の近況や学生のクラブ活動の成果についてもお話をいただき、準硬式野球、弓道部での学生の活躍の様子など学生の活躍を知り一同心強いものを感じました。

審議事項では、2021年度の決算および監査報告、2022年度の予算案・活動案について拍手をもって承認されました。議事終了後、参加者全員が自己紹介も兼ねて近況報告を行い、総会を終了し、懇親会へと移りました。

席をラウンジに移し、ちょっとプチ贅沢なお弁当とお茶でのマスク会食がスタートしました。マスクを外したり、着けたりと忙しい中での歓談となりましたが、本当に久しぶりの意見交換で皆さん満足そうな様子でした。

最後に、今年度の総会には30代の若い会員の参加もありコロナ禍の閉塞状況に明るさを感じられる会となりました。参加していただいた方々にお礼を申し上げます。

橋本　稔(42回)

泉南支部

3年ぶりに支部総会を実施

11月27日(日)泉佐野市のファースト・ホテルという小さなホテルで3年ぶりの支部総会を実施しました。

例年実施してきた関西国際空港のりんくうタウン内のホテルが、長引くコロナの影響で休業し、ほかの主なホテルも、廃業ないし休業し、会場探しに苦労しましたけれども、とにかくホテルにお願いし開催にこぎつけました。

当日は天気も良く、大学・大樟会本部より副学長、事務局長ら3人、隣接支部の堺支部、南大阪支部より3人にかけつけて頂きまして、合計22名で開催いたしました。

また、本学の同窓生ではないのですが、地元泉佐野市長の千代松市長も特別にご参加を頂き、「2025大阪・関西万博に向けての取り組み」というテーマで市の思いを熱く語って頂きました。宴会も中ごろ、会員それぞれに、自己紹介をしていただき、それぞれの方の人生の経緯や現況を、また大学に対する思い出や思いを熱く語る会員も多く、最後に全員で、学歌、逍遥歌を声高らかに合唱し、にぎやかにお開きとなりました。

3年の時の流れは大きく、体調不良で参加のかなわなかった会員、まだコロナの影響で参加できなかった会員も多くありましたが、また次回元気で一人でも多くの参加のもと、開催に取り組んでいきたいと、役員一同心に決めました。　支部長　塩谷善一郎(39回)

南大阪支部

2回目の支部総会

大樟会南大阪支部として産声をあげてからはや3年、この間コロナ禍の七つの波を乗り越えて、令和4年11月12日、22名の参加者を得て、ようやく2回目の支部総会の開催にこぎつけました。

総会は藤田支部長のあいさつに続き、ご多忙の中駆けつけていただいた大阪経済大学崎田常務理事様、大樟会本部の大山事務局次長様に現在の大学の状況やクラブ活動を通して学生の活躍ぶりをご報告いただきました。さらには大樟会常務理事で堺支部の岩下支部長様から支部再結成の経過報告と激励のお言葉をいただきました。

議事に移り、総会が開けなかった2年間の会計報告と監査報告、それに会員相互の親睦を図ることを目的とした事業計画などが提案され、満場一致で承認されました。

後半は懇親会が開かれ、短い時間でしたが参加者全員から卒業年月当時の学内の様子やご自身が歩んでこられたエピソードなどをご披露していただきました。

最後に学歌と逍遥歌を斉唱して再会を誓い、盛況のうちに終えることができました。　黒川利明(42回)

神戸支部

令和4年度、神戸支部総会

令和4年度神戸支部総会は、令和4年11月13日(日)11時より、神戸市役所南側旧居留地のレストラン『ボナトリーチェ』に於いて開催いたしました。

コロナ禍で3年ぶりに開催できましたが、今年の出席者は30名と過去最少の人数となってしまいました。総会前に、元毎日新聞論説委員でジャーナリストの、平野幸夫様に「最近の政経事情」と題して、ご講演をしていただき、その後、総会には、大学から山下一佳総務部長、大樟会から角脇忠行会長、宮武記章常務理事、そして近隣の阪神支部、伊丹支部、明石支部、淡路島支部、東播磨支部からもご臨席を賜り、来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、大樟会の活動状況などの報告と今後の大樟会の在り方、そして大樟会員の活躍情報等心温まるご挨拶をいただきました。

3年ぶりの神戸支部総会も前回同様「神戸で出逢おう」をサブタイトルに呼びかけまして、遠くは山口県からも旧友が駆けつけてくれ、学生時代の懐かしい話で盛り上がり、予定の2時間半も、あっと言う間に過ぎ、最後に逍遥歌を全員で斉唱し、閉会といたしました

来年も引き続き、総会サブタイトルに『神戸で出逢おう』を掲げ、「参加年齢層の幅の広さと充実、そして多くの女性会員の参加、並びに一人が最低一人を連れてくる」ことを目標に、実行委員会を立ち上げ、開催日時、会場、内容等、お知らせしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

支部長　正岡健二(36回)

但馬支部

総会開催報告

いつもお世話になっています。大樟会但馬支部事務局長の垣江です。6月11日(土)、豊岡市民会館にて令和4年度但馬支部総会を開催しましたのでご報告いたします。総会では、中川茂支部長の再任や新たな役員体制が決まり、新規支部会員の確保や支部事業への参加者拡大について話し合いました。また、大樟会本部から要請があれば、在学生への支援についてもできる限り協力することが確認されました。

中川支部長からは「事業を途切れさすと段々と尻すぼみになってしまうので、どんな形でも顔を合わせて事業を開催していきたい。」と総会出席者に協力が呼びかけられました。コロナ禍ということもあり参加人数は13名と少なかったのですが、総会の前後でお互いの近況などについて歓談しました。総会後に懇親会も開催したかったのですが、時節柄ここはグッと我慢して、参加者は豪華仕出し弁当をお土産に笑顔で解散しました。

大学当局様、また大樟会本部様からは総会開催にあたりお祝いをいただき、誠にありがとうございました。次回の開催では、沢山の出席者のもとご来賓としてお越しいただくことを期待しております。

事務局長　垣江重人(47回)

堺支部

堺支部設立総会報告

令和4年7月2日、大阪経済大学新生大樟会堺支部設立総会が大阪経済大学内にて開催され、新たな堺支部が設立されました。

設立総会では、與世田正雄副支部長より開会の辞が述べられ、角脇忠行大樟会会長、崎田洋一大経大常務理事、石橋隆夫大樟会副会長よりご挨拶を受け賜わりました。新役員の承認後、岩下義之支部長よりご挨拶があり、辻千太郎副支部長より活動方針についての報告が行われ、滞りなく開催することができました。

懇親会では、コロナ禍の中であることを考慮し、ノンアルコールビールでの乾杯の後、3年余りの空白を感じさせないほど思い出話に花が咲き、思い思いに楽しまれた様子が見受けられました。

最後に、26回卒の馬場啓充相談役に閉会の辞を述べていただき、同窓会総会及び懇親会は閉会となりました。

尚、卒業生が24名、大学・大樟会より6名、南大阪支部長も駆けつけていただき、合計34名の方々にご参加を頂き、再生の気概を感じさせられました。多くの方々のご参加に感謝しますとともに、又、楽しい同窓会を開催することができればと思っております。その折は、多数のご出席をお待ちしております。　事務局長　西脇泰弘(49回)

伊丹支部

3年ぶりに支部総会開催　支部長ら新役員を選任

3年ぶりとなる伊丹支部総会を、令和4年(2022)9月10日㈯11時から伊丹市立文化会館〈東リいたみホール〉で開催した。

新型コロナ禍で、過去2年間は開催中止を余儀なくされ、本年度も第7波の影響が懸念される中、感染拡大防止を最優先する観点から、会食・懇親会を伴わない会議のみの総会としたが、ご多忙の中、来賓として大樟会本部から角脇忠行会長並びに八尾英規常務理事にご来臨いただき、支部会員24名の出席による開催となった。

総会は竹中支部長の開会挨拶に続き、ご来賓の角脇会長からご祝辞を賜った後、議事に入り、まず令和2年度(2020)・令和3年度(2021)の事業報告、会計報告、会計監査報告をそれぞれ承認、続いて支部総会の中止に伴い延期されていた役員改選を行い、本庄和郎支部長(38回)はじめ、副支部長・会計監査・事務局長らの新役員を選任、その後、令和4年度(2022)の事業計画・予算を承認し、議事を終了した。

最後に、今回の支部総会で退任された竹中前支部長から、5期9年にわたる支部長在任中の思い出と感謝の言葉が述べられ、新たに選任された本庄支部長が、母校の発展と地域社会へ寄与・貢献するという支部の理念に基づき支部活動を展開し、大樟会本部や近隣支部と連携しながら会員相互の親睦をさらに深化させたい旨の抱負を述べて総会を閉じた。　支部長　本庄和郎(38回)

東播磨支部

令和4年支部総会開催のご報告

10月23日(日)、東播磨支部会員のみで令和4年東播磨支部総会・懇親会を3年ぶりに開催いたしましたので、ご報告いたします。

当初、13名の出席予定でしたが、当日体調不良で最高齢の方が欠席となり、12名での開催となりました。支部総会の議案書を同封させていただきます。第1号議案から第4号議案まで承認されました。

総会終了後、懇親会を開催し、参加12名会員の各自の近況報告など自己紹介を行い、少人数なりに和気あいあいの総会となりました。今年は、毎年恒例の剣舞をされる会員の方が欠席でしたが、代わりに37回卒の江口さんが謡曲を披露していただきました。最後に、学歌を2番まで斉唱し、無事終了しました。

総会のお祝い金の目録や大樟会のご案内やノート、祝電など送付していただきまして有り難うございました。

支部長　宮崎善人(43回)

淡路島支部

淡路市で第30回支部総会

9月17日(土)、淡路市中央公民館「しずのおだまき館」に於いて、第30回支部総会が23名の出席のもと開催されました。

新型コロナ感染防止対策のため、2年間支部総会が行えませんでしたが、今年は役員会で協議の結果、規模を縮小し総会行事のみで来賓を招かず、研修会・懇親会もなしで感染防止対策を十分とったうえで、開催することになりました。

赤松支部長挨拶のあと、出席者全員に自己紹介を兼ねて近況報告をして頂き、議案審議に入りました。

3年度分の事業報告、決算報告及び監査報告、任期満了に伴う役員改選が上程され、可決承認されました。

新役員を代表して、喜田憲康新支部長より就任の挨拶があり、続いて本年度事業計画案、予算案、規約の一部改正が審議され、全て可決承認され無事終了。

記念写真の撮影後、お弁当で簡単な昼食会をして閉会となりました。

来年は、コロナも収束し盛大に支部総会が開催されますことを祈念し、報告に代えさせて頂きます。　事務局長　榎本輝夫(47回)

岡山支部

令和４年度支部総会開催のご報告

令和４年10月22日(土)、岡山プラザホテルにて、３年ぶりに支部総会を開催させていただきましたので、ご報告させていただきます。

ご来賓として、大学から黒正教育・研究支援・社会連携部長、大樟会から角脇会長、渡辺常務理事、また、他支部から黒正評議員、藤井津山支部長、三津愛知支部副支部長(当時)のご臨席を賜り、総勢40名で開催されました。

第１部の総会では、支部長挨拶の後、黒正部長よりご祝辞とともに本年度の入試状況、90周年記念事業の概要のお話をいただき、角脇会長からは、本年の大樟会本部の活動内容等様々なお話を頂戴いたしました。

議事につきましては、第１号議案の令和２年度事業報告・決算報告、第２号議案の令和３～４年度事業計画・予算(案)がともに承認され、第３号議案として提出しておりました令和５年度支部総会・懇親会の開催日程が決定されました。

第２部の懇親会では、３年ぶりの開催と言うこともあり、各テーブルで話の輪が広がり、各々が溜めていた思いを語り合った楽しい時間を過ごすことが出来ました。

最後になりましたが、来年の岡山支部総会・懇親会は、７月１日(土)17時から岡山プラザホテルでの開催が決定いたしました。来年は、１部総会の後、黒正部長の講演「大阪経済大学の歩み(100周年に向けて)」を予定しておりますので、岡山支部のみならず、他支部からでも聴いてみたいと思われる方は、是非、当支部総会にご参加下さいますようお願い申し上げます。

支部長　岡本紳一郎(47回)

津山支部

2年ぶりの総会開催

令和４年11月19日(土)、岡山県津山市にある津山鶴山ホテルにおいて、２年ぶりの総会を開催することができました。２年ぶりの開催ということや、例年８月に行っていた総会を、急遽11月に開催したこともあり、例年より少ない参加者となってしまいました。しかし、母校より藤原事務局長、大樟会より角脇会長、松永常務理事、そして同県の岡山支部より岡本支部長・八杉副支部長のご臨席を賜り、総会のご挨拶で、藤原事務局長より、90周年を迎え、今後新しい学部が創設され、定員を大幅に増加させることなどについてご報告があり、少子化の中でも母校がますます発展してゆく喜びを共にすることができました。角脇会長より、コロナ過において学生の支援を行ったことが報告され、今後も支部としても現役学生の支援を続けた上でも支部の存続や総会参加者の拡大を、同県支部の岡山支部とも協力しながら、行っていかなくてはならないという思いを改めて共有した総会となりました。

事務局　西口元庸(63回)

部　会

社労士大樟会

経営学部教授・井形浩治先生による記念講演会、総会もリアル・オンライン併用開催

2022年７月９日(土)、社労士大樟会第15回定期総会をリアル・オンライン併用で開催いたしました。当日はオンラインで高知県・和歌山県・奈良県からもご参加を得て、大変充実した総会を開催することができました。

ご来賓として大樟会本部より角脇忠行会長・大山寿久事務局次長、税理士大樟会より堀田治副会長のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。総会に先立ち、社労士大樟会飯田政信会長より、本年度も遠方の会員も参加しやすいリアルとオンラインのハイブリッド開催も含めて新たな行事の在り方を求めていきたい、また、15周年の取り組みはコロナの影響もあり見送ったが、20周年に向けて記念事業を計画していきたい、との挨拶がありました。

総会では議長に飯田会長が就き、議事録署名人に堺敏一氏を指名し、審議を開始いたしました。そして、第１号議案：令和３年度事業報告並びに令和３年度収支決算及び監査報告承認に関する件、第２号議案:令和４年度事業計画(案)並びに令和４年度収支予算(案)承認に関する件、第３号議案:役員改選(新任理事:堺敏一氏)がそれぞれ審議され、満場一致で承認されました。総会は副会長湊義朋氏の締めくくりのあいさつで無事終了いたしました。

引き続き行われた記念講演では、経営学部教授・井形浩治先生よりコーポレート・ガバナンスと企業不祥事ーなぜ『企業・人』は不正を働くのか?ーと題してご講演いただきました。「日本における企業不祥事の事例」から始まり、「日本企業のパワハラの現状と課題」「ガバナンス無機能化に起因するハラスメント」とハラスメントをガバナンスの問題と捉え返され、「ガバナンスの原理・・・「制限・抑止」は途中手段であり、それによって得られる『自由闊達』の実現にある」と結ばれたことに大いに首肯致した次第です。質疑応答の後、理事坂口育生氏が謝意を述べられ記念講演会は締めくくられました。

そして、記念講演終了後の懇親会は行わず、次回こそは必ず懇親会を実施しようという強い思いを共有し、お開きを迎えました。最後になりましたが、今回のリアル・オンライン併用開催に当たって、大山事務局次長をはじめ事務局の皆様に、多大なご支援いただき、お陰様で無事に総会・記念講演会が実施できました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡ください。

事務局長　西平綾太(48回)

社労士大樟会事務局長　西平綾太
〒599-0212　大阪府阪南市自然田1915-37　西平労務事務所
TEL 072(472)2297　FAX 072(471)7226
mail:ayata@silver.ocn.ne.jp

大樟体育会

2021年度大樟体育会総会

第22回「大樟体育会総会」が６月18日(土)13：30より本学Ｅ館７階の第１・２会議室で体育会34クラブのうち18クラブが出席して行われた。来賓者として、大学より崎田常務理事、山本学長、斉藤学生部部長、大樟会からは、角脇会長、角庵事務局長、体育会本部からも丸山本部長をはじめ４名が出席してくださいました。まず最初に大樟体育会山本会長より体育会主導で10年かかっても上新庄の町を我々と体育会部員できれいな町づくりをしようと提案があり、来賓者様からもご挨拶の言葉をいただき、大樟体育会山本会長議長のもと2021年度の活動報告及び決算報告、2022年度の活動計画及び収支予算(案)、各クラブからの現状報告もあり総会は滞りなく進行いたしました。

2021年度の成績優秀クラブ表彰には、柔道部、準硬式野球部、陸上競技部の３クラブが選出され山本会長より表彰されました。また、サプライズとして山本学長の長年の日本拳法部の躍進に部長としての功労にたいして、日本拳法名誉参段の称号を授与されました。

最後に総会参加者全員で記念撮影をし、学歌を清聴し、河内会長補佐より閉会の辞、秋の親睦ゴルフ会の説明のあと万歳三唱のもと盛り上がりを見せ閉会した。なお、総会終了後の親睦会は昨年同様コロナ禍のため中止でした。

大樟体育会副会長　田島裕司(46回)

大樟教育研究会

第20回大樟教育研究会の開催について

11月12日(土)本学にて、第20回大樟教育研究会を３年ぶりに開催しました。はじめに学長山本俊一郎先生より「大学の現状と創立100周年に向けての展望」と題してご講演をいただきました。

全体会では大樟会角脇忠行会長にご挨拶をいただいた後、今年度の教員採用試験に現役合格の４名(中学校２名　高校２名)の紹介を行いました。分科会では、小学校、中学校、高校に分かれて、現役学生からの相談への対応や卒業生間の情報交換の場としました。各分科会の報告は、全分科会とも現役学生が行いました。

教職員、学生、大樟会本部、卒業生合わせて60名の参加者でした。

大樟教育研究会会長　西村幸雄(43回)

大樟春秋会

定時総会開催報告

コロナ禍も漸く落ち着いて参りましたがまだまだ不透明で感染症対策を取る中で、５月21日(土)、大阪梅田茶屋町にあります「ホテル阪急インターナショナル」に於きまして藤本理事長、山本学長、角脇大樟会会長をはじめ大学関係者の皆様を迎え、総勢30名の参加で2022年「大樟春秋会定時総会」が開催されました。冒頭、森田(大和リース会長)春秋会会長のご挨拶、北(大和リース社長)運営部会長によります2021年事業報告並びに2022年度事業計画の報告、承認。安原(近畿産業リース相談役)組織部会長、田岡(阪急阪神ホテルズ執行役員)広報部会長によります各部会の詳細報告。事務局による2021年度会計報告、2022年度予算計画の報告の後、福岡(大阪シティ信用金庫副理事長)監事によります会計監査報告を終え、第一部総会を終えることが出来ました。全員による記念撮影の後、第二部、特別講演を本学社会連携部、黒正部長によります「創立100周年に向けて大阪経済大学の歴史と未来」と題しての熱いご講演を終え、第三部懇親会となりました。ご来賓の方々のご挨拶の後、学生クラブ「落語研究会」による漫才４題を楽しく拝聴し学生へのエールを送ることが出来ました。2022年に入り春秋会には５名の新会員が入会されました。引き続き北運営部会長から今年度の重点事業であります会員100名を目指すための宣言を終え、太田(HUB社長)副会長の閉会の挨拶で本年度の春秋会総会を終えました事、御報告申し上げます。御出席の会員の皆様⬈

税理士大樟会

第31回定期総会

税理士大樟会第31回定期総会が令和４年７月15日(金)午後５時10分よりハートンホテル心斎橋において開催されました。

広報部・副会長　福田重実(49回)

⬈方にはご多忙の中御出席有難うございました。残念ながら御出席出来なかった皆様方には次回の交流会にはご参加戴けます様お願い申し上げます。(当日の録画を会員の方のみYouTubeにて配信を予定致しております。)

追伸　本年度は大学創立90周年記念の年です。「90周年記念講演会」、「春秋会2022年度寄付講座」を春秋会基金の支援により開催いたします。皆様方のご参加、ご支援(春秋会基金への寄付)をお願い申し上げます。又、引き続き春秋会会員増強に努めます。皆様方からのご紹介を宜しくお願い申し上げます。

母校大経大の躍進のため、大樟春秋会が「つながる力。」の代表として同窓生10万人の道標になっていただくよう事務局一同協力させていただきたく考えております。今後共宜しくお願い致します。

春秋会事務局長　竹中　亨(32回)
顧　　問　大河内徹心(39回)

総会報告
経翔会

前回令和元年度総会以来、実に3年ぶりとなる令和4年度経翔会（大阪経済大学独立総部ワンダーフォーゲル部OB会）総会を6月19日（日）午前11時より大阪経済大学E館7階会議室にて開催いたしました。

当日は、角脇忠行大樟会会長にご参加頂き、ワンダーフォーゲル部顧問伊藤大一先生、現役部員も出席し、全国から参集したOB会員を加え総勢48名が一堂に会し、齢の差を超えた先輩・後輩の仲間が、来年令和5年創部65周年、OB会創立60周年について活発に意見交換がなされました。

総会終了後、昼食会を会場一帯それぞれ散らばり、会食しながらOB会員安井制帽から提供された素敵なファッションハットを、じゃんけん大会によって奪い合いました。

総会に合わせやりくりして参加したメンバーは、待ちわびた顔にお互いの近況報告を時間のすぎるのも忘れ、熱く語り合い楽しいひと時を過ごし解散しました。

片岡康平（37回）

第13回OB会
邦楽部OB会

令和4年6月18日（土）午後4時より邦楽部第13回OB会（総会）が3年ぶりにJ館第1会議室にて開催されました。出席人数は11名と小人数ではありましたが、4年間邦楽部で青春時代を過ごしたことの共通認識での連帯感で3年ぶりとは思えないほどで大変楽しい1日でした。

総会冒頭恒例の尺八演奏は4名で尺八二重奏曲「宴の便り」を演奏しました。そして懇親会は場所を変えて上新庄駅近くの居酒屋にて酒を酌み交わしました。現役邦楽部は昨年4月、57年間で幕を閉じ休部しましたが我々邦楽部OB会は毎年開催することを確認し閉会としました。

会長　尾上眞己（36回）

令和4年度OB総会開催
空手道部

令和4年6月25日（土）、50周年記念ホールE館7階会議室において、午後1時00分より、OB総会を開催いたしました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症が発出し、緊急事態宣言が政府より発令され各種の大学選手権大会はPCR検査の陰性確認が必要であり無観客開催となりました。

大学も授業はオンライン授業となり、体育館も使用禁止、クラブ活動も出来ず、4月の新入部員勧誘もままならない中現役は新入部員を確保していました。

昨年は緊急事態宣言の最中にも2年間の延期を経て3密を避け、ラインと携帯電話で開催しましたが今年は役員に絞り出来るだけ小人数にて実施する事にしました。

坂本勝宣会長は岡山県の自宅から出席、参議院選挙期間等が重なり、宇陀武司監督含めOB7名現役4名と忙しい中にもかかわらず大樟会角庵勝巳事務局長が出席下さり、間隔を充分に取り状況を判断し現役も参加して貰いOBになって出席出来る開かれたOB総会にしたく思い、森末星主将幹部2名、3回生女子部員1名、1回生1名で開催しました。会長の挨拶に始まり、議案の議事を遂行。会計報告、活動報告等了承、役員改選に関してはOB会創設以来50年間にわたり幹事長、事務局長を務めた14期生與世田正雄が退任し、28期生髙橋保先輩、42期生宗正徳先輩等を承認し、令和5年度から新体制でOB会を推進してまいります。全国の空手道部OB諸先輩には機関誌、澱江をお借りして報告いたします。

空手道部の状況を現役に確認、現状の部員構成は4回生男子3名と3回生女子2名、2回生男子2名、1回生男子1名が所属8名、令和4年度の新入部員勧誘及び練習態勢等を確認し、今後も宇陀武司監督と現役とが密接に意思疎通をはかり有意義な学生生活を送れることを了承し閉会しました。

閉会後近くのレストランで現役とOBが久し振りに関西学生空手道界で常勝で名を馳せた時代の話で楽しいひと時を過ごし解散しました。

目標は新入部員を確保し、団体戦に出場できる態勢づくりと考えます。今後は監督との意思疎通を図り日頃の練習を納得の行くまでやり、学生が自主的に頑張ってくれることを期待したいです。　押忍

幹事長　與世田正雄（34回）

令和4年度OB総会終了のご報告
グリークラブOB会

令和4年度大阪経済大学グリークラブOB総会が6月19日（日）母校J館3階第1会議室で行われました。

この2年間、文章承認で済ませていましたが、本年は大学、大樟会のご協力で対面とリモートで行うことができました。しかし、総会後の懇親会は、コロナ禍ということで計画しませんでした。

対面参加者は少なかったのですがリモートではのべ11人のOBが参加してくれました。また、現役役員達も来てくれて現状のクラブ活動についてOB役員との懇談を行いました。

来年度コロナ禍も収まれば、以前のような楽しいグリークラブらしい懇親会を計画し、多くのOBを集めたいと思います。

文末になりましたが大学総務部部長山下様、大樟会事務局次長大山様、ご助力ありがとうございました。また、大樟会よりのご祝儀、重ねてお礼申し上げます。

会長　八尾英規（43回）

ただの忘年会になったけれど
梅原ゼミOBOG会

12月28日の夜、2021年3月卒業のゼミ生と大阪・曾根崎のホテル街で忘年会を開催しました。卒業式の朝に緊急入院して式に参加できなかった中川優梨奈さんの「ゼミ卒業式」の予定だったのですが、主役の中川さんが急な発熱のために来れなくなったのが残念でした。それでも年末の慌ただしい中を大阪・神戸・奈良・和歌山、さらには高知からも駆けつけてくれ、仕事や恋愛話などで楽しい夜を過ごしました。幹事の難波さん、石川さん、井上さん、準備をしてくれてありがとう！中川君、田中君、山田君、松下君、藤原君、忙しい中を来てくれてありがとう！　来れなかったゼミ生からも連絡がありました。仲間思いの素晴らしいゼミです。また集まりましょう！

梅原英治（名誉教授）

第一回パネルトラックOB・OG会の開催のご報告
パネルトラックOB・OG会

2022年9月24日（日）に、パネルトラック（テニスサークル）のOB・OG会を開催しました。大樟会の支部活動をやる中で「若い人に参加してもらいたい」という声がよく出るわけですが、その解決策を提示し実行する存在は手前味噌ながら稀有なのではないかと思いますので、是非各支部等にもひとつの事例として参考にしていただきたく思います。

まず、比較的「若い世代の卒業生」に対してE館7階の同窓会フロアの存在を認知させていくことが重要だと従前から考えておりましたので、私が在学中に所属していたテニスサークルのOB・OG会を開催いたしました。この会に参加した卒業生達が今後、またそれぞれのコミュニティの同窓会で同窓会フロアを使っていき、そして更にその輪が広がっていくことを期待しています。

その第一歩として開催したところ、12名の卒業生と12名の子供達が集まりました。比較的若い世代の同窓会を開催する際は子供連れであるケースが増えることが想定されますので、そういった点でも同窓会フロアの活用は非常に良く、認知の広がりに比例して利用が促進されていくことを確信しました。同窓会全体の広がりを目指し、同窓会フロアの認知活動に力を入れることは非常に合理的な手段だと思います。今回は同世代のOB・OG会を開催しましたが、次回以降は世代も広げて実施できれば更なる広がりが見込めると思いますので、そういったことも検討していきます。

OB・OG会では、まず同窓会フロアの説明に始まり、それぞれの卒業後の歩みについてプレゼンテーションを行い、食事の後は校内見学会を実施いたしました。12年前に通っていた姿から変貌している現在の母校に、それぞれが思いを馳せる良い時間となりました。　淀川支部・事務局長　杉山幹人（76回）

同期会は楽しい
37期会

令和4年11月3日（祝）大学創立90周年式典、大樟会総会・イベント等終了後に37期会が上新庄駅前の珉珉で感染対策を行ったうえで開催されました。

37期は昭和46年本学卒、卒業から51年のメンバーの集まりで、来年度に大半が後期高齢者の仲間入りをする74歳です。平成30年10月に同期会を立ち上げてから早いもので4年、コロナ禍で中断されたままでしたが、幹事代表の山本氏の今年は開催したいとの願いが叶い遠くは鹿児島、山口より16名が集いました。

当日は乾杯の後、お互いが楽しみにしていた歓談に入りました。近況、退職前の仕事のこと、健康のこと、学生時代の思い出、上新庄界隈のこと等話は尽きませんでした。初参加、お互いが初対面同士の方もおられましたが、卒業から半世紀以上経過していても会場は直ぐにうち解けた雰囲気になりました。同期会は本当に楽しい。そして、あっという間に時間が経過し、次回の再開を約束して会を閉じました。

37期の方ぜひこの会に入会し、楽しい時間を過ごしませんか。

幹事　赤松慶久（37回）

特別寄稿　科学研究会（SRC）と私

去る令和四年十一月十九日に久保田諄の卆寿の祝が、かっての大阪経済大学のサークル・科学研究会(SRC)に加入していた卒業生たちにより、盛大に行われました。この会に黒正明さんまでわざわざ御出席いただき、まことに恐縮致しました。年老いた教師としてこれに過ぎる喜びはありません。まことに嬉しい限りで、この果報を一生忘れることはないでしょう。

科学研究会が発足したのはNECがワンボードコンピューターの部品キットを売り出した昭和四十五年頃だったと思います。四則演算だけができる卓上計算機が一台数十万円もした頃です。部品キットは一セットが十万円で、皆が始めてパソコンを入手できるチャンスだったので、研究室では早速一セットを購入し、好奇心に満ちた学生諸君が集まって、ハンダゴテを手にしながら組み立てが始まりました。机の上に大きいジュラルミンの板を敷き、それをアース線でつなぎ、その上で組み立てるのです。シャツなどを着ていると、静電気が発生するので、夏の暑い頃だったため、皆がパンツ一枚で取り組みました。静電気が発生するとコンデンサーがパンクするからです。一夏かかってやっと組み上げました。

なんとか組み立てて、経大の中で始めてパソコン(PC)が動き始めたのですが、勿論、機械語つまりアナログでしか動かないので、その習得も大変でした。そのうち「ベーシック」と云う言語が登場して、その「ベーシックボード」をPCに装着しました。さらに「メモリー増設ボード」も取り付けて、割と長い計算もできるようになりました。生協から売れ残りの白黒テレビを一万円で仕入れてデイスプレイにしました。これで合計三十万円ほどのPCが仕上がったのです。学生諸君は科学研究会を作って(初代の会長は佐々木克彦君)、皆が奪い合いで練習に励んだのも懐かしく思い出されます。今もこの最初のPCを我が家にアーカイブスとして保管しています。

同じサークルSRCの中で天文のメンバーが増えたのは、経大の教養で「宇宙科学」の講義を始めた頃です。その頃、兵庫県からの依頼で「県立西はりま天文台(現・兵庫県立大学西はりま天文台)」の建設顧問を引き受けました。この天文台は一般大衆向けに作られ、アマチュア天文学者の育成を目指していました。さらに大阪から車で約一時間の所にあったので、SRCは度々観測に出かけました。メンバーの中には生まれて初めて「天の川」を見たと云う人がいて驚きました。宿泊に便利なので、サークルの合宿に絶好の場所となり、大部屋に皆が集まって心行くまで話し合ったことも忘れられません。学生ばかりでなく、経大の職員のご家族も時々同行されました。

このような体験があったので、SRCの仲間は体育系のクラブと同様に、皆の結束が固くなったと思っています。小生の退職後も、コロナ騒ぎの前は、毎年の正月には、拙宅あるいは京都の市内で、何人かが集まって一献を酌み交わしていました。

二年前の八十七歳のとき、山口・茶本両君が来宅され、「先生の米寿のお祝いをしようと思いますが」と云われて驚きました。経大を退職してから十五年にもなり、退職の頃、家内が脳幹出血で身体障害者になり、その介護も何かと忙しく、月日の経つのも忘れていた感じでした。そうか小生もそんな年になったのか、皆が私を忘れないでいてくれたのかと嬉しくなって直ちにオーケーしました。しかし、コロナ騒ぎはますます大きくなり、集会はなるたけ避けるようにとの社会的な風潮も高まっていたので、尽力して頂く山口・茶本両君には「ワシはまだ無病息災で、もう数年は生き延びる心算やから」と、仕切り直しをお願いして、今回の卒寿の会となった次第です。

多くの元気な諸君に会えて、こんなに嬉しいことはありません。そして、サークルの仲間、この人脈を末永く続けてください。これから皆は次々と老人の世界に入って行くのですが、老人にとって何よりも大切なのは気のおけない友人、人脈です。サークルの仲間はいつでも会って楽しく話し合える。これが老人に大きい生きる力を与えます。

久保田　諄（名誉教授）

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

（敬称略・順不同）

TEAM TAKこと 岩佐ゼミの卒業生の皆さん。

岩佐　托朗

元気にお過ごしでしょうか。今年度のゼミ募集では、15名の定員に約3倍の在学生から応募があり、応募者数が学部で最多となりました。選考過程は非常に厳しく難しいものとなりましたが、大変有難いことだと思っています。これも、歴代のゼミ生、並びに現役ゼミ生が献身的に明るく・力強いゼミ活動を行ってきたお陰であると心より感謝しています。

それぞれに忙しい日々を過ごしていることと思いますが、もし近況などを下記メールアドレスに連絡頂ければ大変嬉しく思います。ゼミ生のみなさんは、社会で懸命に尽力し活躍していることと思います。今後のさらなる発展を願っています。iwasa@osaka-ue.ac.jp

（情報社会学部教授）

無　題

伊藤　大一

伊藤ゼミの卒業生の皆さん、こんにちは。伊藤は元気にやっています。コロナで、大学の様子は様変わりしました。学生と一緒に飲みに行けません。スキーにもいけません。しばしば、Webで授業しています。

もう3年目に入って、おれのゼミに来た学生諸君もこんな中で卒業しています。学生教育も十分できない中で、学生諸君には申し訳ない思いでいっぱいですが、コロナでどうしようもありません。一日も早く、コロナが収束してくれることを祈るばかりです。コロナが収束したら、いつでも大学に遊びにおいで。待っているよ。娘も大きくなっているよ。じゃね。

（経済学部准教授）

無　題

鵜飼　奈津子

2021年度も、まだまだコロナ禍の続く中、オンラインでスタートしたゼミも、後半は対面で。画面越しのマスクのない顔と、対面した時のマスク付きの顔…　みんな、それぞれに印象が違っていたり、そう変わらなかったり…　卒論や進路のことなど、コロナ禍以前よりも大変な状況の中ではありましたが、何とか、皆、揃って、無事に卒業式を迎えることができました。相変わらず、卒業生の皆さんと現役ゼミ生が皆で集まることが叶わない状況ですが、それぞれに幸せだと感じられる毎日を送ってください。応援しています。

（人間科学部教授）

民主主義と資本主義の関係に取り組む

隅田　聡一郎

2022年4月に着任し、秋学期から12名の学生とゼミを開講する予定です。テーマは「民主主義と資本主義」という壮大なものですが、具体的には、格差社会、ジェンダー、エコロジー、ポピュリズムといった現代の社会問題などに取り組みます。わたし自身は、「経済理論基礎」や「社会経済学」といった科目でドイツの経済学者で社会思想家であるカール・マルクスの資本主義分析を教えています。

着任前は2年間ほどドイツのオルデンブルクやベルリンで研究しておりました。コロナ禍やウクライナ戦争真っ只中の時期にヨーロッパに滞在した経験を活かし、世界的な視野で批判的に思考するゼミ生を輩出していきたいと思っています。

（経済学部講師）

無　題

坂野　剛崇

ゼミでは「質的研究」を体験的に学ぶということをしています。学生は「アパレル業界で働くことになったいきさつは?」、「筋トレを続けているのは?」など、各自が設定したテーマに関してインタビュー調査を行い、大学生に限らずいろんな人に話を聴いて回りました。普段は訊きたいけど訊けない話を「授業の課題」を理由にしてたくさん聴くことができ、人の話を聴くことの楽しさを体験的に学びました。また、インタビューデータの分析では、相手の言わんとするところを端的に表現するという共感的理解と明確化の難しさも体験したようでした。これらを通して研究とコミュニケーションの楽しさと難しさとスキルを学んでほしいと思っています。

（人間科学部教授）

無　題

九鬼　靖太

私のゼミでは、スポーツのパフォーマンスを数値で評価し、それをトレーニングに活かすことを目的に行っています。今年度の卒業研究では、かけっこ教室を運営して、その中でデータを取るという取り組みも行っています。人間科学部の学生は、スポーツ経験が豊富なので、自身が取り組んできたスポーツに関連する内容を深掘りできるようにサポートしています。また、教員を志望する学生も多いため、学校現場で教員として活躍できるように、基礎的なPCスキルと、運動者を客観的に評価して、必要なサポートができるように、互いをコーチングする機会なども設けています。

（人間科学部准教授）

無　題

半田　裕

私はゼミ活動が大好きである。理由は簡単で、15名前後の学生が私のスポーツマーケティングの研究に興味を持ち、更に深く学びたいと集ってくれるからである。私はその学生たちと私の仲間から頂く実業の課題を解決するゼミ活動をしている。

ちなみに、私の研究課題はスポーツ資産を活用した企業のブランド価値の向上と事業数値の向上である。今年は「北海道ボールパークFビレッジを活用した道内の経済対策」と「ヴィッセル神戸の大学生ファン獲得対策」である。

実際の社会に出ると世の中は課題に満ちている。そのような課題に果敢に臨む精神と知見を彼らはゼミ活動を通じて間違いなく高めていると信じている。

（人間科学部学部長・教授）

無　題

團　康晃

昨年は『楽しみの技法』（ナカニシヤ出版）という教科書を上梓することができた。コロナ禍で激変した私たちの学びや遊びをきちんと記述し分析するための視座を書籍にまとめて共有することができ嬉しく思う。今年の春は久しぶりの緊急事態宣言のないGWということもあり、今がチャンスとゼミ生と元町でフィールドワークを行った。とはいえ、夏が近づいてくると学生間でも感染者数が急増していき、授業が終わったタイミングで私自身が陽性者となり、長い隔離期間を経験することとなった。秋学期にもゼミ生と学外でのイベントに参加する予定だが、難しい状況判断を求められ続けることになるなと腹をくくっている。

（人間科学部講師）

坪田ゼミの皆さんへ

坪田　祐季

本学に着任して4年目、この春で2期生を送り出すことができました。卒業したゼミ生の皆さん、お変わりありませんか。

大学は対面授業も再開されていて、ゼミ活動でも様々な体験や企画ができるようになってきました。今年度は地域に出て、ゼミ生と共に活動の幅を広げていきたいと思っているところです。

少しずつ以前の生活に戻りつつあるものの、コロナ禍は続いており、皆さんの仕事や私生活にも影響していると思います。まずは心身の健康が一番です。健康に気をつけながら、社会で多様な経験を積み重ねていってください。ぜひ皆さんの近況を知らせてくれると嬉しいです。何かの折に、皆さんに会えることを楽しみにしています。

（人間科学部講師）

出会い!　ゼミ 1期生

岡村　香織

私は心理士として医療現場で患者支援に長く携わった後、2022年4月から人間科学部に着任しました。メンタルヘルスを個人の問題だけに帰属させず、社会とのつながりから考える、これが私の研究テーマです。何に関心をもち探求するか、研究テーマの選択は「自分の心」に起源があるものです。研究を通して自己理解を深め、学生が成長することがゼミの最終目標です。対人支援の基本は人と人、大学やゼミが数多あるなか、偶然にも時間をともにすることになった仲間との学びはきっと貴重な経験になるでしょう。何より私自身、ゼミ生に出会えたことを嬉しく思っているのですから。

（人間科学部講師）

無　題

村本　顕理

本学に赴任し今年度で3年目です。村本ゼミ1期生は4年生、2期生は3年生となりました。私のゼミの方針は、理論的または統計的な考え方に基づき社会を分析する力を習得することです。1期生は因果推論の本・確率モデルに基づくマーケティングの本を学習後、各自の興味に基づき卒業研究を進めています。2期生は因果推論の本を学習後、Excelを使ってデータ分析を学び、現在Zemi-1グランプリの発表準備中です。コロナ禍で始まったゼミ指導は当初不安がつきものでした。しかし、真面目に取り組んでくれるゼミ生に助けられ、現在は楽しんでゼミを行っています。この秋に3期生を迎えることを待ち遠しく思っています。

（経営学部講師）

草薙ゼミ卒業生の皆さん、いかがお過ごしですか?

草薙　信照

私が大阪経済大学に着任したのは1997年4月、これまでの25年間で一緒に学んだゼミ生は現役も含めると500名を超えました。そのうち200人くらいの方とは年賀状のやり取りが続いており、近況を知らせてもらっていますが、皆がどんどん大人になっていく様子が伝わってきて嬉しいものです。

私はというと、今年度4月から（2度目となる）副学長を務めており、おそらくこれまでで最も多忙な日々を“楽しんで”います。3年間の任期のうちに、入口に当たる高校／学内の学生と教職員／出口に当たる企業、それぞれの声を聴きながら、100周年へとつながる「何か」を残したいと考えています。皆さんもぜひ、母校へ遊びに来て卒業生としての声を聴かせてください。

（副学長・情報社会学部教授）

無　題

伊藤　博之

今年は、他大学から本学に移籍して3年目を迎えます。ということは、今年、初めてのゼミの卒業生が誕生することを意味します。卒業生の進路は様々ですが、これからのそれぞれが人生に幸多かれと願わずにおれません。そして、今後は、ゼミOB会のつながりも築いていく所存です。卒業生には、折に触れて、大学や研究室を気軽に訪問し、後輩となるゼミの学生さんとも接点を持って頂きたいと思います。もちろん、ゼミの学生さんは卒業生から多くのものを学ぶことができますが、卒業生の方々も学生諸子と接することで得られる気づきや刺激も少なくないはずです。

（経営学部教授）

無　題

中村　信隆

2022年4月に着任しました中村信隆です。専門は倫理学で、ゼミのテーマは「ビジネス倫理学」です。最近はSNSの発達もあり、大阪王将のナメクジ騒動や吉野家役員の「生娘シャブ漬け戦略」発言などのように、倫理的に不適切な言動が明るみになりやすくなりました。不適切な言動の結果仕事を失う人を見ると何とも悲しくなります（もちろん自業自得なのですが）。そのようなことにならないよう、学生にはビジネス倫理を、単なる表面的な知識としてではなく生き方の核になるようなものとして深い次元で学んでいってほしいと思っております。「人をリスペクトすること」を体現するようなゼミを目指します。

（経営学部講師）

カリキュラム一新

米川　雅士

2023年度から情報社会学部のカリキュラムが一新されます。授業は10年先でも使える知識、授業名から何を学べるのかという事がイメージできるように変更しています。学生からの希望が多かったメディア系の授業も勿論配置しています。米川ゼミでは多くの卒業生が情報系の企業に就職していますが、今後は今まで以上に多くの学生が希望すると予測されます。コロナ禍でも経済を止めない状況が第7波から実施されていますが、そろそろ米川ゼミでもコロナ対策を行ったうえでOB・OGと現役学生との交流を再開したいなと考えています。色々連絡すると思いますがご協力をお願いします。

（情報社会学部准教授）

無　題

福本　智之

中国の金融経済を研究対象にしています。6月に日本経済新聞出版から「中国減速の深層　共同富裕時代のリスクとチャンス」を上梓しました。人口減少、米中対立、脱炭素の向かい風の中、中国経済はどうなっていくのか。中国経済の中長期展望について3つのシナリオの提示を試みました。7月発刊の大経大論集には、理解のしづらい中国の金融政策の枠組みに関する論考を掲載しました。

ゼミでは、8月末、北九州を訪問し、産業用ロボットの安川電機、住設機器のTOTO、電子部品メーカーの三井ハイテックを訪問しました。ゼミ生は日本の製造業の底力を実感するとともに、今後の日本の製造業が直面する課題について感じるところがあったようです。

（経済学部教授）

無　題

大下　顕弘

はじめまして、経済学部教員の大下顕弘と申します。専門は数学なのですが、如何せん本学では数学をテーマにした演習は非現実的ですので、コンピュータを扱っております。主眼はプログラミングですが、マイクロソフト社環境の外を知らないと話になりませんので、結構根本的なところから始めています。従来は四回生はC言語によるアプリケーション制作を以って卒業論文としていましたが、やはり近時はグラフィック・ユーザー・インターフェイス（GUI）主流の世界ですのでオブジェクト指向型を含むPythonに突然切り変わりました。学生からの要望です。嘗ても二回ほどこのように学生が「反乱」を起こし、面白いもんだと眺めております。（経済学部教授）

コロナ禍でも頑張ったゼミ生たち

小川　貴之

皆様、いかがお過ごしでしょうか。2021年度は学生奨学論文において、岸真杏沙さんが「高等教育無償化と所得格差の関係」で佳作を、玉田和久さんが「個人経営事業所数の変動要因」で努力賞を受賞されました（http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/thesis/）。

コロナ禍のために、この学年は3年生春学期からオンライン授業が増え、ゼミもほとんどをオンラインで行いました。このような厳しい環境でも、全員が素晴らしい卒業論文を提出して下さったことを誇らしく思います。惜しむらくは、合宿や飲み会を行うことができなかったことです。状況が良くなりましたら、挽回すべく、飲みに行きましょう!その日を楽しみにしています！（経済学部学部長・教授）

英国滞在中です

古賀　恵里子

2022年4月から在外研究で英国に滞在しています。元々は2020年9月からの予定でしたがCOVID-19の影響で延期。ようやく渡英できました。先が見えない中での待ちの期間は楽ではありませんでしたが、ヒースロー空港に到着した時は感慨もひとしおでした。現在は、心理的に重篤な問題を抱えた人への援助法である「治療共同体」を実践している組織を訪問したり、スタッフ養成の研修等に参加して学んでいます。治療共同体は人と人との関係性や全体の治療環境を重視するアプローチです。一人一人が大切にされ、かつ現実の困難を避けずに向き合っていくことができる環境について体験を通して学んでいるところです。

（人間科学部准教授）

無　題

坂本　ひとみ

皆さま、こんにちは。2022年4月に経済学部に着任しました坂本ひとみと申します。大学のキャンパス内もコロナの影響から日常を取り戻し、対面授業や部活と、活気が戻りつつあります。コロナにより「歴史が加速した」ともいわれるこの数年、オンラインの授業なども速いスピードで導入され、グローバルからローカルまで世界はますます近くなりました。これからも大きな広がりを見せるアジアや世界のコミュニティともすぐにつながることができ、多様な価値観に触れる機会もさらに増えることでしょう。大学においては、今後も自分ができうる貢献に力を尽くし、学生の皆さんの成長に寄り添い皆さんの「創造」と「進化」を応援し続けたいと思います。（経済学部准教授）

1期生の卒業を控えて

越智　幹仁

卒業生の皆さん、色々と難しい世の中ですが、きっとお元気でご活躍のことと思います。私のゼミは3期目を迎え、少人数ながら多様性が出てきました。そして、もうすぐ1期生が卒業します。早期に内定をいただいたようで、これは日ごろ卒業生の皆さんのご尽力により本学の評価を高めてくださっている賜物だと、感謝申し上げます。

私の専門は国際取引法ですが、大学生にとっては少し縁遠く感じているようです。しかしこのご時世、企業活動の色々な面で国際取引法は関連していると思います。お仕事で国際取引法の知識が役に立ったというメッセージがあればぜひ私にお寄せください。本学の先輩方の声は、後輩の彼らにもきっと響くと思います。（経営学部専任講師）

無　題

眞島　宏明

2020年頃に始まった新型コロナウィルスは、まだまだ予断を許さない状況ですが、大学内では対面授業が復活・定着するなど、ある意味では新型コロナウィルスとの共存も見据えた形で、日常の社会が戻りつつあります。

私の専門は知的財産法であり、特許権・商標権・著作権などが中心です。知的財産法の分野は法律改正なども多く、社会の変化に敏感に追従する法領域です。大学を卒業して実社会に足を踏み入れた皆さんの生活も大きく変化したと思いますが、社会全体も大きく変貌しようとしています。大学時代に身につけた知識や経験を元にして、社会の変化に柔軟に対応してほしいと思います。

（経営学部教授）

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

ゼミ始動

樫山　武浩

こんにちは。わたしは、2022年4月に本学に着任した新任教員です。データ分析や機械学習といったデータサイエンスに関わる講義を担当しています。秋学期からゼミを持つ予定ですが、本学着任前はゼミを担当した経験がないので、樫山ゼミの一年目となります。ゼミ募集では、私の研究に興味を持つ学生がいるのか心配しましたが、秋学期から16名の学生が参加することになっており、大変うれしく思っています。今は、ゼミで、「あれをしよう」、「これをしよう」と考えるのが楽しくて仕方がありません。これからは、ゼミへの関心を深めてもらえるように、より一層積極的に研究活動を展開していきたいと思います。（経済学部准教授）

無　題

平等　文博

平等ゼミ卒業生のみなさん、コロナ禍など難しい社会状況の中でそれぞれの持ち場で頑張っておられることと思います。

私事ですが、定年退職後の特任教員の期間が今年度で終了ですので、2023年3月には大阪経済大学を完全に「卒業」することになります。残された在職期間、最後のゼミ生5人の卒論完成をメインに、私も精一杯頑張ろうと思っています。

みなさんも仕事に家庭に一番忙しい年ごろだと思いますが、今年度中は研究室がありますので、もしよければ気軽に顔を見せに来てくれれば嬉しいです。大学のメールアドレスは以前と同じbyodo@osaka-ue.ac.jpです。退職後の連絡はf.byodo@mac.comにお願いします。

それでは、みなさんのご健康と変わらぬご活躍を心から祈っています。

（人間科学部特任教授）

課題解決型のゼミ

戸田　信聡

2022年4月に本学経営学部に着任いたしました戸田信聡です。経営管理論における組織行動論を研究しています。

産学連携し、様々な業種の企業の人ともやり取りしながら、課題解決のための調査や発表を通じ、経営学を学んでもらおうと計画しています。日常の何気ない疑問や、企業組織に対する疑問を、文献のサポートも得ながら、調査研究し、経営学の面白さを知って欲しいと思っています。（経営学部准教授）

昭和世代、令和スタイルに挑戦!

城　達也

若者たちに「ニュースポーツ」が流行している。競技人口が多いのはサーフィンだが、オリンピック種目になったボルダリング施設も増えている。つい先日ゼミの学生に連れられて、大阪市内の民間ジム施設で私もこの歳になって初めてボルダリングを体験してきた。

大事なのはバランスとタイミング、正確な認知力と的確な判断力らしい。頭で考えるより身体でコツを倣い覚えること。これまで「精神力と体力」がモットーだったスポーツはいまや「感覚力」形成が重視される。

大学での勉学も同じ。戦後の知識偏重「国際教養主義」はいい加減にして、リスクを乗り越えるスキル体得の教育が要請されている。斜陽久しい本学の復興には21世紀の教育スタイル導入が必要だろう。

（人間科学部教授）

無　題

浅田　拓史

2010年に着任し、干支が一回りしました。昨年からは、従来取り組んでいた「創業体験」を発展させ、地域の福祉事業所と協力してビジネスの学びを深める「福学地域連携プロジェクト」に挑戦しています。ゼミ生たちは、福祉事業所の商品を販売する「くすのきエール・マルシェ」はもちろん、福祉事業所のお菓子の新レシピ開発や、クラウドファンディングを利用した新パッケージ開発など、それぞれのプロジェクトに忙しくしています。中小企業診断士やデザイナーの方などにご指導いただきながら、実践的な学びを目指して日々邁進中です。みなさんの健康を祈っています。（情報社会学部准教授）

無　題

酒井　大策

2022年4月に着任しました酒井大策です。着任前は、静岡県の大学で6年間勤務しておりました。生まれ育った大阪の大学に着任することとなり、たいへんうれしく思っています。

研究分野は行政経営、公会計です。大学教員になる前は、大阪府内の自治体で12年間勤務しておりました。自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、求められる人材像は以前と大きく異なっています。これまでの公務員像とは異なる、新たな価値を創出するイノベーティブな人材が自治体でも求められる時代になってきています。講義・ゼミ活動等を通じて、これからの自治体で活躍できる人材をぜひ輩出していきたいと考えています。（経済学部准教授）

経営学部での哲学ゼミ

稲岡　大志

2019年4月に着任して2022年3月に最初のゼミ学生を送り出しました。今年3月には2期目の卒業生が無事に巣立っているはずです。経営学部の哲学ゼミも4年目が終わろうとしています。依然として試行錯誤が続いていますが、最近は「よく生きるための哲学」という大きなテーマを設定して、古典の哲学書を講読したり哲学の問いについて話し合う哲学対話をやったりしています。ゼミ活動として実施していた「志プロジェクト」は2022年度から授業科目となりました。

卒業生のみなさん、お元気でしょうか。気が向いたら、あるいは気が向かなくとも、連絡くれたら嬉しいです。（経営学部准教授）

学生の起業を応援する

水野　未宙也

本学には「起業したい!」という学生が少なからずいて、競争戦略論という科目を担当していると、学生から起業の相談を受けることがあります。そのことも影響して、それまで私の専門は経営戦略やイノベーションでしたが、最近は起業家研究にも関心を持つようになりました。

起業の野心をもった学生たちを少しでも後押ししたいと思い、ゼミでは、自分たちでビジネスプランを立案・実践してもらい、学生に起業を経験させることにしています。学生も私も経験がない中で、様々なリソースやネットワークを活用しながら、起業を目指して奮闘しています。学生には、ゼミでの経験を通じて、ものごとを戦略的かつ柔軟に考える力を身につけてほしいと考えています。（経営学部講師）

無　題

福島　卓哉

経営学部ビジネス法学科の福島卓哉です。

早いもので本学に赴任して4年が過ぎました。2期目となるゼミ生は皆、就職活動を終え、卒業論文の執筆に励んでいます（2022年9月末時点）。今期のゼミは少人数でしたが、優秀な学生が揃い、私自身刺激を与えてもらいました。

私の専門は「行政法」で、ゼミには、毎年公務員を志望する学生がやってきます。公務員を志望する動機は人それぞれですが、これまでゼミでは「行政」に関する諸問題を幅広く取り上げることで、公共的な問題について関心を高めてもらおうと工夫を凝らしてきたつもりです。卒業生のご活躍を祈りつつ、また日々の研究を進めて参りたいと思います。

（経営学部講師）

無　題

井形　浩治

8月末日、3年ぶりに某学会の全国大会に出席した。自身の報告と、他の会員報告のコメンテータも兼任した。この間、WEBにて大会が行われ、電話等で話をする機会はあったが、久しぶりに会員の方々にお会いすると、やはり懐かしさが込み上げた。人間は不思議なものである。離れていると「空間」は共有できない。少し前に「空気が読めない人=KY」という言葉が一時流行した。PC・スマホ画面は、確かに現状の顔を映し、その声を聴かせてくれる。しかし、その「気（配）・におい」を含めた「動き」までは伝わりにくい。KYさんも、S.ディスタンスで目に付きにくくなった。その懐かしいお姿が再現された時こそが、真の「アフター・コロナ」であろうか？

（経営学部教授）

無　題

橋本　信子

2022年春に着任しました。経営学部の新しい科目「アカデミックスキル」を主として担当しています。春は新入生と、秋は社会人学生を含む全学年のみなさんと、対話を通して学びのスキルを習得する授業を行っています。大経大には学ぶ意欲のある人が多くて、やりがいがあります。

私自身の研究対象は、東ヨーロッパの現代政治や文化です。ここ数年は、歴史の負の側面をどう伝えるかというテーマに関心を持って、東欧や国内の「負の遺産」（戦争遺跡、災害の遺構、収容所跡など）をめぐっています。写真は負の遺産ではなく、地元・滋賀の愛荘町立歴史文化博物館です。名刹・金剛輪寺の一画にあるお気に入りの場所です。

（経営学部准教授）

近　況

高津　芳則

2017年秋、突然の左目網膜剥離で手術となりました。翌2018年には、右目も手術でした。2019年夏過ぎ、ようやく視野が安定し気力が戻ってきたところ、2020年2月に今度は生活習慣病で入院となりました。同時期からコロナ禍がはじまりました。／大学の授業は自宅からのリモートになりました。リモートワークによって地域にいる時間ができたため、生きた行政学を体験できました。市の幹部によって、行政が大きくゆがめられている現実を学ぶことができました。／2022年、生活習慣病もやっとクスリで落ち着いてきましたので、気合いを込めて、研究に、教育に、そして民主主義のために、取り組んでいく予定です。

（人間科学部教授）

無　題

鴨谷　香

インターンシップやキャリアデザイン等、学びと仕事をつなぐ講義を担当しています。新型コロナの影響で通常のキャンパスライフにおける経験が積みにくかった学年が就職に向けた行動を始める時期となりました。講義では学生にとっての「学生時代の成果」や「学び」が何なのかを言語化し、自己表現する演習に力を入れています。また、所属している教育・学習支援センターでは、在校生や卒業生の方に学生時代のこと、ご自身のキャリアのことを語って頂き、学生がそれを聴いて将来をイメージする「自分磨きの見つけ方」という連続講座を始めました。様々な形で大経大を軸につながりそれぞれのキャリアを紡ぐ場づくりに取り組んでいきたいです。

（教育・学習支援センター准教授）

無　題

マルチュケ　ダービッド

経営学部のマルチュケです。コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてきたということで、ようやく対面のゼミを実施することができるようになってきました。

去年からマーケティングとビジネス英語に特化したゼミを実施しています。今年の後期は中小企業・経営研究所と連携して初めて企業と一緒にゼミプロジェクトを実施することになりました。企業見学を実施したり、マーケティングプランを考えたり、実務に即した学びを通して、課題解決やプレゼンテーション力の向上を図りたいと思います。もちろん、英語力の向上に繋がるような内容にも取り組んでいきたいと思います。Let's all work together!

（経営学部准教授）

無　題

黒坂　真

卒業生の皆さん、お元気ですか。以前から私は、中国、朝鮮半島は今後どうなっていくかという件に関心を持ってきました。近年はロシアにも注目しています。ウクライナ戦争はどうなって行くのでしょうね。私にはこの戦争の終わりが見えません。一時停戦しても、それで終わるでしょうか。私は四十年ぐらい前の学生時代に、ロシア語を第二外国語として選択し、ソ連について多少勉強しました。ソ連崩壊でロシアは多少良くなったのかな、と思い込んでいたのですが、大間違いでした。先を見通すことは難しいですね。今後、世界経済ではスタグフレーション（インフレと失業の同時進行）が考えられます。

（経済学部教授）

つながろうとする力

藤田　里実

2022年4月に着任いたしました、経営学部の藤田里実です。専門は大学教育学で、大学生が学ぶべきこと、大学でこそ学べる内容と方法とは何かを考えて参りました。方法論の面（実際の授業場面）では特に、アクティブラーニングを重視し、グループワークを積極的に活用していますが、本学着任以降、本学の学生のグループワークへの熱意と能力に驚かされています。今の学生たちは、コロナ禍の中での大学生活を余儀なくされている世代です。彼らの、学生間でリアルにつながろうとする力の強さを目の当たりにし、やはりどのような時代にあっても学びを止めてはならない、私にもできること、工夫する余地はまだまだあるのではないかと試行錯誤する毎日です。

（経営学部講師）

無　題

高木　久史

2022年4月に日本経済史研究所長を仰せつかりました。当研究所の事業を社会へPRし、そして事業成果を社会へ還元するためのツールとして、TwitterとInstagramのアカウントを開設しました。研究機関のSNSというとイベント告知だけになりがちですが、当研究所アカウントでは、イベント告知は当然のこととして、所員の研究活動の紹介や、大阪・日本・世界の史跡案内、読書案内、はたまたネコの歴史コラムなど、「日本」の「経済」の「歴史」にほんの少しでも関連するものであればなんでも事業対象にしている本研究所の強み（融通無碍さ）を生かし、ポップに展開していきます。フォローお待ちしております。

大阪経済大学日本経済史研究所Twitter・Instagramアカウント
https://twitter.com/nikkeisi
https://instagram.com/nikkeisiken

（経済学部教授）

ゼミ生 OB、OGのみなさん、お元気ですか？

本村　光江

2005年経済学部でゼミを開始した頃には何をテーマにしたら良いのか迷う日々でした。試行錯誤の末、現在は動物福祉という考えをベースにした人と動物の関係をテーマにしています。

2022年春学期には3年生が犬のしつけやペットの入手先、動物園についてのアンケート調査を行いました。また9月に大学で開催したペットの防災を考える会では、ゼミ生も参加し大阪女学院の動物愛護クラブと交流するなど、コロナ禍で中断していた活動を徐々に再開しています。

今後も人と動物の関係がより良くなるような社会を目指し教育、研究活動を行っていきたいと思っています。また機会があれば、ぜひ遊びに来てくださいね。

（経済学部教授）

無　題

北市　記子

最近は就職活動が早期化し、2年生の秋からガイダンスが実施されるようになりました。

北市ゼミでは数年前から、就職課主催のガイダンスに加えて、4年のゼミ生が後輩（3年のゼミ生）に直接実践的なアドバイスをする機会を設けています。ある学生の自発的な申し出によってスタートした試みですが、そこから数年を経て次第に良い循環が生み出され、時には学年の垣根を超えた交流も生まれています。

私自身、学生時代は就職活動をしていなかったため、彼らに話せるような経験談はありません。しかし、就職活動を終えた4年生が良きアドバイザーとなって後輩たちを導いてくれており、大変心強く感じています。

（人間科学部教授）

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

無　題

苫米地　なつ帆

2022年度、ゼミには4回生12名（4期生）、3回生21名（5期生）が所属しています。私事で恐縮ですが9月上旬に第二子となる男児を出産し、それにともなってお休みをいただきました。卒業研究に取り組む4回生、研究の基礎固めの真っただ中の3回生には、ゼミ活動において変則的な対応をお願いせねばならなかったのですが、そのような中でもとても頑張ってくれました。毎年思うのですが、苫米地ゼミには心優しく、物事に真摯に取り組むことのできる学生さんが多く、ゼミ教員として誇らしく思うとともに、心から感謝しています。

（情報社会学部准教授）

無　題

田島　良輝

大阪経済大学人間科学部の教員に着任し、8年目になりました。約80名の学部生、そして4名の修士修了生を送り出すことができました。ちなみに今年度（2022年）は3～4年生で22名、大学院生が2名の学生が在籍しています。

スポーツビジネスの世界にチャレンジする学生も増えてきています。きっとOB&OGのみなさんもそれぞれの分野でご活躍のことと思います。そろそろゼミ10周年を目指して、集まれる会をできたらいいな、と思っていますので、その際は後輩の学生にいろいろとお話を聞かせてあげてください。よろしくお願いします。

（人間科学部准教授）

フィールドワークの大切さとプロフェッショナルへの願い

古賀　敬作

学部のゼミは、現在、3年生（第8期生）が中心となり、東淀川区がプロジェクトの窓口や会場の提供を行っている「東淀川魅力発見プロジェクト」に参加し、身近な歴史・産業・食の魅力の発見・発信と関係人口の創出について、正解のない問題に交流・活動を通じて皆でその解答を見つけようと取り組んでいます。解答を導き出すには、いろんな面で人間力が試されるところです。大学院のゼミでは、現在の指導院生が第7期生ということになりますが（おそらく）、論文指導では学問的探究は勿論ですが、税務のプロフェッショナルへの道として、修士論文への取り組み姿勢「当たり前の事を当たり前にこなす」と同期のつながりの大切さを相変わらず指導院生に口すっぱく教示しています。以上、近況報告です。

（経営学部准教授）

国立国会図書館関西館（修士課程１年生）

お世話になった先生からのお元気なお便り

（敬称略・順不同）

針の筵（むしろ）

藤本　周一

小生、さる大学の非常勤講師だった折りのこと、ある期末試験に際して、電車の時刻表を見誤り、問題用紙を抱えたまま、試験時間に1時間ばかり遅刻してしまった。当大学の学部教授会で議論となり、兎に角、当事者に来学を求め、事情を質（ただ）すという場が設定された。当該学部長、クラス担任教授、事務長が同席されていて、小生、学生を前に有りのままを話すほか術がなく、静まり返った教室の雰囲気に、小生、「針の筵に坐す心地」がした。ほどなく学生の1人が立ち上がり「事情はよく分かりました。大学から指示されれば、自分たちは試験を受けます」という発言があって、事は落着した。思いもよらぬこの解決は、後の教授会で改めて話題になったと聞く。

落ち込むこともあるけれど、私、元気です

梅原　英治

みなさん、お元気でしょうか？　私は2021年3月に退職し、いまは名誉教授となって自宅生活を送っています。在職中は教員の中では珍しく、毎日大学に出勤し、研究室で夜まで仕事をしていたせいか、いまでも朝と夜になると身体がそわそわするので、運動に出かけます。自宅では、雑誌や大学の論集向けの原稿執筆とその準備の調査研究（本や資料などの収集・読了・データ整理など）をしておりますので、比較的忙しい毎日です。ただ、学生さんに会えないことが寂しいです。退職して「自分は大学と学生さんが好きなんだ」ということをしみじみ感じます。いつか再会できる時を楽しみにしています。みなさんのご健康とご活躍を祈っています。

マンション経営、頑張ってます

太田　幸一

名誉教授の太田幸一です。退職後、脳梗塞で2回入院し、ステント手術とペースメーカーを入れて、身体障害者1級になりました。退職後の仕事は、親父から受け継いだマンション経営に励んでいます。途中、悪どい管理会社を切り、入居者募集のみ委託しています。家賃管理からトラブル対応いっさいは、私1人で頑張っています。入居者のネットの接続サービスは勿論、宅配ボックスの使い方を教え、24時間ゴミ出しのルールを教えてます。

防犯カメラの管理、地下駐車場の采配やゴミ出しの監視などは見回りながら行っています。最近は、家賃をクレジットカード払いにする様に動いてます。マンション経営は不労所得どころか、楽しい仕事です。

無　題

渡邉　泉

1974年、経営学部に奉職したときの先輩方は、みな鬼籍に先立たれた。残された私は、未だに会計の歴史にしがみついている。思い返すと、社会経済生活の根幹を支える会計の世界で彷徨い続けた半世紀であった。だが一体、何を手に入れることができたというのか。ペストの再来コロナ、ロシア・ウクライナ戦争に拡散する経済的格差による貧困と犯罪、温暖化が原因の地球崩壊。こうした絶対矛盾の解消に、会計は、何ができたというのか。呻吟という名の電車に乗ってたどり着いた終着駅が「絶望駅」にならないことを願うばかりである。そんな思いで今取り掛かっているテーマが会計倫理・道徳の問題です。さてさて、どうなることやら。

不思議三題

稲場　紀久雄

満81歳になりましたが、時々不思議な出来事が訪れるので、それなりに楽しく暮らしています。この1年の出来事を三つ紹介します。

（その1）30年前世に問うた『都市の医師』の台湾版が台南市の発意で発刊されました。／（その2）「水循環基本法」に関する拙稿掲載の『水文・水資源ハンドブック』が1年遅れで発刊されました。発刊時期が私の推進した「日本水循環文化研究協会」の設置と重なりました。／（その3）健全な水循環の要諦は、「貯留・滞留」にあることに気付き、「水循環景観学の創造」というアイデアが突然閃きました。新たな研究テーマです。

2022年5月、長岡京にて

何歳になっても不思議を捉える若々しい感性を持ち続けたいものです。

高齢者の脳トレ近況

六浦　英文

「帰り道は遠かった　来た時よりも遠かった」（藤本義一作詞、奥村英夫作曲）という歌がある。

【悟性派の解釈】「道が伸びちぢみしない」と仮定すれば、往復の距離は同じだから、帰り道だけ遠くなることはあり得ない。歌詞は心理的錯覚を表現しているにすぎない。錯覚放置は時間の無駄。

【感性派の解釈】失恋の方程式では2−1≒0ということもあり得る。失恋のみじめさを理解できない悟性は「石ころ」にも等しい唐変木。

◆頭の中で悟性派と感性派が論争している。悟性派か感性派か？　それとも理性派か？　アリアドネの糸は見つけられるのか？……

この夏の収穫

久保田　諄

やけくそに暑い日々が六月末から続いて、京野菜は甚大な被害を受け、中でも上賀茂が誇る「賀茂なす」は表皮が赤茶けて売物にならないものが続出しました。上出来のなすは一個が五百円以上もするので、われわれには手が出ませんが、欠陥なすは一個百円以下となって、今年はたくさん買って食べました。表皮が固いだけで、中の味は全く変わりません。厚く切って両面を焼き、味噌を塗って食べるとビールと良く合うのです。

九月初めにキエフ古典バレエ団の京都公演「白鳥の湖」を見ました。ロシアのボリショイと並び世界のトップレベルと評されるバレエ団です。この様な本格的なバレエを見るのは、小生には初めての経験でした。人間の身体の美しさを充分に表現する、しなやかで優美な動きと場面の美しさには全く魅了されました。これほどまでに素晴しい芸術を産み出したキエフの文化に、驚きと敬意を感じました。それにしても、このウクライナで残忍極まりない殺戮戦が行われていると思うと、残念な人間の業（ごう）としか云えません。

中　国

山本　恒人

大阪経済大学は90周年を迎えました。私が在職したのは50周年、70周年ですが、初々しかったゼミ生たちは今や続々還暦を迎えられています▼私は来年傘寿となりますが、男性の場合傘寿は大きなハードルのようで、左肩の腱板断裂とか左腰部の脊柱管狭窄症とか次々と故障をかかえております▼みなさんと取り組んだ中国は、いよいよ2050年にはアメリカを超えるという目標を掛け声から現実的ゴールに据えたようです。独善ではなく懐深いリーダー中国を期待したいものです。

大阪産もん　空港、駅、土産店にて販売中　イベント等特注承ります
みどり製菓株式会社　HP「みどり製菓」で検索
大阪市東住吉区東田辺3-2-2　TEL06-6691-6186　代表取締役　翠　紀雄（49回）　専務取締役　翠　大輔（78回）

本社　〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06・6487・1401 Fax. 06・6487・1414　ホームページ https://nikko.bunguclub.co.jp
支店　大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島　他

大学と会社の縁･･･ 思わぬ繋がり

大和リース株式会社　代表取締役社長
北（きた）　哲弥（てつや）氏（50回）

《大学時代の思い出》　大学入学当初、学業もさることながらどこかの運動部に入りたいなと思っていましたが、当時のD館の前で運動部が新入生相手に強引な入部勧誘をしていて、一気に嫌気がさし運動部入部はやめることにしました。そんなことを思いながら構内を歩いているとウエットスーツを着てタンクを背負っている学生がスキューバダイビング同好会の勧誘をしていて、話を聞いてみると大変面白そうなのですぐに入会を決めました。毎月の日本海・和歌山訪問へのダイビング、春夏には合宿と称して沖縄本島周辺や八重山諸島にスキューバダイビングツアーに行っていました。学業においては特筆する事はほとんどありませんがこのダイビング同好会の4年間の活動が思わぬ形で会社に入ってから仕事に繋がる事になりました。

《現在の仕事内容》　1984年に大和ハウスグループの大和工商リース株式会社（現大和リース）に入社しました。大和リースは大和ハウスグループの創設者石橋信夫の「大いなる和をもって社会に貢献できる事業を追求する」という理念に基づき事業展開をしています。システム建築やPPP/PFIなどの官民連携事業、商業施設の開発・運営、ファイナンスリース、緑化・再生可能エネルギーなどの環境事業などです。大和ハウスグループの祖業はプレハブ建築ですから災害が発生した時の応急仮設住宅も建設します。私自身も2011年の東日本大震災の時も3月18日からおおよそ1年間宮城県で応急仮設住宅建設に従事していました。

また、大和リースは地方自治体から官民連携事業として庁舎建築などの施設整備事業も積極的に取り組んでいます。2015年2月の話になりますが沖縄本島近くの座間味村で庁舎整備計画がありました。当社の沖縄支店が担当しましたが、当時、担当役員であった私は着工時の安全祈願祭に座間味村まで出向き、村長にお会いさせていただきました。面談時に村内の島々やビーチ、漁礁、古くからある民宿の話をするので村長は大変不思議がられていました。座間味島こそ大学2年生のスキューバダイビング同好会の夏合宿で長く滞在した島です。若いころの楽しい思い出が見事に仕事とリンクしました。今でも座間味村庁舎整備の記念碑に事業にかかわった皆さんと一緒に名前が刻まれていることは一生の思い出です。このほかにも八重山諸島の竹富島、小浜島、西表島でも仕事をさせていただきました。大学時代の南の島で過ごした心地の良い経験と現在の仕事に大きな縁を感じます。

座間味村役場新庁舎（2016年完成）

《卒業後の大学とのかかわり》　2021年4月から先代の森田社長（現会長、大経大卒）から社長業を引き継いでいます。大学との関わりは森田会長が大樟春秋会の会長をされており、私自身は運営部会長をさせていただいています。大樟春秋会は大樟会の部会のひとつで主に企業経営に携わる方で構成されており、今年度も90周年記念講演や寄付講座、また、在校生の就職支援を通して実学一致を目指す母校の応援及び会員同士の情報交換などの活動をしています。同窓生の関係は唯一大学にあるわけですから卒業して30数年経た今、微力ながらお世話になった大学と現役学生に恩返しする事は卒業生としての責任だろうと思っています。

《現役学生に伝えたいこと》　先ほど話したように私の場合は大学時代の沖縄方面の思い出が色濃く今の仕事に繋がっています。同好会活動ですからさほどつらい思い出もありません。そんな活動でものちの人生に大きく影響しています。現役の学生の皆さんにはとにかく学生時代にしかできないことにチャレンジしてください。当社にも大経大卒業生が沢山います。諦めが悪く、へこたれないのが特徴です。学生時代の思い出を聞くとバックパッカーなどで海外旅行していた者もいます。海外経験を積む、ボランティアをする、本をたくさん読む、リベラルアーツと言われる基礎的教養や人間としての根幹の学びを習得し、多彩な知識に触れ、広い視野で物事を判断できる力を養ってください。

（聞き手＝広報部・天野康弘）

略歴　1962年、兵庫県生まれ。1980年、三田学園高等学校卒業。1984年、本学経済学部卒業。大和工商リース株式会社（現大和リース株式会社）入社。2006年、神戸支店長。2011年、執行役員・規格建築事業部副事業部長就任。2013年、取締役上席執行役員・規格建築事業部長就任。2015年、取締役常務執行役員就任。2021年、代表取締役社長就任。

桜井先生との出会いが、外交官への道を拓いた

在エルサルバドル日本国大使館勤務
吉田（よしだ）　和隆（かずたか）氏（73回）

始まりは、数年前に退職された桜井三枝子先生からのお便りでした。「吉田和隆氏は外務省試験に合格し、某国大使館に勤務中」とありました。たまたま大樟会事務局に来られた岸田国際部長がメアドをご存知で繋いでいただき、次に高濱広報課長から取材者の大村彩乃さんを紹介していただきました。（大樟会広報部）

＊　＊　＊

6月10日の午前9時、学生広報隊に所属する大村彩乃さん（経済学部3年）が人間科学部の第1期生であり、エルサルバドルの日本国大使館で活躍されている吉田和隆さんにオンラインで取材を行いました。エルサルバドルは中央アメリカに位置し、人口が千葉県とほぼ同じ約600万人の国です。また日本との時差が15時間あるため、現地の取材時刻は6月9日の午後6時。吉田さんは仕事終わりにもかかわらず、気さくにお話ししてくださいました。

私が人間科学部に入学したのは、心理学に興味をもったからです。中学生時代に喘息で不登校になった経験から、不登校の人の為に何かできることはないかと思っていたからです。入学後、桜井先生のスペイン語を履修したところ、当時苦手意識のあった英語と比べ、相手に意思を伝えることができたスペイン語にのめり込みました。その後、文化人類学の桜井ゼミに所属したことで他国の文化を学習し、心理学よりも興味をもつようになりました。また桜井先生のすすめで、当時協定校となったばかりのメキシコのベラクルス州立大学にスペイン語研修のため1か月留学し、その約半年後には大学を休学して再度メキシコに1年間留学しました。

卒業後は民間企業に就職したものの、メキシコ留学を思い出すたびに海外と関わる仕事がしたいとの思いが強くなりました。桜井先生に相談した際、日本政府とメキシコ政府の留学生交流制度があることを教えてもらい、応募したところ合格。再びメキシコに留学しました。留学中は周りの方に声をかけてもらったことで通訳のアルバイトやJICA草の根技術協力事業の現地コーディネーターの仕事を担当することになるなど多くのことを経験しました。またメキシコで働きながらも、社会人入学制度を利用して広島大学大学院に入学し、修士課程を修了しました。その後、外務省が在外公館専門調査員としてメキシコで4年間、メキシコ政治の分析などを行い、2018年には外務省から正式に採用され、在エルサルバドル日本国大使館への勤務が決まりました。

左から、岸田国際部長、教務部・大井さん、大村さん、高濱広報課長、吉田さん（リモート画面）

国連への出張（国連ビル前）

在エルサルバドル日本国大使館では政治と広報文化班の班長を務め、エルサルバドルの政治情勢の調査や日本の文化を発信しています。その中でも日本国大使館の公式Facebookの運営は思い入れが強い仕事です。赴任当時にはなかった公式Facebookを開設し、大使館として必要な情報を発信するとともに、伝統文化など日本の魅力を発信してきました。4年間の試行錯誤の結果、フォロワー数は10万人を超え、日本の在外公館が約190あるうち13位という成果を出していることは自分でも誇れることだと思っています。

このような日本国大使館での勤務や、過去の海外生活を振り返ると達成感のある仕事や楽しい経験ばかりではなく、辛いこともありましたが、自分の気づかないところで周りの方が自分を支えてくれた結果、外交官という肩書で仕事することが出来ており、その方々の期待に応えたいと思って仕事に励んでいます。

私の経験上、人生どこでどう転ぶかわからないです。頑張っていればそれを見てくれている人がいて手を差し伸べてくれる。その時は叶わなくても、諦めずに自分がしたいことに向かって頑張ってくれる後輩が一人でも増えれば嬉しいし、自分も後輩に負けないように頑張ろうという気持ちになれます。

在学生の皆さんは、学生同士でわからないことも周りの大人に聞いてみれば案外簡単に解決策やヒントが得られることもあるので、困ったときは一人で悩むのではなく、周りの大人に助けを求めながらも頑張ってほしいです。

【取材後の感想】日本国大使館に勤められていると聞くとお堅い方なのかなと、インタビュー前は緊張していましたが、吉田さんにお話を聞くと親しみやすく面白い方で緊張もほぐれていきました。吉田さんが活躍されている背景には、諦めず何事にも挑戦されてきた経験があったと知りました。私もこれからの人生をより良いものにしていくために、諦めずにたくさんの事に挑戦していきたいです。

（聞き手＝大村彩乃・経済学部3年）

略歴　1983年、愛媛県伊予郡松前町生まれ。松山城南高等学校（現・松山学院高等学校）卒。2007年、本学人間科学部卒。

家業の経営経験と本学での学びを町政に生かす

大阪府泉南郡熊取町・町長
藤原（ふじはら）　敏司（としじ）氏（41回）

大阪府南西部の泉州エリアに位置する、泉州タオルで有名な熊取町の藤原敏司町長を町役場に訪ねました。

「小学校6年生の時に父がタオル製造業を開業しました。頑張っている親の姿を見て中学・高校とクラブ活動もせずに、家業の手伝いをしていました。大学に入学後も3ヶ月ほど高島屋さんのビヤホールでアルバイトをしましたが、それ以外の4年間はやはり家業の手伝いに明け暮れました」。もう少し学生らしく遊べば良かったかなと笑われました。

「最近有名になってきた水なすは、熊取町で命名されたと言われています。浅漬けにすることで商品価値を上げる工夫をしています。若手の栽培農家も増えてきました」。

もう一つ有名なのがブルーベリーです。「町内の家庭菜園グループが、土曜日に役場の駐車場で軽トラ市を始められました。その中に、定年後ブルーベリー栽培を続けている方がおられました。この方に指導してもらえれば、ブルーベリーを町の特産物として育てていただけるのではと考え、まず用地を考えました。その候補地として浮かんだのが、NPO法人グリーンパーク本部前にあり、彼らが一部を借りて農作物を作っている水田でした。会員数が70名程度で多彩な人たちが集まっているグリーンパークさんに栽培と管理をお願いしようと思いました」。

そこで、町長自らが地主さんと交渉されたそうです。今では大きなブルーベリー畑になっています。「毎年、子供達に無料収穫体験をしてもらっています」。熊取町は大きな産業の少ない地域なので、昔から子供を大切にし、子供に投資する土壌があったそうです。その背景から、子供達のための予算を今まで以上に手厚くされてきたようです。

熊取町の特産品を「くまとりやもん♪」に認定してPRする事業も始められました。「会社経営の経験と母校で学んだ学問が大いに役立っています」。

写真提供=熊取町広報戦略課

ここで気になるのが、藤原町長と政治の接点です。「1年下の後輩が町議会議員になり、彼の話から古い考えの方にこの町を託して良いのだろうかと思うようになりました。尊敬する先輩からも強く勧められて立候補を決断しました」。友人達からは「常に後ろから前の人を冷静に見ていた、無口で控えめなあなたが本当に出るの」と驚かれたそうです。「2期務めて引退する予定でしたが、橋下徹さんが改革を掲げて政党を立ち上げられ、この地域でも応援する府議会議員が必要だとなり私が立候補することになりました。1期務めた後に、この町にも新しい風を起こすための改革が必要だとの思いで町長選挙に挑戦して当選しました」。

最後に在学生への一言をお願いしました。「皆さんにはサントリーの創業者鳥井信治郎さんの『やってみなはれ』の言葉を贈りたいと思います。何かをやる時に、失敗するか成功するかなどと考えずに、とにかく動いてください」。改革に邁進されている藤原町長の口から発せられると、より力強く心に響きます。

インタビューの後に熊取町の事を調べていましたら、本学との不思議なご縁を二つ発見しました。一つは町名の由来です。諸説がある中に、朝廷と敵対する羽白熊鷲（はじろくまわし）を神功皇后がこの地で討ち取ったことに因むとの説がありました。黒正巖先生の生誕地、布施神社のご祭神のお一人である神功皇后が町名成立に関わっておられる可能性がある訳です。もう一つ、教育の町・熊取町には大学が三校もあり、その中の一校である大阪体育大学と本学にも不思議なつながりがあります。何と、大阪体育大学と本学は同じ学園をルーツとする姉妹校だったのです。そして、大阪体育大学は神功皇后に関わりがあり得る熊取町に、本学はそのご子息である応神天皇の宮跡の可能性が高い地に建っています。偶然とは思えないほどの大きなご縁を感じてしまいました。

（聞き手=事務局長・角庵勝巳、広報部部長・田中伸治）

略歴　1952年、大阪府泉南郡熊取町生まれ。大阪府立和泉高等学校卒業。1975年3月、本学経済学部卒業。同年、家業の藤原商店入社。2003年4月、熊取町議会議員（～2010年12月）。2011年4月、大阪府議会議員（～2015年4月）。2014年5月、大阪府監査委員（～2015年5月）。2016年1月　熊取町長（1期目）。2020年1月　熊取町長（2期目）。

子どもの元気な声が響き みんなの笑顔があふれる里庄町

岡山県浅口郡里庄町・町長
加藤（かとう）　泰久（やすひさ）氏（49回）

私が大阪経済大学に入学した動機ですが、高校は商業高校でした。昭和54年当時、卒業生の3分の2は就職、3分の1が進学志望でした。大阪経済大学は進学を希望する生徒の中でも人気が高い大学でした。私は、経済について学びたいと考えていました。また、関西（都会）への憧れもありました。

卒業後の進路は、第1志望は高校教師でした。採用試験は失敗しましたが、より多くの人に関わる仕事がしたいと考え地方公務員になりました。最初の配属先は税務課でした。その後、保健衛生課、老人施設、総務課、町民課で勤務しました。自分としては、教育委員会や建設課の仕事もしたいと思ったことはありますが、小さな役場ですので、他の課との連携協力を通じて役場全体の概要は把握できたと感じています。また、全ての経験した業務が財産になっています。

町長就任後これまでの仕事を通じて学び、大切にしているのは、「心」の持ち方です。住民の方に対して、コンプライアンス、公正、公平は当然ですが、いかにその人の立場に立って考え実行するかを大切にしています。さらに、町づくりは人づくりだと考えています。里庄町出身で日本の原子物理学の父といわれる、仁科芳雄博士の残された言葉に「環境は人創り　人は環境を創る」があります。安心して住み続けられる町を創るには、住む人の協力が不可欠です。住民と共に、私の目指す「子どもの元気な声が響き　みんなの笑顔があふれる町」をつくること。また、その実現に向けて、職員が仕事を通じて成長を感じることのできる組織を創ることも、私のミッションだと考えています。

里庄町は昭和25年に町制を施行し、今年で72年を迎えました。岡山県の南西部で、福山市（広島県）、倉敷市の中間に位置しており、国道2号線やJR山陽本線が町の中心を縦断しています。また、山陽自動車道のICにも近いことから交通の利便性も高く、通勤通学にも適しており、優良企業（製造業）の立地もあります。人口減少社会のなかにあって、平成2年に1万人を超えた人口は、現在でも1万1千人を維持しています。その要因としては、従来から、基本施策に、○子育て　○健康、福祉　○教育　○道路、下水道等の充実に取り組んできた結果、住民アンケートから①子育てにやさしいまち。②教育が充実したまち。③住みやすいまちと評価して頂けていると思っています。里庄町では耕作放棄地対策として、水田で稲作に代わる収益性の高い作物「まこもたけ」を特産品として栽培を推進しています。

また、音楽界で脚光を浴びているミュージシャンの「藤井風さん」の出身地であることから、里庄町も注目され、多くのファンの方に訪れていただいています。

在学生に伝えたいことは、私が大学を卒業してから40年が経過しようとしています。振り返ってみますと、普段の仕事もですが、火災や自然災害発生時等、これまで多くの人に助けていただいたことを思いだします。そして、時間と社会の変化のスピードは本当に早く過ぎていきます。私は在学中にアルビン・トフラーの「第三の波」を読みましたが、現在では、それをはるかに超える社会が到来しています。したがって、挑戦することや、人生の中での出会いや時間を大切にしてほしいですね。また、どんな小さな仕事にも意味があります。そこに、どのような意味（価値）を見出すかは、自分自身の考え方や気持ちの持ちようで変わってきます。人生100年時代を迎えるなか、在学生の皆さんが、普段から、小さくてもいいですから習慣（例えば、挨拶、健康づくりに取り組むこと、良い本をよむこと、良い講演を聴くこと等知識の習得）を積み重ねながら、将来、大きな成果を得るよう祈っています。

（聞き手=広報部・田島裕司）

略歴　1979年、岡山県立笠岡商業高等学校卒。1983年、本学経営学部経営学科卒。同年4月、里庄町職員。1997年、総務課長補佐。2004年、総務課長。2011年、町民課長。2014年、副町長。2018年、里庄町長。趣味は、ゴルフ、釣り、美術鑑賞など。

煎茶道家元と本学を繋いだ ラグビーとの出会い

煎茶道二條流家元
二條（にじょう）　雅瑛（がえい）氏（本名・藤本昌英、58回）

黒正巖先生のご長男黒正明さんから「妻がお稽古している煎茶道の家元に、卒業生が就任されました」との知らせがありました。「煎茶道二條流」とお聞きしましたので、ホームページを開けますと「七世二條雅瑛家元」とありました。4月に京都鴨川の「なからぎの道」（河川敷公園）で第48回鴨川茶店開催と案内されていましたので、私の所属する京都支部の仲間と参加しました。満開の枝垂れ桜の下、おいしい玉露をいただき、その場で「澱江」の取材をお願いしました。

9月9日に二条城に程近い本部「二條流本部教室」を訪れました。

私の一番の疑問は、伝統あるお家元の跡取りさんがなぜ本学に入学されたのかということでした。小学校、中学校は地元の公立校に通われました。中学校では陸上部に所属、京都府大会の400メートルで4位に入賞されたそうです。「本当は野球かサッカーをやりたかったのに、クラブがありませんでした」。私立東山高校に進学され「すぐに野球部を見学しました。ところが、甲子園を目指す強豪高のためレベルが高すぎ諦めました」。すると、同じ中学のラグビー部出身の友人から見学に誘われたそうです。「足が速いことを知っていたからだと思います。高校では何か球技をやりたいと思っていたので入部することになりました。ラグビーボールには、この時初めて触れました。2年生の時花園（全国大会）に初出場し、控えとしてベンチに入りましたが、出場機会はありませんでした。3年生は京都府予選決勝で伏見工業高校に敗れてしまいました。

京都支部の仲間と参加しました。

大学でもラグビーを続けたいと考えていたら、監督から京都市内の大学と大経大の二校から推薦依頼があると言われました」。大阪の不思議な文化に興味があったので本学を選ばれました。「大阪出身の選手が多いので、最初はその大阪パワーに圧倒されましたが、私も4年後にはすっかり大阪人になっていました。卒業後は直ぐに実家に戻らず、一度就職をと考えていたので就職部を訪ねました」。そこで職員さんから「将来家元を継ぐのなら遠方への転勤が無く、土、日が休みで流派の行事に参加しやすい信用金庫がお薦めです」とのアドバイスを受けたそうです。「結果的には『京都中央信用金庫』に就職し、4店舗で支店長を務め、45歳で退職しました」。その後、お父様の元で若宗匠として修行に努め、昨年の10月に家元に就任されました。

「明日は『中秋の名月』なので、それに因んだお菓子をご用意しました」とお月見だんごをお出しいただきました。甘いお菓子の後にお家元のお点前でおいしい玉露を頂戴しました。「信金時代にも色々大変なことがありましたが、今は流派の維持、発展という大きな使命を背負っているため、比べられないほど大きなプレッシャーを常に感じております」。他大学で煎茶道の指導もされているそうで、母校からの要請があればぜひ協力したいとのお言葉もいただきました。

最後に、在学生へのアドバイスをお願いしました。「社会に出ると、厳しい現実に直面します。そんな時に心の安らぎとなる場所を学生時代に見つけてください。それは、芸術・文化的な活動やスポーツなど様々だと思いますが、余裕のある今が見つける最大のチャンスです」。

（聞き手＝広報部部長・田中伸治）

略歴　1970年、京都市生まれ。私立東山高等学校卒業。1992年、本学経済学部卒。同年、京都中央信用金庫に入庫。1996年、煎茶道二條流の若宗匠として修行を始める。2021年10月、家元に就任。

社会に役立つ存在で あり続けるためのその先へ

株式会社アテクト　代表取締役社長
大西（おおにし）　誠（まこと）氏（51回）

私が大阪経済大学へ入学したきっかけは、文系大学の中では珍しく一般入試の選択科目に数学があったこと。高校時代、文系選択だったのですが数学と言いますか算数はどちらかと言えば好きな科目で躊躇なく入学試験では数学を選択しました。

もちろん、他にも志望大学はあったけれども「数学（と言いますか算数）」が私と大阪経済大学との「縁」だったのかもしれません。

学生時代はアルバイトもよくしましたが、「科学研究会」という同好会に所属し、一般教養課程の宇宙物理学担当教授の久保田先生を顧問にいただき、当時は天文班とマイコン班から構成されており、天文班は天体観測をマイコン班は大阪大学の電算機器を時間貸しで借り軌道計算をしたりしていました。私はマイコン班に所属しプログラミングもままならない落ちこぼれでしたが熱心にパソコンゲームに勤しんでおりました。久保田先生は京都大学の先生でもありましたが、とても気さくな先生で機会を見つけては科学研究会の皆と一緒に飲んだりしました。先生は「君たちと話をしていると、私が想像もしない答えが返ってくる」。とよく言われたことが今でも印象に残っています。ゼミは「民法」の門坂先生で卒業後は法律系の仕事に進みたくも考えましたが挫折し、アルバイトでの経験から判断し、製造業の入社試験を10社受けましたが、最初に合格を頂いた東プラ（東洋プラスチック）株式会社に入社しました。

プラスチックと名はついているものの素材は多種多様でルート型販売の営業でしたが、お客様のニーズ（品質、コスト、納期、別注対応）にあわせた物づくりのため、生産管理も勉強したうえでの営業に特化しました。その後、時を経て事業部長、取締役、グループ会社の社長を経験し、2022年6月（株）アテクトの社長に就任しました。

（株）アテクトは半導体資材事業、衛生検査器材事業、PIM（パウダーインジェクション・モールディング）事業、および地の利を活かした不動産事業の4事業体制を柱としています。半導体資材事業は、情報電子機器のスペーサーテープを中心にお客様の様々なご要望に添う部品保護用品を開発・製造。特許取得品も多数ラインナップし高集積化、微細加工化が進む電子部品の信頼性、安全性を支えています。衛生検査器材事業は、主に食品及び医薬品製造企業における安全基準の検査上使用するシャーレ、培地などの微生物検査器材を国内の多くのお客様へ直販しており、近年はがん検査用シャーレなど医療検査の一翼を担う分野にも事業分野を広げさせていただいています。

PIM事業は金属やセラミックスの粉末を射出形成により、従来の加工方法では不可能であった形状や材質を形にする当社独自のPIM技術の確立に成功し、自動車関連分野や半導体関連設備分野、産業機器機構部品分野等の成長分野に進出拡大させつつあります。また当社では持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標（SDGs）の実現に向け、具体的かつ本格的な取り組みを行って参ります。

学生へのメッセージとして、これからの長い人生において私が思ったことは人とのつながり（人脈）です。今まで多くの人と出会い、色々なことを教えてもらい、また勉強もしてきました。そのことが自分自身の「縁」と「運」につながっているかもしれません。人と接する時は人としての最低限の礼節を守ることは当然のことで、また人の数だけ感受性や哲学があるのだとの思いで、それぞれの人との多様なコミュニケーションという名の感性を磨きながらの4年間を大切に過ごされることを望みます。

そしていずれ社会に出られてからも学びは続きます。ビジネスの世界で生きていくことは日々勉強なのだと思います。

（聞き手＝広報部・田島裕司）

略歴　大阪府出身、1985年、本学経済学部卒。同年4月東プラ入社。2004年5月アァルピイ東プラ（株）射出事業部関西営業部部長。2014年4月同社モールドシステム事業部事業部長。同年6月同社取締役モールドシステム事業部事業部長。2019年4月竜舞プラスチック（株）代表取締役社長。2022年6月（株）アテクト代表取締役社長就任。（株）アテクトは、東証スタンダード上場。

新しい歴史の挑戦 “郷土岡山に日本一を”

岡山県立倉敷工業高等学校・野球部監督
髙田（たかた）　康隆（やすたか） 氏（62 回）

長年、岡山県の高校球界をリードし、甲子園通算出場20回、甲子園通算勝利25勝、プロ野球界には現オリックス・バファローズヘッドコーチ水本勝己、元阪神タイガース投手守屋功輝、中日ドラゴンズ投手福島章太の3名の現役、27名のプロ野球選手を輩出している名門の倉工野球部監督に就任され、新しい歴史への挑戦を続ける髙田監督に岡本（岡山）支部長、松永前支部長がお話をお聞きしました。

＊　＊　＊

○ 監督の日課は

毎朝5時起床、5時半にはグラウンドへ、6時半から朝練、学校では生徒課長として元気な挨拶から始まります。授業終了後、夜8時まで練習。就寝は午前0時頃になります。なお、監督就任後、下宿を立ち上げたことで現在、家族を残して下宿生活をしています。

公立高校なので中心選手10名との下宿生活ですが、選手監督間共通の目的意識が高まり、その成果が今年の選抜出場に結びついたと思っています。

○ これまでの成功例失敗例は

高校野球というのは、夢と希望と感動を与えるスポーツなので、野球だけではなく、コミュニケーションや思いやりなどの“人間力”を高めて、皆さんから応援してもらえるチームにならなければなりません。

前任の興譲館では選手全員と寮生活を送り、24時間寝食を共にしていました。その甲斐あって、甲子園初出場を果たし、応援してもらったファンと選手が一体になることが出来ました。その一方で技術、能力はあるが、人間力が乏しかったことで目前の試合に勝ちきれず、涙をのんだこともありました。勝ったことより選手達の人間力を高められたことが成功につながっていくと思います。

○ 本学へ入学した動機、経緯は

現在小松高校（愛媛県）監督の息子さんが本学でマネージャーを務めていたことで、本学を勧められました。また地元より関西六大学で野球をやってみたいという願望もあって、本学を受験、入試では複数校合格しましたが、最初に合格した本学を選び入学しました。

○ 大学当時思い出に残っていることは

野球では、プロを目指して大学に進学、1回生から投手として出場し、春のリーグ戦でいきなり優勝するなど、順風満帆のスタートを切りましたが、3回生時に右肘を骨折、挫折を味わいました。その時、恩師から「選手だけが野球じゃない」との助言があって指導者としての道に進むことに決めました。

学業では、3回生まで野球漬けの生活が影響し、4回生になって必死で単位を取ることになりました。また、就職活動では、大学での学びと感性を高めていくことの大切さを身に染みて感じました。

○ 家族は

妻と3人の息子の5人家族、3人の息子はいずれも野球少年で、長男、次男は倉工出身です。我が子が部員にいたことで、当時は大変しんどかったのを覚えています。

○ 座右の銘は

相田みつをさんの“一生勉強一生青春”という言葉です。この言葉は自分の人生そのものだと思っており、この言葉で完全に私のスイッチが入ります。

○ 本学との関わりは

本学野球部の山本和作監督とは就任当時から懇意にしており、地元はもとより他校の選手の情報などを交換して、母校の人材確保に尽力しています。

○ 本学の学生に一言

コロナ禍で大変な時期ではありますが、“大変”という言葉は大きく変われるチャンスでもあります。この機会をポジティブに捉えて、自分自身の感性、人間力を高めてもらいたいと思います。

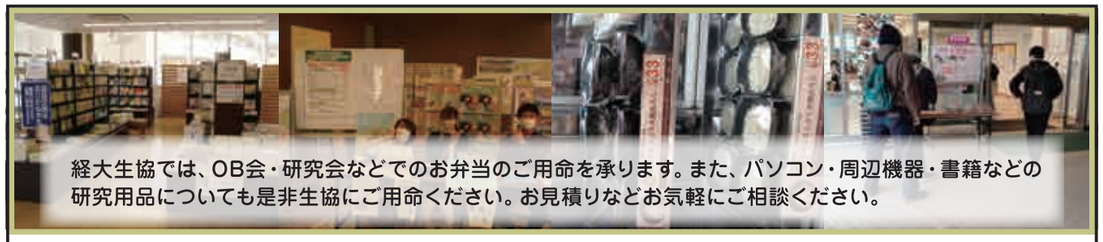
○ これからの抱負、目標は

本校に“夢と志が人生を創る”という校訓があり、自分が歩きたい道標を明確にすれば、まだまだやって行けるという意味であります。選手にこのことを伝えきっていく指導者でありたいと思っています。当校の選手は皆県内の出身者なので、選手が活躍すれば、子供の頃から知っている地元の人たちにとっての喜びはひとしおだと思います。

何事もあきらめなければ、なし得ないことはないと思います。“郷土岡山に日本一を”この目標に向かってこれからも挑戦し続けたいと思っています。

（聞き手＝岡山支部長・岡本紳一郎〔47回〕、
前岡山支部長・松永清彦〔41回〕）

略歴　1974年、岡山県倉敷市生まれ。岡山県立倉敷工業高等学校卒業。1996年（本学4回生時）、倉敷工業高等学校野球部コーチ。1997年、本学経済学部卒業。倉敷に戻り、会社勤めをしながら通信教育で地理、歴史の教員免許を取得。2004年、興譲館高等学校教員、監督を経て母校に戻る。2016年、倉敷工業高等学校野球部監督に就任。



大阪経済大学生活協同組合
〒533-0011　大阪市東淀川区大桐3-16-10
TEL.06-6379-2230　Fax.6379-2232　URL.https://oue.u-coop.net/
e-mail　oue-coop@univ.coop

新たな価値を創造する
OSHIMA PRINTING
www.oshima-p.com

活版印刷、バックカーボン印刷、オフセット印刷
オンデマンド印刷まで
印刷物全般何でもお任せ下さい。
企画・制作・印刷・製本・加工まで社内で一括管理！
コスト削減・短納期

企画・デザインから印刷・製本・加工まで
名刺・ショップカード・ロゴカード・小ロット冊子印刷・大判ポスター出力・伝票
封筒・挨拶状の印刷・記念誌・アルバム印刷など、色々な印刷物のご注文承ります。
まずはお気軽にお問い合わせください。

大島印刷株式会社　〒554-0012 大阪市此花区西九条3丁目2番16号
TEL:06-6462-0521　FAX:06-6468-3606　E-mail：info@oshima-p.com

事務局からのごあいさつ

―― つながって、共に創る未来へ ――

大阪経済大学の関係者の皆様　あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましてはご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も引き続き大樟会運営とりわけ大樟会事務局活動にも多大なご支援ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、2020年から3年間コロナ禍の影響により大学運営・大樟会運営も自粛を強いられる中ではありましたが、昨年末ごろから日本経済も緩やかな回復傾向にあり、初詣の人出や福袋を買い求める人々もにぎわっていたように思います。

大学に目を向けますと、昨年は大学創立90周年記念事業や大樟会総会も盛会裏に終えることができました。これもひとえに大樟会会員の皆様のご配慮とご協力の結果だと思います。本当にありがとうございました。

また、2032年には本学は創立100周年を迎えます。

1932年、在阪の財界人や学界の関係者らが地域の経済発展に資する人材の育成を目指して創設されました。「伝統と歴史」の重みを胸に、今、不確実な時代に、恐れず行動できる力を養うための「創発」「生き続ける学び」を身に着けた人材育成に取り組むと「100周年ビジョン」を掲げ、大学改革に取り組まれています。

これまで培ってきた「つながる力。」を次の時代・100周年へとつなぐために、「オール経大」でやり遂げようではありませんか。

大変、楽しみにしております。

「大樟会」としましても全力でご協力させていただきたいと思います。

その節は会員の皆さまにも事前に実施計画をお知らせさせていただき、ご協力をお願いするとともに、同窓生、同期生として「お会いする機会」と捉え、今年から計画を練っていただきたいと考えております。

最後に、今年は「うさぎ年」です。うさぎ年から連想されるのは、ピョンピョンとはねてスピーディーにトントンと進んでいくというイメージですが、日本に伝わるさまざまな童話を見ますと、決してそういうものだけでなく、むしろ、非常に考えさせられるような話が数多いことに気づきます。皆様も知っている話ですが、例えば「うさぎと亀」これは一番有名な童話であり、おごり・高ぶり・努力をしない、そういうことで思わぬしっぺ返しにあうということを、「うさぎと亀」の競争を通じて世に伝えようとしたお話です。

ただ、あのお話には「その後のうさぎと亀」という続編があるのです。カメに負けたウサギは、恥さらし者といわれて、ウサギの村から追放され、一人、山奥で暮らすことになります。一方、残ったウサギ村にオオカミが襲いかかり、毎年、子ウサギを3匹献上せよと無謀な要求を突きつけます。それを、山の上で一人暮らししているウサギが聞きつけて、あらん限りの知恵を絞ってオオカミを退治し、見事、そのウサギは英雄として、ウサギの村に迎え入れられ、めでたし、めでたしという続編です。考えさせられる童話だと思います。

あと「因幡の白兎」や「カチカチ山」もそうですが、あらん限りの知恵をしぼるところが共通しており、ただ、悪知恵は思わぬしっぺ返しを食らうということ、いい知恵をしぼるということが大切であるということを、我々に伝えているように思います。

更に、「正しいことをする」ということ、そして「おごる事なかれ」ということもあわせて、このあたりがウサギの童話から読み取れる教訓ではないかと思っています。

そこで、今年は「うさぎ年」ですから、いい知恵をみんなでしぼって、正しい道を歩み、そして決しておごらない、こうしたことを今年の目標に掲げて1年を乗り切っていきたいと思っています。

大樟会会員の皆様、今年も健康第一で、皆様と一緒に、いい1年を過ごせるよう全力で事務局運営に努力してまいります。

よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたってのごあいさつとさせていただきます。

（事務局長　角庵勝巳）

左から、角庵事務局長、藤原事務局員、大山事務局次長

おめでとうございます

＜叙勲＞　令和４年　秋の叙勲

瑞宝小綬章
品川　忠治 氏（39 回）

瑞宝小綬章
辻　浩司 氏（41 回）

＜表彰＞

最高裁判所長官表彰
日本調停協会連合会理事長表彰
松永　清彦 氏（41 回）

大樟会本部組織図

（2023年1月 現在）

会　長
角脇　忠行（34）

副会長
石橋　隆夫（32）

監事
進木伸次郎（33）
中坪　健治（41）
山内　淳子（47）

事務局
局長　角庵　勝巳(43)
次長　大山　寿久(41)
局員　藤原　広子

総務部
部　長
渡辺　美幸（71）
副部長
原田　猛（38）
岡筋　政之（46）

広報部
部　長
田中　伸治（45）
副部長
西村　幸雄（43）
田島　裕司（46）
天野　康弘（46）
吉仲美智子（68）

財務部
部　長
檜垣　典仁（38）
副部長
伊藤　和人（67）
小谷　融（41）

組織部
部　長
石橋　隆夫（32）
副部長
松永　清彦（41）
足立徳太郎（36）
大河内徹心（39）
岩下　義之（46）
石元　佳代（47）
宮武　記章（63）

渉外部
部　長
山本　隆造（37）
副部長
八尾　英規（43）

注：（　）内は卒回

2021 年度収支決算書

自 2021 年 4 月 1 日　至 2022 年 3 月 31 日　（単位：円）

収入の部 科目	決算額	予算額	支出の部 科目	決算額	予算額
前期繰越金	60,059,938	60,059,938	総会費	472,500	4,000,000
会費収入	55,108,000	55,000,000	役員会費	274,609	900,000
総会収入	0	500,000	支部費	247,376	5,160,000
利息収入	35,556	100,000	事務費	3,121,897	3,130,000
澱江収入	1,484,300	1,200,000	人件費	7,065,200	8,000,000
広告料収入	1,022,000	800,000	旅費交通費	1,567,950	3,000,000
奨学金収入	1,684,300	1,200,000	広報活動費	20,195,142	20,200,000
雑収入	67,080	50,000	名簿調査費	207,995	300,000
特別基金引当金取崩収入	10,000,000	10,000,000	学対費	8,277,152	12,000,000
			諸会助成金	1,303,000	1,310,000
			慶弔費	179,035	200,000
			学生支援金	10,436,512	10,500,000
			予備費	60,661	200,000
			次期繰越金	76,052,145	60,009,938
合計	129,461,174	128,909,938	合計	129,461,174	128,909,938

2022 年度収支予算書

自 2022 年 4 月 1 日　至 2023 年 3 月 31 日　（単位：円）

収入の部 科目	決算額	摘要	支出の部 科目	予算額	摘要
前期繰越金	76,052,145		総会費	4,000,000	
会費収入	55,000,000		役員会費	900,000	理事会・常務理事会・各部会
総会収入	500,000		支部費	11,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入	50,000		事務費	1,500,000	
澱江収入	1,500,000		消耗品費	700,000	
広告料収入	1,000,000		通信費	300,000	郵送代
奨学金収入	1,600,000		人件費	7,500,000	事務局人件費
雑収入	50,000		旅費交通費	2,500,000	出張旅費他
特別基金引当金取崩収入	10,000,000		広報活動費	17,000,000	取材費
			名簿調査費	300,000	
			学対費	11,000,000	大学祭・クラブ活動援助金
			学生支援金	10,000,000	コロナ禍支援
			諸会助成金	1,300,000	
			慶弔費	200,000	
			大学90周年記念寄付金	10,000,000	90周年記念式典
			雑費	500,000	
			予備費	200,000	
			次期繰越金	66,852,145	
合計	145,752,145		合計	145,752,145	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

2023年2月現在

支部・部会名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	池田　正勝	34		
東京	森田　幸伯	45		
富山	浦辺　則一	47		
石川	鍛治　一英	36		
福井	田安　敏男	38		
岐阜	山根　一男	46		
静岡	大塩　博喜	40		
愛知	三津　辰雄	65		
三重	池山　英典	57		
滋賀	殿城　幸雄	41		
京都	柴田　俊彦	50		
大阪市淀川	青木　正道	36		
大阪市北	小原　宏夫	38		
大阪市南	吉川　進	41		
大阪市住吉	山本　岩雄	33		
大阪市役所				
北大阪	角野　力	41		
北摂	細井　三郎	35		
北河内	山西　喜久	44		
豊中	田中　功一	42		
池田	松田今朝男	34		
箕面・豊能	※畑岸　隆一	44		
泉南	塩谷善一郎	39		
南大阪	藤田　鉄夫	40		
堺	岩下　義之	46		
尼崎	松浦雄一郎	70		
伊丹	本庄　和郎	38		
川西・川辺	竹本　勇	35		
阪神	秋山　治信	37		
神戸	正岡　健二	36		
丹有	足立徳太郎	36		
明石	池上　照夫	40		
北播磨	小塩　慶明	35		
但馬	中川　茂	40		
東播磨	宮崎　善人	43		
姫路	芦田　雄二	45		
淡路島	喜田　憲康	40		
奈良	中嶋　肇	32		
和歌山	岩田　弘彦	48		
鳥取	本庄　克則	46		
島根	山本　篤治	42		
岡山	岡本紳一郎	47		
津山	藤井　治則	46		
福山	岡崎　正廣	37		
広島	飯田　徹	57		
山口	藤原　俊明	37		
徳島	樫本　孝	35		
香川	鈴木　澄夫	36		
愛媛	二宮　克郎	40		
高知	南　宏道	52		
北九州	植田　達三	52		
大分	寒田　陽	40		
熊本	坂本　純夫	39		
宮崎	堀内　健一	35		
鹿児島	前薗　博隆	34		
沖縄	西里　喜明	48		
大樟春秋会	森田　俊作	45		
大樟体育会	山本　隆造	37		
池田泉州銀行大樟会	能多　英明	57		
日立大樟会	山下　徹男	37		
税理士大樟会	堀田　治	48		
大樟教育研究会	西村　幸雄	43		
社労士大樟会	飯田　政信	35		
大学院大樟会				
大樟樟政会	西　恵司	35		

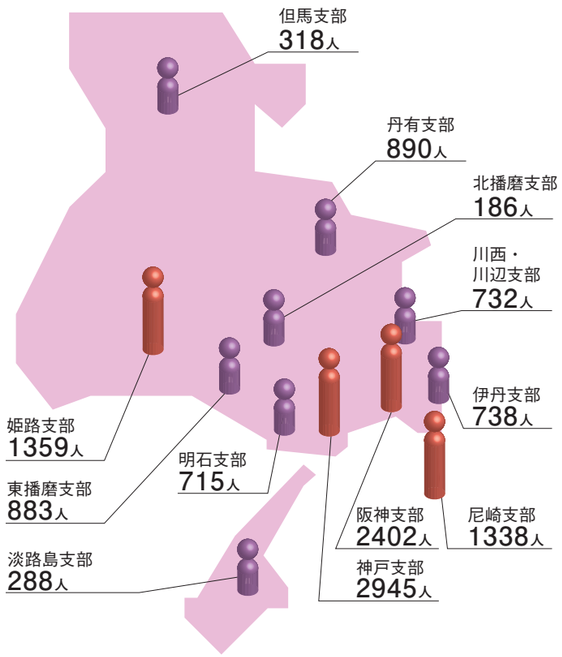
※印は、支部長代行

卒回理事一覧

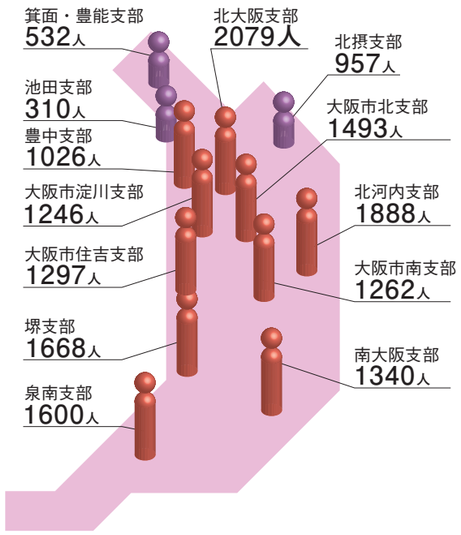
◎常務理事　○監事　　2023年2月現在

卒回	氏名					
14	柴田　悦子	藤川　玲子				
23	志水　利通	西本　集一				
24	上野　晃司	大場　謙二	多賀　平			
25	中平　秀覧	水納　敏也	森川　義一			
26	坂井田雄賢					
27	車野　修三	中　一正	松田　英志			
28	大久保儀臣	鶴谷　利一	平尾　哲男			
29	国西　良昌	米村紀代孝				
30	柏原　知博	神田　博	佐藤　武司	田村　正晴	橋本　庫一	
31	木谷　正雄	中村　敏啓	平田　義行	安田　秀雄	山崎　敏輝	
32	◎石橋　隆夫 竹中　亨	五十棲保彦 新田　和弘	植村　祐三 春木　洋次	桑原　勇臣	小池　勝章	小林　眞人
33	○進木伸次郎	西川　嘉紀	本郷　公夫	松竹　喜満		
34	岡田　輝夫	◎角脇　忠行	竹内　通弘	廣野　義直	藤本　二郎	與世田正雄
35	飯田　政信 谷丸　八郎	大西　健介 濵　忍	小野　隆 三木　泰	木戸　淳一 南　和男	近藤　靖太 山本　憲章	佐藤　和夫
36	◎足立徳太郎	片山　剛征	木岡　良郎	下垣　恒彦	田淵　善人	
37	赤松　慶久 淵上　清二	秋山　治信 ◎山本　隆造	老月　邦夫	梶村　貞男	竹本　巧	福田　敏裕
38	植田　富雄 本庄　和郎	岡本　久 松田敬一郎	田安　敏男 森友　通夫	橋本　廣	◎原田　猛	◎檜垣　典仁
39	秋口　政俊 福地　利仁	内田　敏雄 松本　辰郎	◎大河内徹心 矢倉　英一	大隅たつみ	北川　茂	西出　省三
40	上野　隆裕	木村　健治	齊藤　敏明	佐藤　英夫		
41	◎大山　寿久 ○中坪　健治	奥村　勝茂 松尾　洋助	川口　正義 ◎松永　清彦	◎小谷　融 森　義晴	髙塚　邦夫 安原　教夫	田中　一良 山田　正人
42	市原　幸惠	田中　功一				
43	◎角庵　勝巳 ◎八尾　英規	刀根　唯誌	中嶋　閎一	◎西村　幸雄	廣嶋　健次	南　正治
44	陰山　秀明	山田　栄宏				
45	坂本　勝宣	◎田中　伸治				
46	◎天野　康弘 竹本　善久	◎岩下　義之 前田　基美	◎岡筋　政之 安田　太	上甲　宣史 吉田　敏明	◎田島　裕司	大門　由秀
47	◎石元　佳代	河野　順一	西野　宗一	○山内　淳子		
48	河内　龍澈	川田　直嗣	西平　綾太	堀田　治	山崎　正順	
49	西本　一弘	畠山　昌憲	林　日出夫	翠　紀雄	森村　信治	山田　増人
50	今井　正弘	柴田　俊彦	山本陵太朗			
51	大谷　忠久	吉里　香織				
52	青山　栄三	上田敬二郎	原田かおり			
53	倉橋　幸三	竹内　秀樹	安村　和久			
54	岡田　隆義	藤原広太郎				
56	久保　雅則	山本　充子				
57	陸野　敬	湯村　徳光				
58	浦尾　雅文	齋　哲弘	中尾　篤也			
59	菊川　和義	米原　秀雄				
61	上田平元茂	衞藤　重豪	竹原林太郎			
62	梅原　猛	山下　一佳				
63	◎宮武　記章					
64	河内　美穂	浪花　拓也				
65	石橋佳世子	二宮　勉	三津　辰雄			
66	加藤　正憲	辻　大輔	寺西　博文			
67	◎伊藤　和人					
68	坂口　達也	◎吉仲美智子				
69	上西　政則	棟近有美子				
70	徳重　和寛	富山　芳勝	藤田　尚毅	松浦雄一郎		
71	林　辰郎	◎渡辺　美幸				
72	大井　順平	岡村　志穂	岡本　圭秀	波多　朋美		
73	阪口　美和	松井　啓子				
74	藤田絵里菜	山田　武				
75	佐々木奈美	谷　力	高田　友美	原田有紀子		
76	服部　貴志	道阪　友裕				
77	久郷　健					
79	八木　大輔					
81	岸　孝雄					
82	上山　直城					

兵庫県

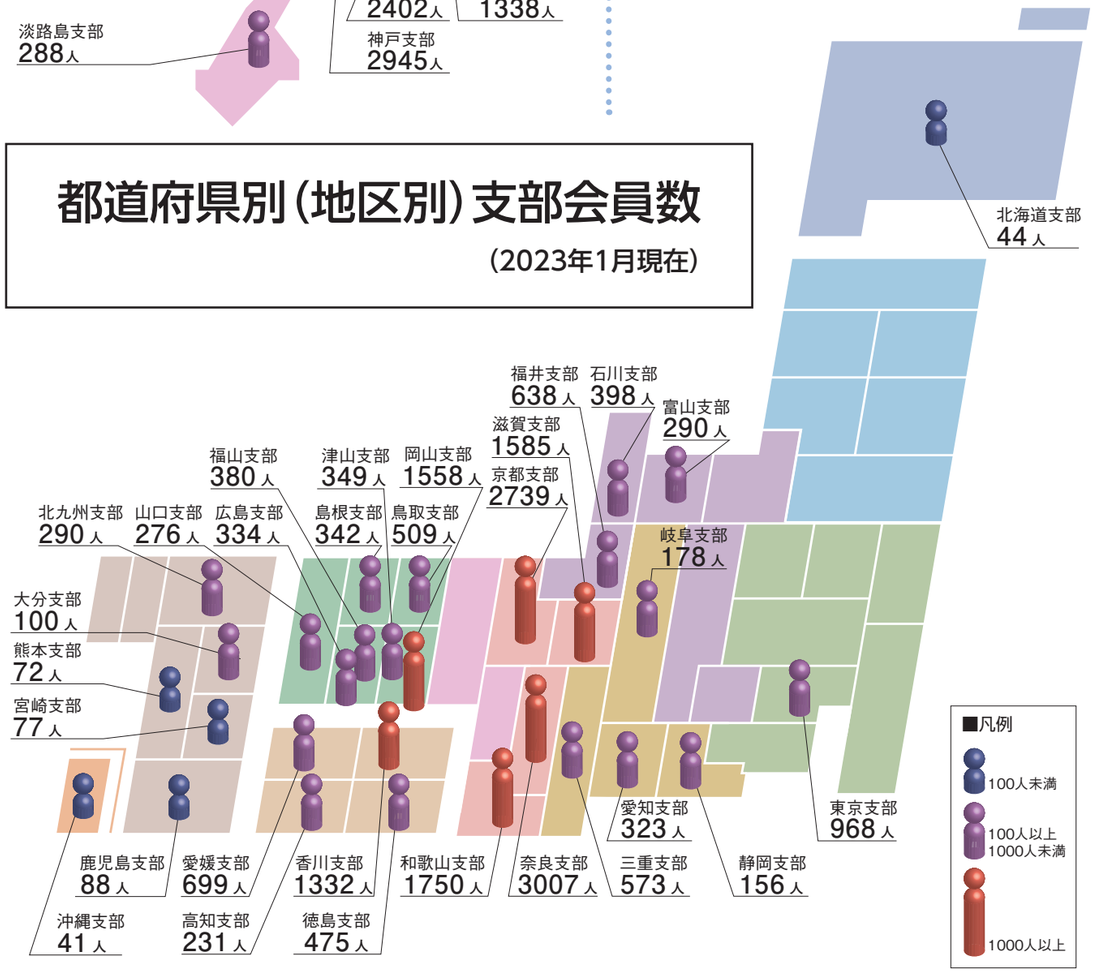


大阪府



都道府県別（地区別）支部会員数

（2023年1月現在）



大樟ひろば

新しいタイプの広告枠「大樟ひろば」を新設しました。小型サイズで、価格も３千円とお手頃なので、小規模な企業・商店のほか、OB 会などグループや個人の伝言板としてもご利用いただけます。経大卒業生ならどなたでも申し込めます。ぜひ、お気軽にご利用をお願いします。詳細は、事務局までお問い合わせください。

32 期生（昭和 41 年卒業）の皆さん　元気ですか！！

集おう 32 期同期会！！

【3 年振りの同期会多くの方のご出席お待ちしております】

※2023 年総会（開催日決まりましたら良き日にご案内させていただきます）

2022 年 11 月 3 日 32 期生 23 名の方が
大学創立 90 周年記念式典・大樟会総会
ご出席いただき皆さんでお祝いいたしました。
ありがとうございました。

32 期同期会世話人　竹中　亨　携帯 090-5093-5026

会員 750 人のみなさん
2023 年度総会に集おう！！

大樟会　伊丹支部

伊丹支部 3 の柱
大学発展に寄与
地域の活性化に貢献
会員相互の親睦を深める

支部長　本庄　和郎（38 回・3 代目）

2022.9.10　伊丹支部総会にて支部長交代いたしました
（2 代目　竹中　亨　→　3 代目　本庄　和郎）

愛知支部の皆さん、お元気ですか。

本年10月に支部総会を名古屋駅周辺のホテルで開催予定です。
お会いできることを楽しみにしております。

※コロナ禍の状況次第では、止むなく中止となる場合もございますのでご了承ください。

愛知支部長　三津 辰雄（65回）
LINE ID:mitsutatsuo

京都支部の皆さん、お元気ですか。

昨年の12月4日(日)に久しぶりの
支部総会を開催しました。
本年は、11月に開催予定です。ぜひご参加ください。
詳しくはホームページにてお伝えします。

京都支部長　柴田俊彦(50回)

広報部からのお知らせ

「支部だより」「OBOG ネットワーク」誌面リニューアルにつきご協力をお願いします！

「支部だより」 以下のように、文章を短く、箇条書きでお願いします。

① 開催日　例）2022 年 9 月 20 日
② 開催場所　例）ホテル経済
③ 出席者（人数）　例）99 名
④ 来賓
例）藤本理事長、山本学長、角脇会長、●●大阪支部長
⑤ 主要議事、懇親会等コメント（150 字以内）
※コメントが長い場合は、編集部で短くする場合があります。ご了承ください。
⑥ 支部役職・執筆者（卒回）　例）支部幹事　大阪経男（99 回）

★締切：総会開催後、できるだけ 2 週間をめどにお願いします。ただし、11 月以降に開催される場合は、できるだけ 1 週間以内でお願いします。

※支部総会を開催しない場合でも、できるだけ 10 月末までに事務局にお知らせ下さい。

（見本）

「OBOG ネットワーク」 以下のように、文章を短くお願いします。

★文字数：400 字以内でお願いします。
※文字数が多い場合は、広報部で短くする場合があります。ご了承ください。

★写真：1 点　※集合写真以外でも結構です。

★締切：会の開催後、できるだけ 2 週間以内におねがいします。ただし、10 月以降に開催される場合は、できるだけ 1 週間以内でお願いします。
（締切= 11 月末日　※到着分まで掲載します）

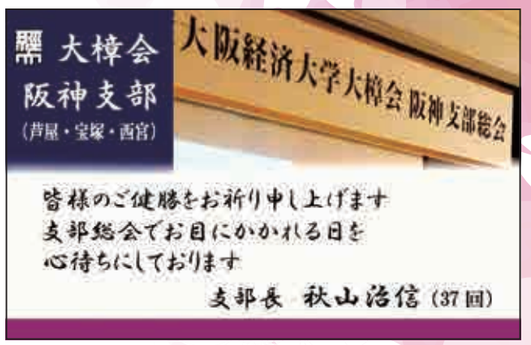
（見本）

大樟ひろば

新しいタイプの広告枠「大樟ひろば」を新設しました。小型サイズで、価格も３千円とお手頃なので、小規模な企業・商店のほか、OB 会などグループや個人の伝言板としてもご利用いただけます。経大卒業生ならどなたでも申し込めます。ぜひ、お気軽にご利用をお願いします。詳細は、事務局までお問い合わせください。

代表取締役　翠　紀雄（49回）
専務取締役　翠　大輔（78回）

みどり製菓株式会社　大阪市東住吉区東田辺 3-2-2
HP「みどり製菓」で検索　TEL06-6691-6186



KATSURA

会　長

加貫（かつら）　順三（33回）

株式会社 加貫ローラ製作所

本　社：〒544-0005　大阪市生野区中川 5-3-13
TEL.06-6751-1630　FAX.06-6754-2030
http://www.katsura-roller.co.jp
E-mail：j1412kat@katsura-roller.co.jp
本　店：大阪市中央区常盤町 1-4-10

こどもきょうしつミラコロ

ふじた　いちろう（57回）

子供教室ミラコロ
藤田　一郎
直通 090-3568-0160
（事務局）〒515-0065　三重県松阪市五月町 1505-3
TEL.FAX 0598-25-0007
mail:positivo.miracolo@gmail.com

大阪市淀川支部

支部長　青木　正道　36 回卒
mobile：090 － 5151 － 3622

地元で母校を盛り上げよう。

＊対象地域
＜西淀川区・淀川区・東淀川区＞

大阪市北支部

支部長　小原　宏夫　38 回卒
mobile：090 － 3274 － 3063

一度はおいでよ北支部
未来を語ろう！！

＊対象地域
＜此花区・福島区・北区・都島区・旭区・城東区・鶴見区＞

大阪市南支部

支部長　吉川　進　41 回卒
mobile：090 － 1719 － 3184

青春がよみがえる場所こそ
南支部、集まれ語れ！！

＊対象地域
＜港区・大正区・西区・中央区・浪速区・西成区・天王寺区・阿倍野区・東成区＞

大阪市住吉支部

支部長　山本　岩雄　33 回卒
mobile：090 － 1071 － 0821

いつまでも元気なOB・OGが
楽しく集う住吉支部！

＊対象地域
＜住之江区・住吉区・東住吉区・平野区・生野区＞

大樟ひろば

新しいタイプの広告枠「大樟ひろば」を新設しました。小型サイズで、価格も３千円とお手頃なので、小規模な企業・商店のほか、OB 会などグループや個人の伝言板としてもご利用いただけます。経大卒業生ならどなたでも申し込めます。ぜひ、お気軽にご利用をお願いします。詳細は、事務局までお問い合わせください。

ELEVEN

横浜大口通店

オーナー　**尾崎　健一**（41 回）

ご卒業、おめでとうございます。

セブン-イレブン　〒 221-0002　神奈川県横浜市神奈川区大口通 28-2
TEL.045-434-0066

経営革新等支援機関認定
檜垣会計事務所

〒556-0016
大阪市浪速区元町１丁目10番6号 堤ビル
TEL（06）6649-0677(代)
FAX（06）6649-5220
MOBILE　090-1480-4246
E-MAIL: higakikaikei@gmail.com
http://www.higaki-kaikei.jp/

税理士
日本FP協会会員
檜垣典仁（ひがき　のりひと）（38回）

大樟体育会

大会に応援に行きましょう！！

応援部　部　　長　森友 通夫（38 回）携帯：090-3280-4273
応援部　事務局長　田島 裕司（46 回）携帯：090-8754-1790

Mail：okusutaikukai@osaka-ue-denko.com
携帯：090-3702-9608

会長　山本 隆造（37 回）

---

37 期生会

今年は総会で集まりましょう！！

Mail：ryuzou.yamamoto@ezweb.ne.jp
携帯：090-3702-9608

世話人代表　山本 隆造

大阪経済大学グリークラブ OB 会

グリー OB の親睦と現役グリークラブ応援のために活動しています。本会と連絡のついていないグリークラブ OB の方ご連絡下さい。

OB 会会長　八尾英規（43 回）
090-9879-7663
hideki-s290304@k.vodafone.ne.jp

経翔会 60周年総会のご案内
（独立総部ワンダーフォーゲル部 OB・OG 会）

日時　2023 年 6 月 25 日（日）　午前 11 時開会
場所　大阪経済大学同窓会館（E 館 7 階）

お問い合わせは
実 行 委 員 長　土山晴實（37 期卒）090-5650-7481
副実行委員長　永井芳隆（39 期卒）090-8828-3930
副実行委員長　藤井良仁（39 期卒）090-8715-1359

絵画・美術品の修復

ギャラリー中

代 表　中　三郎（51 回）

〒 546 － 0014 大阪市東住吉区鷹合 1 － 1 － 17
mobile:090-2105-4289
fax:06-6607-2447
e-mail:g-naka@dab.hi-ho.ne.jp
https://www.g-naka.com

大樟春秋会に是非、ご入会下さい!

大樟春秋会とは、大阪経済大学を卒業した企業の経営者、役員の方、将来の幹部候補生の方々で組織され、母校の発展のために、現役学生の支援の為、会員相互の情報交換等を目的に活動致しております。

2022年度の主たる活動
●寄付講座開講　●企業セミナー開設　●就職支援　●懇親ゴルフ

●お問い合わせ先
大阪経済大学「大樟春秋会」
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8
電　　話　06-6328-2431（大学代表）
携帯電話　090-5093-5026（事務局長竹中）
FAX　06-6328-4564（大樟会事務局）
MAIL　okusuharuaki@osaka-ue-denko.com

春秋会のページ（大樟会ホームページ内）
春秋会入会ページ

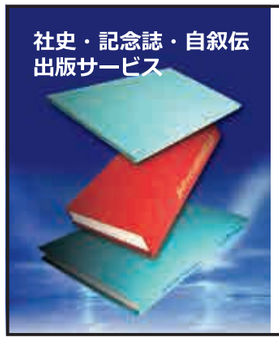
やすらぎのある空間づくり

Takasho

https://takasho.co.jp

株式会社タカショー

本　　社：和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9
TEL.03-5244-5650
国内16支店・営業所、海外6支店
タカショーグループ20社（国内7社・海外13社）



社史・記念誌・自叙伝
出版サービス

安全手帳　CSR・SDGs　会社案内　カタログ
社史・記念誌　写真集　作品集　ハンドブック
出版　自叙伝　書籍　教育・学校関連　情報誌
旅行記　寺社・教会　システム手帳　デザイン
企画　イラスト　ダイアリー　テキスト　広報
多言語・翻訳　手帳　ファイル　約款　販促物

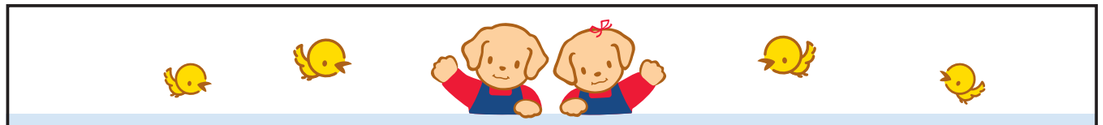
キーワード選択で
制作実績の数々を
ご覧いただけます

https://dprint.co.jp

大信印刷株式会社　tel.06-6451-7631
〒531-0076　大阪市北区大淀中4丁目13-11　fax.06-6451-3735　畠山昌憲（S58卒）

夢と希望にあふれた
社会づくりを実現させるために、
わたしたち大成建設は
これからも人がいきいきとする環境を
創造します。

地図に残る仕事。®
大成建設
TAISEI
For a Lively World



お気軽にご相談ください♪

池田泉州銀行
SIHD

上新庄支店
大阪市東淀川区上新庄 2-24-23
(阪急京都線・上新庄駅阪急プラザ 1F)
TEL 06-6328-2761

淡路支店
大阪市東淀川区東淡路 4-18-9
(阪急淡路駅 南東 50m)
TEL 06-6322-9240

広済堂ネクスト

学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、
学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、
学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、
円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社広済堂ネクスト
〒541-0043　大阪市中央区高麗橋4-1-1　興銀ビル2F
Tel.06-7178-0530
https://www.kosaido.co.jp/

未来へ飛ばそう
あなたの夢を

応援します！地域とあなたの輝く未来

信頼で地域とつながる
大阪シティ信用金庫

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4
TEL.(06)6201-2881(代表)
https://www.osaka-city-shinkin.co.jp/

大阪府内に87店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。　令和5年3月1日現在

祖谷庄 千寿庵

私ども千寿庵は四季それぞれの食材を菓子にすることにより、
色鮮やかな日本の春夏秋冬を和菓子を通じて
視覚・味覚共に和を感じて頂けるよう日々邁進しております。

祖谷庄千寿庵発祥「祖谷だんご」は、
栄養価の高い餅きびを使用し素朴な味わいを楽しめることが出来ます。
定番の人気商品「庄わらび餅」は、
わらび粉と阿波和三盆糖を長時間炊き上げるわらび餅。
もちもち食感と上品な甘味が特徴です。
また、日本の四季の美しさを表現した季節商品もございます。
千寿庵自慢の和菓子をぜひご賞味ください。

〒569-0046
大阪府高槻市登町27-1
株式会社　千寿庵
第41回生 代表取締役　五十嵐伸行
TEL　072-671-3333
FAX　072-671-1455
https://senjuan.co.jp/

関西・東海に幅広く展開

農業と園芸、家庭菜園の専門店

農業屋

つくる人とたべる人をつなぐ農産物直売所
農家の産直市場 みのり

日本最大級の種の通販サイト
農業屋.com
http://www.nogyoya.com

田んぼ・畑の獣害にお困りの方に!!
防獣バスターズ

農産物流通事業
Happy Vegetable

「豊かなみのりにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。主に農業屋では農家さんの「つくる」を、産直市場みのりでは「売る」をサポートしています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。

創業420年 令和8年
クラギ株式会社
三重県松阪市川井町花田 539
電話：0598-26-1111（代）　FAX：0598-26-1113（代）
ホームページ　https://nogyoya.jp
クラギは、SDGsに取り組んでいます。

ACE GROUP
SINCE 1992

株式会社 エース警備保障

［本社］
〒660-0815　兵庫県尼崎市杭瀬北新町4-9-7
TEL:06-6481-0055　FAX:06-6481-0011

［大阪支店］
〒550-0001　大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル303
TEL:06-6446-0500　FAX:06-6446-0501

［神戸西支店］
〒673-0891　明石市大明石町1-1-20 美田ビル401
TEL:078-939-2588　FAX:078-939-2568

代表取締役 河内龍澈　大阪経済大学 ラグビー部 昭和55年卒

株式会社 エース警備保障
http://www.ace-guard.com

EVER ONWARD

日本のインフラを支え 成長を続ける ジッコウグループ

コンクリート関連資材の総合販売
日本ジッコウ株式会社
TEL / 078-974-1141　FAX / 078-974-7786　URL / http://www.jikkou.co.jp

機能性モルタル類の総合メーカー
テクノスジャパン株式会社
TEL / 078-924-1234　FAX / 078-924-0050　URL / http://www.technosjapan.com/

コンクリート構造物の劣化調査・診断
建設コンサルタント登録 No. 建 27 第 6748 号
エースコンサルタント株式会社
TEL / 078-920-2251　FAX / 078-920-2253　URL / http://www.ace-con.co.jp

代表取締役 佐藤武司（昭和39年 30回卒業）

海上輸送や航空輸送、通関、国内配送など
出荷から納品までをトータルにサポートいたします
貿易・物流のことなら AIT にお任せください

AIT

株式会社エーアイティー

本　　社　：　大阪市中央区本町二丁目 1 番 6 号
（堺筋本町センタービル 15 階）
TEL 06-6260-3450　FAX 06-6260-3460
東 京 支 社　：　東京都中央区八丁堀四丁目 5 番 4 号
（FORECAST 桜橋 2 階）
TEL 03-5542-3340　FAX 03-3551-7720
名古屋営業所　：　愛知県名古屋市中区丸の内三丁目 17 番 13 号
（いちご丸の内ビル 8 階）
TEL 052-963-0260　FAX 052-963-0261
福 岡 営 業 所　：　福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8 番 27 号
（第 16 岡部ビル 9 階）
TEL 092-433-7560　FAX 092-433-7561
新大阪事務所　：　大阪市淀川区西中島三丁目 9 番 12 号
（空研ビル 6 階）
TEL 06-6838-3450　FAX 06-6838-3490

66 大阪経済大学 100%出資会社
経大サービス からのお知らせ
INFORMATION 99

シックな柄と
はてにゃん。柄の２種類！

オリジナル
マスク

はてにゃん。
ストラップ

オリジナルグッズ

UV カット
親骨 53 cm

各50本
限定
にゃ！

晴雨兼用
折りたたみ傘

大経大オリジナル
サーモボトル

ムレスナティー

外箱にも
個包装にも
はてにゃん。が
入ってるにゃ！

ぬいぐるみ

20cmの大きなぬいぐるみ！
ふかふかで大人気！☺

注文生産
はてにゃん。
だっくわーず

はてにゃん。は大阪経済大学の
公式マスコットキャラクターにゃん。

お申込方法
他のグッズやお申込み方法は
経大サービスWEBページから
http://www.keidais.jp/goods.html
返礼品や手土産にぜひ！

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

在学生向けにアルバイトの募集をしませんか？
☑学内ポスターや手元に届く LINE 配信ができる
☑学生に密着したサービスを展開
詳しくはこちらから▶
資料請求
在学生
1000 名以上
登録
※掲載には審査があります。

「経大サービスは夢に向かって頑張る学生を応援します。」
大阪経済大学 100％出資会社
株式会社経大サービス
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8 大阪経済大学 B 館 1 階
TEL：06-6990-3723　http://www.keidais.jp

ウエルシアホールディングス
総店舗　2,743店（2022年12月1日現在）

グループ企業

ウエルシア薬局株式会社（東京都）
総店舗 2,128 店

シミズ薬品株式会社（京都府）
総店舗 67 店

株式会社よどや（高知県）
総店舗 25 店

株式会社ププレひまわり（広島県）
総店舗 134 店

株式会社コクミン（大阪府）
総店舗 159 店

株式会社ふく薬品（沖縄県）
総店舗 25 店

株式会社丸大サクラヰ薬局（青森県）
総店舗 95 店

株式会社クスリのマルエ（群馬県）
総店舗 59 店

株式会社 MASAYA（岡山県）
総店舗 39 店

Welcia-BHG (Singapore) Pte.Ltd.
総店舗 12 店

ウエルシア介護サービス株式会社
ウエルシアオアシス株式会社
ウエルシアリテールソリューション株式会社

地域とともに発展する
ウエルシアホールディングス

大阪経済大学　経済学部卒業
ウエルシアホールディングス株式会社
代表取締役会長　　池野隆光

ウエルシアホールディングス株式会社
〒101-0021　東京都千代田区外神田二丁目2番15号
https://www.welcia.co.jp/

Sustainable Future

新たな価値創造で、
未来を拓く。

6万㎡を超える緑豊かな広場を囲む多彩な店舗。
ここは、競輪場跡地を活用し、公民連携により誕生した、
公園の中の商業施設 ブランチ大津京。
健康的なライフスタイルを提案し、地域のつながりを育む。
私たち大和リースは、課題解決型のまちづくりを通じて、
地域の魅力を高める価値創造で、持続可能な未来に貢献します。

複合商業施設 ブランチ大津京（滋賀県大津市）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Daiwa Lease
大和ハウスグループ

大和リース株式会社
本社　大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ピップビル　〒540-0011
www.daiwalease.co.jp

ECO FIRST
エコ・ファースト企業
環境大臣認定
We Build ECO
Daiwa House Group